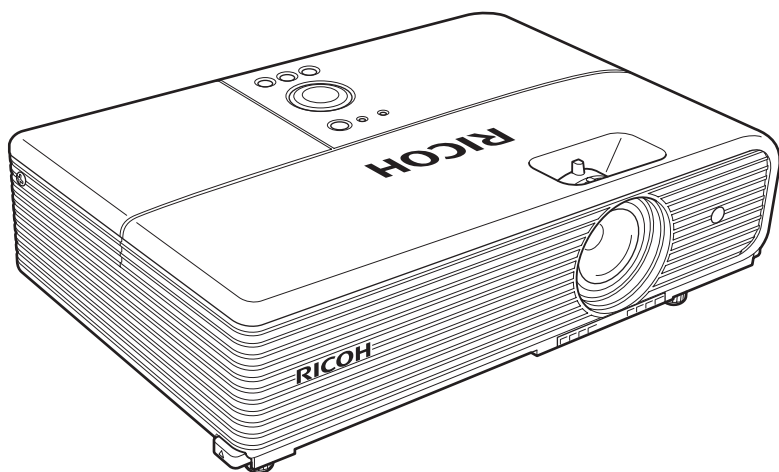


RICOH

プロジェクター

取扱説明書 (日本国内用)

形名 **IPSiO PJ X3241N**
IPSiO PJ WX3231N



HDMI[®]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- このたびはリコープロジェクターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのリコープロジェクターを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、本機背面に表示された製造番号と保証書に表示された製造番号が一致しているかご確認ください。

ご使用の前に

準備

使いかた

ネットワークへ
USB機能



メンテナンス

その他

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は以下のようになっています。

[表示の説明]




表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 ^{*1} を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害 ^{*2} を負うことが想定されるか、または物的損害 ^{*3} の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

[図記号の例]

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、 禁止 （してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、 指示 する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、 注意 を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

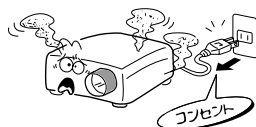
警告

◆異常や故障のとき

- 煙が出ている、変なおいがあるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



警告

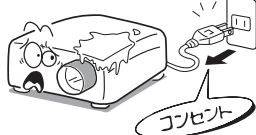
◆異常や故障のとき (つづき)

■ 内部に水や異物がいいたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



プラグを抜く



■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



プラグを抜く



■ 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



プラグを抜く



◆設置されるとき

■ 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと

火災・感電の原因となります。



水かけ禁止

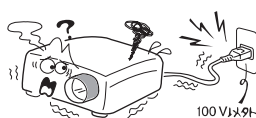


■ 電源プラグは交流 100V のコンセントに接続すること

交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



指示

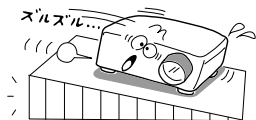


■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

本機が落ちて、けがの原因となります。



禁止



■ 上にものを置かないこと

- 金属類や、花びん・コップなどにはいった液体や化粧液などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。

- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。



上載せ禁止



警告

◆設置されるとき (つづき)

■ 小さなお子様の手の届くところには、設置・保管しないこと

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

◆ご使用になるとき

■ 修理・改造・分解はしないこと

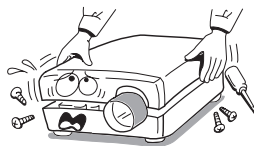
火災・感電の原因となります。

点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解した場合、保証やその他のサービスは受けられません。



分解禁止



■ 通風孔などから異物を入れないこと

金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいる環境ではご注意ください。



異物挿入禁止



■ 水にぬらさないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺では特にご注意ください。



水ぬれ禁止



■ 電源コードは

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと

- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと

- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

- 付属品以外の電源コードセットを使用しないこと

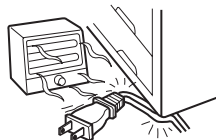
火災・感電の原因となります。

- 付属の電源コードセットは、他の機器に使用しないこと

火災・感電の原因となります。



禁止



警告

◆ご使用になるとき (つづき)

■ 無線 LAN 機能は

- 心臓ペースメーカーを装着している人の近くで使用しないこと
- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しないこと
- 航空機内および周囲に電波障害が発生するおそれのある場所では使用しないこと

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。



禁止

■ 無線 LAN 機能を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合には、すぐに使用を中止すること

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。



指示

■ 雷が鳴りだしたら、本機、接続ケーブル、電源プラグなどに触れないこと

感電の原因となります。



触手禁止

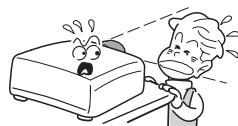


■ 点灯中はレンズや通風孔をのぞかないこと

点灯している状態でレンズや通風孔をのぞき込まないでください。強い光が出ていますので視力障害などの原因となります。特にお子様のいる環境ではご注意ください。



禁止



■ 電源プラグは必ず根元まで確実に差し込むこと

差し込みが不完全ですと、感電や発熱の原因になります。傷みやゆるみのあるコンセントは使用しないでください。



指示



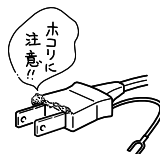
◆お手入れについて

■ 時々電源プラグを抜き、刃や刃の取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



指示



⚠ 警告

◆お手入れについて (つづき)

■ ランプ交換は必ず

専用の IPSiO PJ 交換用ランプ タイプ 1 (別売) を使用すること

専用以外を使用すると故障や破損してけがの原因となります。また、古いランプは使用しないでください。



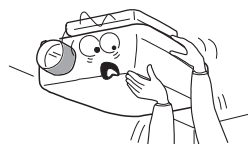
指示

■ 天吊り使用時のランプ交換や清掃は販売店に依頼すること

- 高所での作業をお客様ご自身で行うと、転落などによってけがの原因となります。
- 天吊り使用時はお客様ご自身でランプカバーを開けないでください。ランプカバーが落下したり、また万一、ランプが破裂しているとガラス破片が落下してけがの原因になります。



禁止



⚠ 注意

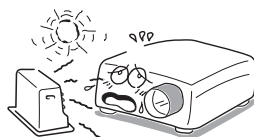
◆設置されるとき

■ 温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉めきった自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁止



■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、内部にほこりなどが蓄積して、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

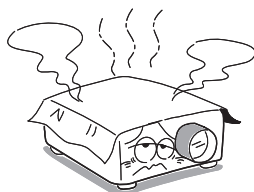


■ 設置の際は通風孔をふさがないこと

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。



禁止



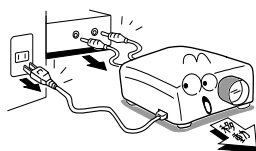
- 壁に押しつけないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。

⚠ 注意

◆設置されるとき (つづき)

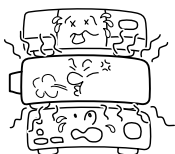
■ 移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずすこと

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。



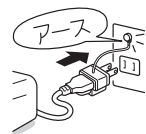
■ 本機を他の機器に積み重ねたり、本機の上に他の機器を載せないこと

上面、底面が熱くなりますので、他の機器へ損害を与えることがあります。



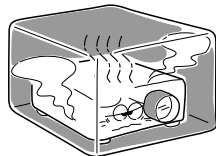
■ 電源プラグのアース端子は、必ずアースに接続すること

接続しないと、感電の原因となることがあります。



■ 通気の悪い状態で使用しないこと

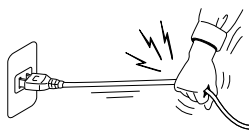
本機を箱などに入れた状態で使用しないでください。内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。



◆ご使用になるとき

■ 電源プラグを抜く場合は、電源コードを引っ張って抜かないこと

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。



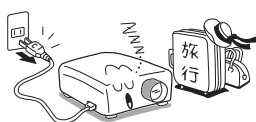
■ めれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。



■ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



⚠ 注意

◆ご使用になるとき (つづき)

■ 排気孔、ランプカバー、底面は特に熱くなるので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、触ったり、排気孔の近くに他の機器を設置したりしないでください。

また、排気孔の近くに置かれた金属製のものは特に熱くなりますので注意してください。



触手禁止

■ 本機の上や排気孔の近くに、感熱紙の資料や変形しやすいものを長時間放置しないこと

熱で感熱紙などの情報が消えたり、色が変わったり、変形することがあります。



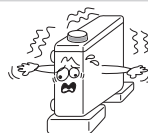
禁止

■ 本機を立てて使用しないこと

本機を立てて使用すると、倒れてけがの原因となります。



禁止



■ リモコンに使用している乾電池は、

● 指定以外の電池は使用しないこと

● 極性表示 [(+) と (-)] を指示と逆に挿入しないこと

● 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてはいけないこと

● 乾電池に表示されている【使用推奨期間】を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと

● 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないでティッシュペーパーなどでふき取ってください。(液をふき取ったティッシュペーパーなどは、水を含ませてから燃やせるごみとして廃棄してください)



禁止



■ 動作時にレンズの前に物を置かないこと

物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。

映像を一時的に消す場合にはリモコンのミュートをお使いください。



禁止

⚠ 注意

◆お手入れについて

- ランプを交換するときは、電源を切り、必ず1時間以上たって、本機が冷えてから行うこと

光源ランプユニットは高温となっている部分がありますので特にご注意ください。やけど・けがの原因となります。

使用済みのランプは、破損させないように取扱いに注意してください。



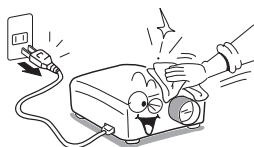
指示

- お手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて行うこと

感電の原因となることがあります。



プラグを抜け



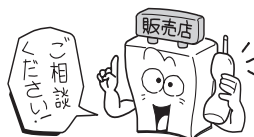
- 定期的に本機内部の清掃をお買い上げの販売店にご相談ください

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。内部の清掃費用についても、お買い上げの販売店にご相談ください。



指示



注意

◆ランプについて

本機の光源には、点灯時に内部気圧が高くなる水銀ランプが使われています。このランプには以下の特性がありますので、内容をよく理解して、取扱いには十分注意してください。

- 衝撃や劣化などによって、ランプが破裂して大きな音がしたり、寿命が尽きて点灯しなくなることがあります。
- 破裂や寿命に至るまでの時間には、ランプによって大きな差があり、使い始めてまもなく破裂することもあります。
- 交換時期を過ぎて使用すると、破裂しやすくなります。
- ランプが破裂すると、ガラスの破片が本機の内部に飛び散ったり、通気孔などから外に出たりすることがあります。
- ランプが破裂すると、ランプの内部に封入された微量の水銀ガスがガラスの粉塵とともに本機の排気孔などから放出されることがあります。

■ 画面にランプ交換の表示が出たら、すみやかに新しいランプに交換してください

- 交換時期になると「ランプが寿命です。交換してください。」というメッセージが画面に表示されます。
- そのまま使い続けると、ランプが破裂する可能性が高くなります。
- 時々ランプの使用時間を確認して、交換時期が近づいたら新しいランプをご用意ください。(p.47 ページの「状態表示」をご覧ください)

■ ランプが割れたときには・・・

- 万一、ランプやレンズなどのガラス部品が割れた際には、ガラス破片でけがなどをしないように取扱いに注意し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 万一、ランプが破裂した際には、本機の電源コードを抜き、退室して室内を十分に換気してください。その後、本機の周囲を念入りに清掃して、その場に置かれていた食品は捨ててください。
- ランプが破裂した際に、ガラスの粉塵や水銀ガスが目にはいたり、吸い込んだりしたと思われるときは、すみやかに医師に相談してください。



使用上のお願い

◆取り扱いに関すること

- 振動や衝撃が加わるような輸送の際は、お買い上げの際に本機がはいっていた梱包箱とキャリングバッグをご使用ください。付属のキャリングバッグなどのままの状態トラックなどで輸送すると、振動や衝撃によって本機が故障することがあります。また、傷んだ梱包箱で輸送すると同様に故障の原因となります。新しい梱包箱の入手についてお買い上げの販売店にご相談ください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 本機は、24時間動作などの長期連続運転で使用されることは意図していません。このような条件や、箱などに入れた状態で使用して故障した場合は、保証期間であっても有料修理とさせていただきます。
- 電源オフ直後の本体は高温（特に排気孔、ランプカバー、底面など）になっていますので取り扱いにご注意ください。

◆置き場所や置きかたに関すること

- 暖房機具の近くなど、温度の高い場所に置いて使用しないでください。故障や寿命を縮める原因となります。
- 油煙やたばこの煙にさらされる場所は避けてください。光学部品に汚れが付着して、寿命を縮めたり、画面が暗くなったりする原因となります。
- 本機をテレビやラジオの近くで使用すると、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。このような場合にはテレビやラジオから離してください。
- 低温の場所から高温の場所に移動したときなどには、結露によって本機のレンズや内部の部品などに水滴が付くことがあります。そのまま使用すると、故障の原因となることがありますので、結露（水滴）が自然に消えるまでお待ちください。
- 高地では空気が希薄なため、本機の冷却効率が低下しますので「ファンモード」の設定を「高」にしてご使用ください。[p.45](#)
- 本機を立てたり、極端に傾けた状態（±20度以上）で使用しないでください。故障や寿命を縮める原因となります。
- 延長コードやテーブルタップを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードやテーブルタップの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源ケーブルや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。セットが落下してけがの原因となることがあります。

使用上のお願い（つづき）

◆お手入れに関すること

- ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変形、変色、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- エアフィルターはこまめに清掃してください。目詰まりすると、本機内部の温度が上がり、液晶パネルなどの光学部品の寿命を縮める原因となります。

◆著作権について

本機を用いて、市販映像ソフトや放送・有線放送番組を、個人の視聴以外の目的で上映・伝達する行為、フリーズ、リサイズ機能等によって改変する行為、画面サイズ切り換え機能によって、映像の縦横比を変えて表示するなどの行為は、いずれも権利者に無断で行うと当該映像ソフトや放送番組等の著作権や著作隣接権を侵害するおそれがあるため、事前に権利者から使用許諾を受ける等適正な権利処理をしてください。

その他のご注意とお知らせ

◆電波障害について

本機は、情報技術装置からの妨害波の許容値を定めた規格 J55022 (H14) のクラス B 情報技術装置です。本機がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

◆廃棄について

本機には、人体や環境に有害とされる以下の物質が含まれています。

・無機水銀（ランプ）

本機または使用済みランプ、使用済み乾電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

◆免責事項について

- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 無線 LAN の使用による情報の盗聴や漏えい、およびそれによる損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

その他のご注意とお知らせ（つづき）

◆商標について

- VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGA、WXGA は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac は、Apple Computer Inc. の登録商標です。
- 本製品は Saskaen 社のテクノロジーを含みます。
Copyright©2000-2010 Saskaen, Inc. All rights reserved.
- Adobe、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴマーク、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- 説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

◆日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。This Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

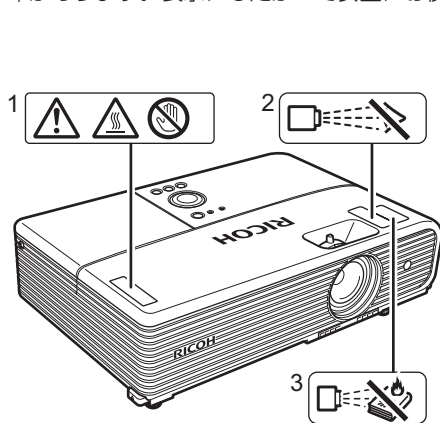
◆この取扱説明書の表記について

- 関連する説明の参照先ページ番号を以下のように表記します。
26 ページを参照していただく場合の例：[p.26](#)
- 本書中のイラストはイメージイラストです。実際の製品とは形状などが異なる場合があります。

安全に関する本機の表示について

◆警告、注意のラベル位置

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**⚠**警告、**⚠**注意のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。



1
吸気孔、排気孔をふさがらないこと。内部の発熱によって火災などの原因となります。
排気孔、ランプカバーの近くに手や顔を近づけたり、ものや他の機器を置かないこと。やけどや変形、変色、機器の故障の原因となります。

2
動作中はレンズをのぞかないこと。視力障害などの原因となります。

3
動作時にレンズの前に物を置かないこと。物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。映像を一時的に消す場合にはリモコンのミュートをお使いください。

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のお願い	11
その他のご注意とお知らせ	12
安全に関する本機の表示について	13
もくじ	14

準備

同梱品の確認	16
本体各部のなまえ	17
本体操作部、リモコン各部のなまえ	18
背面端子のなまえ	20
リモコンの準備と使いかた	21
リモコンでコンピューターを操作する	22
設置する	23
接続する	26

使いかた

電源の入れかたと切りかた	28
基本操作	30
便利な機能を使う	33
自動設定をする（オートセット）コンピューターの信号のみ	33
台形歪みを補正する（キーストン）	33
映像を拡大する（リサイズ）	34
映像と音声を一時的に消す（ミュート）	35
画質を変える	35
画面サイズを変える	35
映像を静止させる（フリーズ）	36
パスワード設定をする	36
メニュー 1 を使う	38
設定表示の設定	38
映像調整メニュー	39
表示設定メニュー	41
初期設定メニュー	44
状態表示	47

ネットワーク/USB機能

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意	48
ネットワーク接続をする前に	49
USB 端子の使いかた	51
メニュー 2 を使う	53
設定表示 (2) の設定	53
ネットワークプロジェクター / ネットワークユーティリティの設定	54
コンピューターの設定	60
制御設定メニュー	61

スライドショーの設定.....	62
本機の状態を確認する	65
状態表示.....	65
ネットワークプロジェクターの使いかた.....	66
アプリケーションソフトをインストールする	67
ネットワークユーティリティの使いかた.....	69
コンピュータの画面をプロジェクターで映す	69
コンピュータに保存されている JPEG ファイルの画像を プロジェクターで映す	71
コンピュータに保存されている動画ファイルをプロジェクター で映す	72
マルチスクリーン機能を使ってコンピュータの画面を プロジェクターで映す	75
簡単接続機能	80
プロジェクターを操作する	84
USB メモリーの画像を映す.....	85
サムネールリストからの再生	85
JPEG 変換ツールの使いかた	88
[JPEG 変換ツール] を起動する	88
画像ファイルを変換するとき	88
Microsoft [®] PowerPoint [®] で作成したファイルを変換するとき	89
変換した JPEG ファイルでプレゼンテーションをするとき	90
画面キャプチャーを作成して JPEG ファイルに変換するとき	91
Web ブラウザを用いたプロジェクターの設定方法	92

メンテナンス

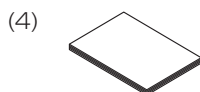
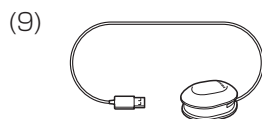
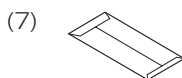
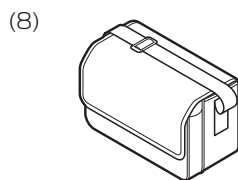
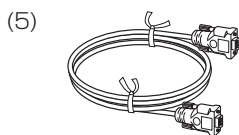
エアフィルターの清掃	95
レンズ、本体の清掃	96
ランプの交換.....	97

その他

インジケーターによる異常表示.....	100
故障かな・・・と思ったときは	101
仕様.....	103
お問い合わせ先のご案内.....	109
FAQ	110
消耗品について	110
関連商品について	110
お客様登録の方法	111
はがきで登録する.....	111
インターネットで登録する	111

同梱品の確認

本体以外に箱の中に以下のものが入っているか、ご確認ください。万一不足しているものがあるときには、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。



(1) リモコン

(2) リモコン用単四形乾電池 LR03(2 個)

(3) CD-ROM

(4) 取扱説明書 (簡易版)

(5) RGB ケーブル (3m)※

(6) 電源コードセット (日本国内専用)※

(7) 保証書

(8) キャリングバッグ

(9) マウスリモコンレシーバー

※ 本来の性能を維持するため、付属のケーブルをお使いください。

◆付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM には、簡易版取扱説明書で省略された内容を含む取扱説明書とプロジェクト管理ユーティリティの説明書が PDF 形式で収録されています。(PDF: Portable Document Format) また各種アプリケーションソフトも収録されています。この取扱説明書をご覧になるためには **Acrobat Reader 5** 以上を使ってご覧ください。

■ Adobe® Acrobat® Reader®、または Adobe® Reader® について

本 CD-ROM には **Acrobat® Reader®** は収録していません。

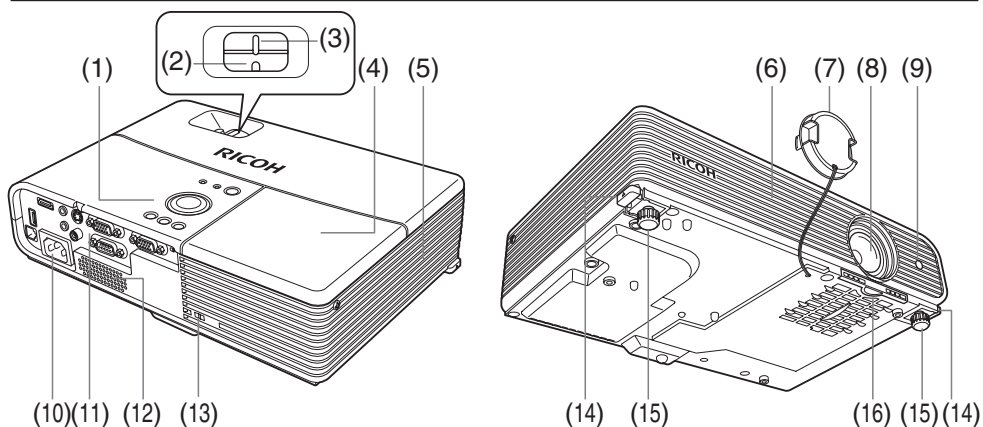
ご使用のパソコンで PDF が開けられない場合は、アドビシステムズ社のホームページから **Acrobat Reader** をダウンロードしてパソコンにインストールしてください。

■ 説明書をご覧になるとき

CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。インストール画面でご覧になる説明書をクリックします。

インストール画面が表示されないときは、CD-ROM の **[Owners Manual]** フォルダ、あるいは **[Projector Management Utility]** フォルダを開き、PDF をダブルクリックします。Acrobat® Reader® が起動し、取扱説明書の表紙の画面と「しおり」が表示されます。「しおり」のタイトルをクリックすると、その説明のページにジャンプすることができます。また、本文中の **p.** をクリックすると、参照先のページにジャンプすることができます。Acrobat® Reader® の詳細は **[ヘルプ]** メニューをご覧ください。

本体各部のなまえ



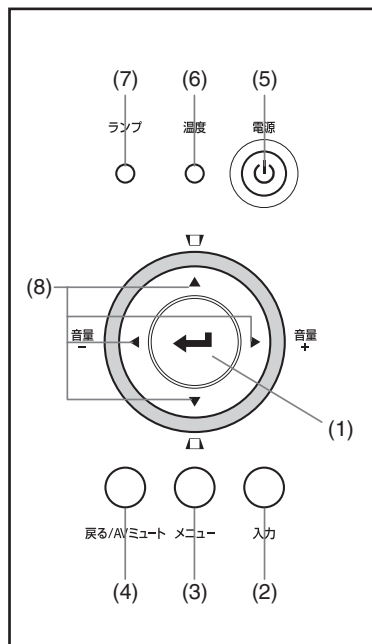
準備

なまえ : おもな機能

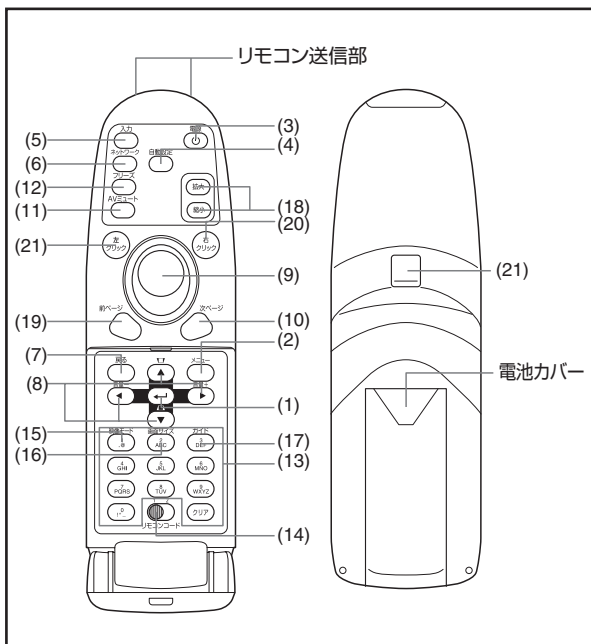
- | | |
|---------------------|---|
| (1) 本体操作部 | : 本機を操作します。 p.18 |
| (2) ズームレバー | : 画面のサイズを調整します。 p.31 |
| (3) フォーカスレバー | : 画面のピントを調整します。 p.31 |
| (4) ランプカバー | : ランプを交換するときに取りはずします。 p.98 |
| (5) 排気孔 | : 内部で高温になった空気を排出します。 |
| (6) 吸気孔 | : 外部から冷却用に空気を取り入れます。 |
| (7) レンズキャップ | : 本機を使用しないときは、レンズ保護のためキャップを取り付けた状態にします。 |
| (8) レンズ | : 映像(光)を拡大投写します。 |
| (9) リモコン受光部 | : リモコン操作を受け付けます。 p.21 |
| (10) AC IN ソケット | : 付属の電源コードセットを接続します。 |
| (11) 背面端子部 | : 外部機器を接続します。 p.20 |
| (12) スピーカー | : 音声を鳴らします。 |
| (13) 盗難防止ロック穴 | : 盗難防止用のチェーンなどを取り付けます。 |
| (14) フットアジャスター解除ボタン | : フットアジャスターを出すときや収納するとき押します。 p.31 |
| (15) フットアジャスター | : 上向きの投写角度を調整します。 p.31 |
| (16) エアフィルター | : 内部へのほこりやごみの侵入を防ぎます。 p.95 |

本体操作部、リモコン各部のなまえ

本体操作部



リモコン



なまえ

: おもな機能

本体操作部

- (1) 決定ボタン : 選択したモードを決定します。
- (2) 入力ボタン : 入力切替をします。 [p.30](#)
- (3) メニューボタン : メニューを表示します。 [p.38](#)
- (4) 戻る / AV ミュートボタン: 一つ前の表示に戻します。また、映像と音声を一時的に消します。 [p.35](#)
- (5) 電源ボタン / 電源インジケーター : 電源を入り / 切り (スタンバイ) します。 [p.28](#)
電源インジケーター : 電源の入り / 切り (スタンバイ) の状態を表示します。 [p.28](#)
- (6) 温度インジケーター : 内部温度が高すぎるときに点灯します。 [p.100](#)
- (7) ランプインジケーター : ランプのモードを表示します。 [p.100](#)
- (8) 選択ボタン : メニューでの選択・調整や音量、台形歪みを調整します。 [p.38](#)

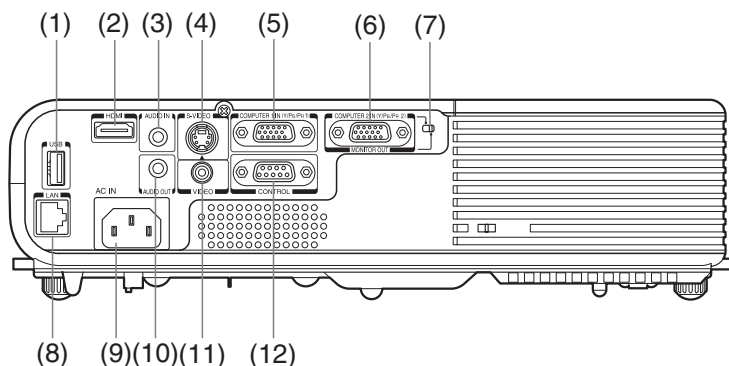
リモコン

- (1) **決定ボタン** : 選択したモードを決定します。
- (2) **メニューボタン** : メニューを表示します。 [p.38](#)
- (3) **電源ボタン** : 電源を入り / 切り (スタンバイ) します。 [p.28](#)
- (4) **自動設定ボタン** : コンピューターの入力信号を自動調整します。 [p.33](#)
- (5) **入力ボタン** : 入力切換をします。 [p.30](#)
- (6) **ネットワークボタン** : ネットワーク入力に切り換えます。 [p.53](#)
- (7) **戻るボタン** : 一つ前の表示に戻します。
- (8) **選択ボタン** : メニューでの選択・調整や音量、台形歪みを調整します。 [p.38](#)
- (9) **マウスコントロールボタン** : マウスポインターコントロールとして機能します。
[p.22](#) [p.70](#) [p.76](#)
- (10) **次ページボタン** : PowerPoint® のスライド進行などに使います。
[p.22](#) [p.70](#) [p.76](#)
- (11) **AV ミュートボタン** : 映像と音声を一時的に消します。 [p.35](#)
- (12) **フリーズボタン** : 映像を静止します。 [p.36](#)
- (13) **テンキーボタン** : 無線 LAN などの設定時にテンキーとして機能します。
数字や文字が入力できます。 [p.56](#)
- (14) **リモコンコードスイッチ** : リモコンのコードを本体のコードと合わせます。 [p.46](#)
- (15) **映像モードボタン** : 映像モードを切り換えます。 [p.35](#)
- (16) **画面サイズボタン** : 画面サイズを切り換えます。 [p.35](#)
- (17) **ガイドボタン** : スライドショーの操作ガイドを表示します。 [p.87](#)
- (18) **拡大ボタン、縮小ボタン** : 映像の拡大表示の倍率を変更します。 [p.34](#)
- (19) **前ページボタン** : PowerPoint® のスライド戻しなどに使います。
[p.22](#) [p.70](#) [p.76](#)
- (20) **右クリックボタン** : マウスの右クリックボタンとして機能します。
[p.22](#) [p.70](#) [p.76](#)
- (21) **左クリックボタン** : マウスの左クリックボタンとして機能します。左クリックボタンは 2 カ所あり、どちらでも操作可能です。
[p.22](#) [p.70](#) [p.76](#)

■ お知らせ

- 本書の以降の説明では、ボタンを以下のように表記します。
選択ボタン⇒    、決定ボタン⇒ 

背面端子のなまえ



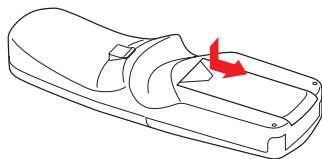
なまえ : おもな機能

-
- (1) **USB 端子** : 市販の USB メモリーなどを差し込みます。 [p.51](#)
 - (2) **HDMI 端子** : HDMI (High-Definition Multimedia Interface) デジタル信号を入力します。
 - (3) **AUDIO IN 端子** : コンピューターやビデオ機器などからの音声信号を入力します。(COMPUTER 1 IN/2 IN、VIDEO、S-VIDEO 兼用)。
 - (4) **S-VIDEO 端子** : ビデオ機器などからの S 映像信号を入力します。
 - (5) **COMPUTER 1 IN 端子 (Y/P_B/P_R1)** : コンピューターなどからの RGB 信号か、ビデオ機器などからのコンポーネント映像信号 (Y/P_B/P_R) を入力します。
 - (6) **COMPUTER 2 IN 端子 (Y/P_B/P_R2)/ MONITOR OUT 端子** : コンピューターなどからの RGB 信号か、ビデオ機器などからのコンポーネント映像信号 (Y/P_B/P_R) を入力します。また (7) の切換スイッチにより MONITOR OUT 端子としてご利用いただけます。
 - (7) **切換スイッチ** : COMPUTER 2 IN と MONITOR OUT を切り換えます。
 - (8) **LAN 端子** : ネットワークケーブルを接続します。
 - (9) **AC IN ソケット** : 付属の電源コードセットを接続します。
 - (10) **AUDIO OUT 端子** : 音声信号を出力します。
 - (11) **VIDEO 端子** : ビデオ機器などからの映像信号を入力します。
 - (12) **CONTROL 端子** : コンピューターを使って本機を操作するときに、制御用コンピュータの RS-232C ポートと接続します。 [p.108](#)

リモコンの準備と使いかた

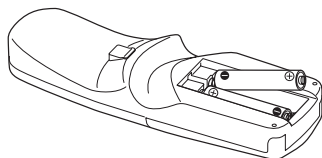
■リモコンに乾電池を入れる

① 電池カバーをはずす



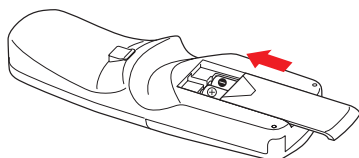
② 乾電池を入れる

乾電池の+、-を確かめて入れてください。



単四形乾電池 LR03 を 2 個使用。

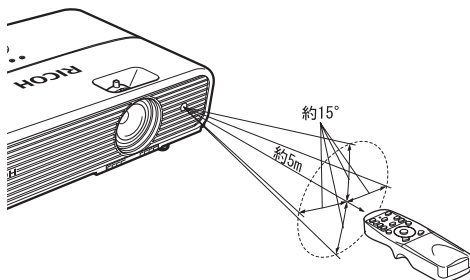
③ 電池カバーを閉める



■リモコン操作のしかた

本機のリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押す

- 本機の前方向から操作する



本機の後方からリモコン操作する場合、投写面の反射を利用しての操作になりますので、投写面の形状や材質によっては操作できる範囲がせまくなります。

準備

■乾電池について

- 取扱いの際は「安全上のご注意」に記載された事項をお守りください。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、すべて新しい電池と交換してください。(単四型乾電池 LR03 を 2 個ご使用ください)
- 乾電池は乳幼児や幼児の手の届くところに置かないでください。飲み込んだりノドに詰まらせることがあります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

■リモコンについて

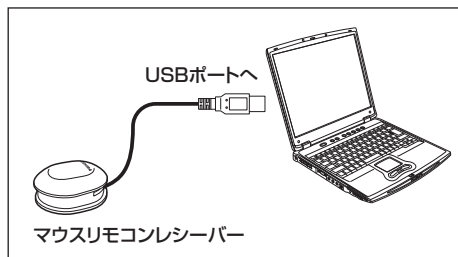
- リモコン受光部に太陽光や蛍光灯などの強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。
- 落としたり、衝撃をあたえないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- 使用場所や周囲の状況によっては、まれにリモコン操作を受け付けにくいことがあります。このようなときは、リモコンを本機に向け直し、再度操作をしてください。

リモコンでコンピューターを操作する

本機のリモコンでコンピューターを操作することができます。この機能は、USB 2.0をサポートするUSBポートを標準装備したWindows® 2000、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7の各OSでお使いになれます。(マウスリモコンレシーバーは、Mac OS Xにも対応します) なお、これらの仕様を備えたすべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

① コンピューターと接続する

付属のマウスリモコンレシーバーをコンピューターに接続します。

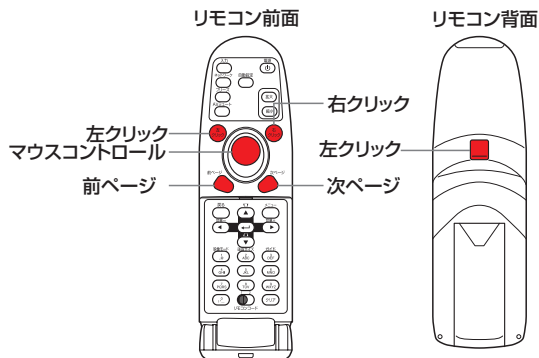


マウスリモコンレシーバーに太陽光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンが動作しないことがあります。このようなときは、マウスリモコンレシーバーの位置や向きを変えてみてください。

② コンピューターを操作する

マウスリモコンレシーバーに向けて、リモコンのボタンを操作します。

- **マウス ポインタを動かすとき**
マウスコントロールボタンをマウスポインタを動かしたい方向に押します。
- **左クリックするとき**
左クリックボタンを押します(左クリックボタンは2カ所あり、どちらでも操作可能です)。
- **右クリックするとき**
右クリックボタンを押します。
- **ドラッグアンドドロップするとき**
左クリックボタンをクリックしたままの状態でもマウスコントロールボタンで移動し、目的の場所でクリックを放します。
- **コンピューターの【↓】と【↑】キーの機能を使うとき**
次ページボタンと前ページボタンで PowerPoint® のスライド切換ができます。

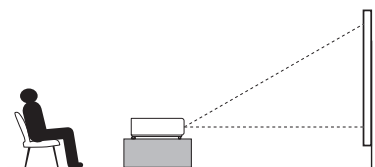



設置する

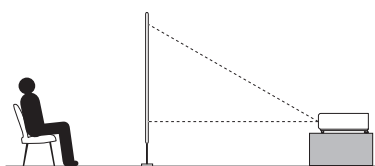
設置状態

本機は下図の4とおりの設置状態に対応しています。
工場出荷時は「床置き正面投写」に設定されています。設置方法に合わせて「初期設定2メニュー」[p.45](#)で「設置状態」の設定をしてください。

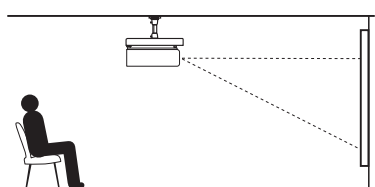
床置き正面投写 



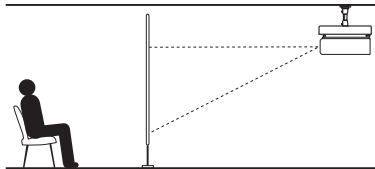
床置き背面投写 



天吊り正面投写 



天吊り背面投写 



警告

- 設置の際には「安全上のご注意」に記載された事項を守ること。
- 天吊り設置には専用の天井取付金具（別売り）と専門知識が必要です。設置工事に不備があると、落下などによる事故の原因になりますので、必ず販売担当者に依頼すること。
- 天吊り設置する場合は、異常時に電源を切るためのブレーカを設置すること。また、そのことは本機を使用するすべての人が知っているようにすること。

準
備

設置する (つづき)

投写距離と画面サイズについて

下図と下表や計算式を参考にして画面サイズと投写距離を決めてください。(画面サイズは、フルサイズの映像を台形補正なしで投写したときのおよその値です)

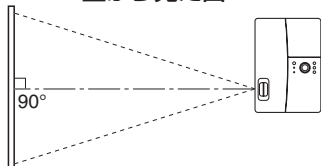
PJ X3241N

スクリーン

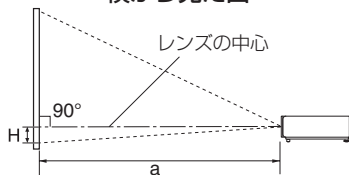
$$a \text{ (最短)} = \frac{\text{投写画面サイズ (型)} - 0.890}{32.863}$$

$$a \text{ (最長)} = \frac{\text{投写画面サイズ (型)} - 0.748}{27.363}$$

上から見た図



横から見た図



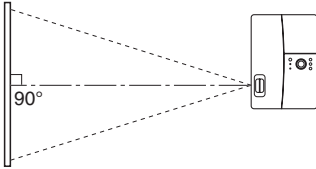
画面サイズ 型 (cm)	投写距離 a (m)		高さ (H) (cm)
	最短 (ズーム最大)	最長 (ズーム最小)	
30 (76)	0.89	1.07	6.50
40 (102)	1.19	1.44	8.70
50 (127)	1.49	1.80	10.90
60 (152)	1.80	2.17	13.10
70 (178)	2.10	2.53	15.20
80 (203)	2.41	2.90	17.40
90 (229)	2.71	3.26	19.60
100 (254)	3.02	3.63	21.80
120 (305)	3.62	4.36	26.10
150 (381)	4.54	5.46	32.70
200 (508)	6.06	7.28	43.50
250 (635)	7.58	9.11	54.40
300 (762)	9.10	10.94	65.30

aはレンズからスクリーンまでの距離(m)で、0.89 m~10.94 m の範囲に対応します。
Hは、画面下端からレンズ中心までの高さです。

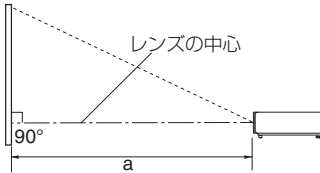
PJ WX3231N

スクリーン

上から見た図



横から見た図



$$a \text{ (最短)} = \frac{\text{投写画面サイズ (型)} - 0.758}{31.022}$$

$$a \text{ (最長)} = \frac{\text{投写画面サイズ (型)} - 0.643}{25.845}$$

画面サイズ 型 (cm)	投写距離 a (m)	
	最短 (ズーム最大)	最長 (ズーム最小)
30 (76)	0.94	1.14
40 (102)	1.27	1.52
50 (127)	1.59	1.91
60 (152)	1.91	2.30
70 (178)	2.23	2.68
80 (203)	2.55	3.07
90 (229)	2.88	3.46
100 (254)	3.20	3.84
120 (305)	3.84	4.62
150 (381)	4.81	5.78
200 (508)	6.42	7.71
250 (635)	8.03	9.65
300 (762)	9.65	11.58

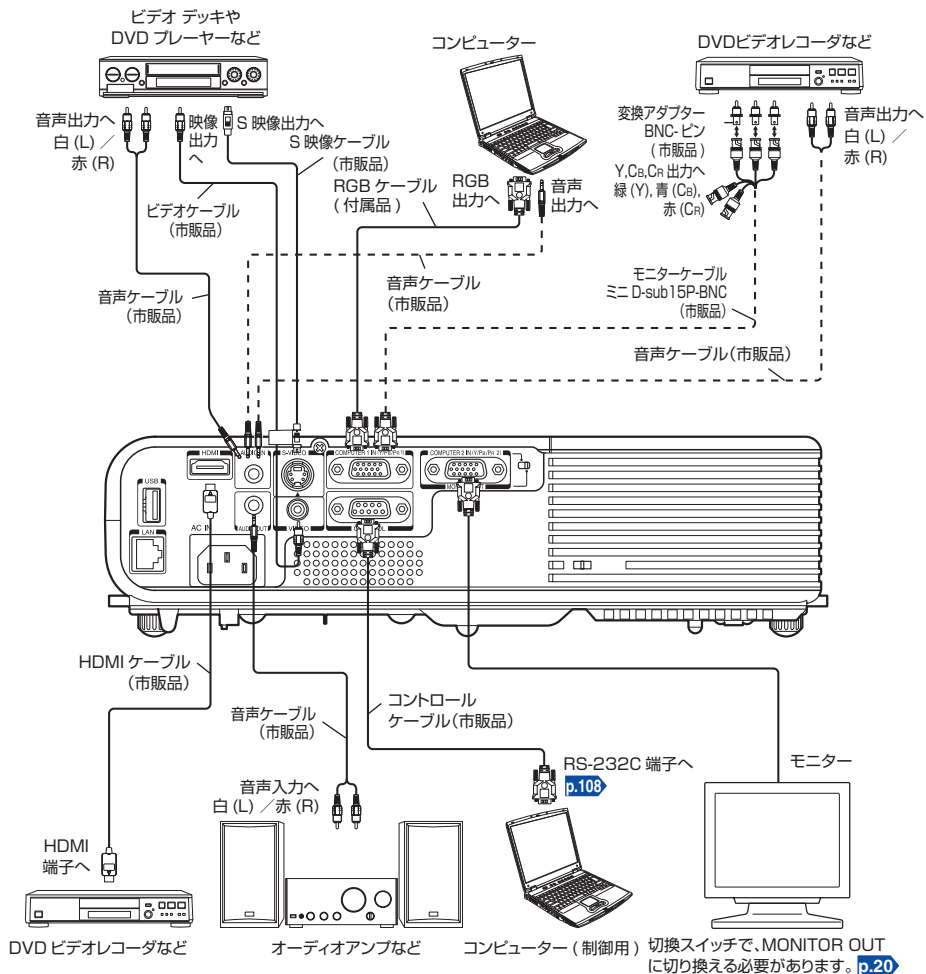
a はレンズからスクリーンまでの距離 (m) で、0.94 m ~ 11.58 m の範囲に対応します。
 レンズの中心が、画面の下端になります。

準
備

接続する

接続の前に

- 本機に接続する機器の取扱説明書もお読みください。
- コンピューターの機種によっては、本機に接続してご使用になれないものもあります。RGB および HDMI 出力端子の有無、対応信号 [p.104](#) [p.105](#) [p.106](#) などを確認してください。
- 接続の際には、各機器の電源を「切り」にしてください。
- 図は接続例です。すべての機器を同時に接続できること、あるいは接続しなければならないことを意味するものではありません。(点線は差し換えることを意味します)



※ COMPUTER 2の入力は、COMPUTER1と同様に接続できます。

■ お知らせ

- COMPUTER 2 IN 端子を MONITOR OUT 端子として使用する場合には、COMPUTER 1 IN 端子に入力されている信号が出力されます。
- スタンバイ状態でも MONITOR OUT 端子から信号が出力されています。ただし、AUDIO OUT 端子からは音声信号は出力されません。
- パソコンモニターで Y/P_B/P_R 信号は正常に受像できません。
- AUDIO IN 端子は COMPUTER 1 IN 端子と COMPUTER 2 IN 端子および VIDEO、S-VIDEO に接続される機器で兼用です。
- AUDIO OUT 端子を接続すると本体のスピーカーから音声は出ません。
- AUDIO OUT 端子の出力は VOL ボタンで音量調整できます。
- HDMI で本機を接続した際に、機器によっては正常に動作しない場合があります。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴの表示があるケーブルをご使用ください。また、1080p の映像信号を入力する場合は、High Speed HDMI Cable をご使用ください。(一般の HDMI ケーブルでは、正常に動作しないことがあります)
- ネットワークケーブルは、シールド加工対応されたケーブルを使用してください。

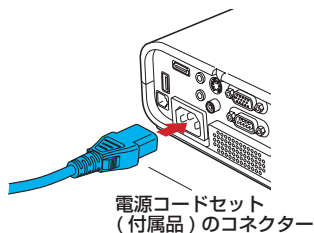
電源の入れかたと切りかた

■電源コードセットを接続する

① 本機の AC IN ソケットに電源コードセットのコネクターを差し込む

② 壁などのコンセントに電源プラグを差し込む

電源インジケータが緑色に点滅し、スタンバイモードになります。ネットワーク待機の設定が[入り]のときは、橙色に点灯します。



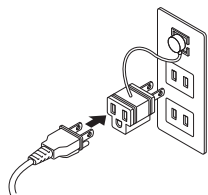
電源コードセット
(付属品) のコネクター

⚠ 警告

- 電源プラグは交流 100V のコンセントに接続すること。
- 緊急な場合にコンセントをすぐに抜けるよう、障害物などを置かないこと。

⚠ 注意

- 電源プラグのアース線は必ずアースに接続すること。
- アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続すること。また、アース線をはずす場合は、その前に必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。



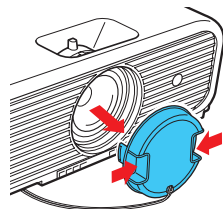
■電源の入れかた

① レンズキャップをはずす

電源を入れるときは、必ずレンズキャップをはずしてください。付けたままにしておくと、熱で変形することがあります。

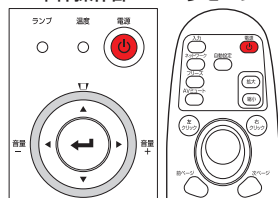
② 電源ボタンを押す

ビープ音の設定が[入り]のときビープ音が鳴って電源がはいり、電源のインジケータが橙色に点滅したあと、緑色に点滅します。ネットワーク待機の設定が[入り]のときは、緑色に点滅します。しばらくするとスタート画面が映し出されます。



本体操作部

リモコン



⚠ 警告

- 動作中はレンズをのぞかないこと。視力障害などの原因となります。

⚠ 注意

- 吸気孔、排気孔をふさがないこと。内部の発熱によって火災などの原因となります。
- 排気孔、ランプカバーの近くに手や顔を近づけたり、ものや他の機器を置かないこと。やけどや変形、変色、機器の故障の原因となります。

■ お知らせ

- スタート画面は、しばらくすると消えます。また、表示されないように [表示設定メニュー] p.41 で設定することもできます。
- ご購入後はじめてご使用になるときは、スタート画面が消えるとスタートメニューが表示されます。 p.30
- ビープ音は [初期設定1メニュー] p.44 で鳴らないように設定することもできます。
- キーロックが [入り] に設定されていると本体の操作ボタンは動きません。 p.45
- パスワードが [入り] に設定されていると、パスワードを入力し、パスワード入力画面が消えるとスタート画面が表示されます。 p.36
- レンズに直接手を触れないこと。
 投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、映像不良の原因となることがあります。

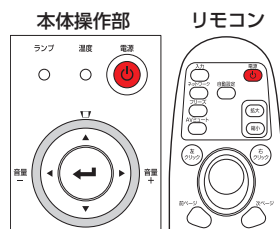
■ 電源の切りかた

① 電源ボタンを押す

ビープ音の設定が [入り] のとき音が鳴り、電源オフの確認メッセージが画面に表示されます。このメッセージは、しばらくすると消えます。(メッセージが消えた場合、この操作は無効になります。)

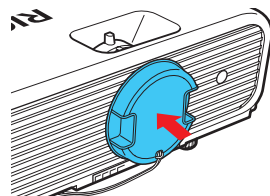
② もう一度電源ボタンを押す

ビープ音の設定が [入り] のとき音が鳴り、画面は消えますが内部の冷却が続き、その後スタンバイ状態に戻ります。冷却中は電源のインジケータが点滅します。インジケータが点滅中は再び電源を入れることができません。この途中で電源プラグをコンセントから抜いても差し支えありません。



③ レンズキャップを取り付ける

ご使用後はレンズキャップを取り付けてください。



■ お知らせ

- 本機はスタンバイ状態で 4.5W 程度の電力を消費します。長時間ご使用にならないときは、電源プラグを抜くことをおすすめします。(ネットワーク待機が [入り] の場合はスタンバイで約 8 W となります)

■ お願い

- 電源を切って、すぐにまた電源を入れるときは、ランプが冷えるまで 5 分程度待ってください。ランプが高温になっていると、点灯しないことがあります。

基本操作

① 電源を入れる

「電源の入れかた」[p.28](#) にしたがって電源を入れます。

② 言語、ランプパワーを選択する（はじめてお使いになるとき）

ご購入後はじめてお使いになるときは、言語選択（画面に表示されるメニューの言語やメッセージ）、およびランプパワーを設定するスタートメニューが表示されます。（画面のフォーカスが合っていないときは、手順⑥によって調整してください）

① ボタンで希望の言語を選び、 ボタンを押す

English	英語
Français	フランス語
Deutsch	ドイツ語
Italiano	イタリア語
Español	スペイン語
Português	ポルトガル語
Русский	ロシア語
Svenska	スウェーデン語
Türkçe	トルコ語

Polski	ポーランド語
Norsk	ノルウェー語
Suomi	フィンランド語
Čeština	チェコ語
Magyar	ハンガリー語
Ελληνικά	ギリシャ語
Dansk	デンマーク語
Nederlands	オランダ語
Română	ルーマニア語


日本語	日本語
中文(简体字)	中国語(簡体字)
中文(繁體字)	中国語(繁体字)
한국어	韓国語
Indonesia	インドネシア語
ภาษาไทย	タイ語
العربية اللغة	アラビア語

設定の結果を確認するメッセージが選択した言語で表示されます。

次に、ランプパワーの設定メニューが表示されます。

そのまま、何もしなければ「標準」に設定されます。変更したいときは、②の操作をしてください。

② ボタンでランプパワーを選び、 ボタンを押す

 ボタンを押さなくても、設定を変えるとランプパワーは切り換わり、表示は数秒後自動的に消えます。

■ お知らせ

- ・ 次回以降は電源を入れたときにスタートメニューは表示されません。ただし、「初期設定 2 メニュー」[p.45](#) で [すべてを初期化] を実行した場合には、その次に電源を入れたときにスタートメニューが表示されます。
- ・ 言語は「表示設定メニュー」[p.41](#)、ランプパワーは「初期設定 1 メニュー」[p.44](#) でも設定することができます。
- ・ この取扱説明書は、日本語が選択された状態を想定して記載しています。

③ 接続した機器を動作状態にする

接続したコンピューターなどの電源を入れ、起動します。

④ 入力ボタンを押す

接続した機器の映像が映し出されます。

入力ボタンを押すたびに、映像信号が出力されている接続機器の入力に切り換わります。

■ お知らせ

- 「初期設定1メニュー」 p.44 で [自動入力検索] を [切り] に設定（購入時は [入り] ）しておくと、入力ボタンを押すと、[入力切換]メニューが表示されます。
- ネットワーク入力のときに入力ボタンを押しても映像が映し出されない場合は、接続した機器が動作状態になっていることを確認し、再度入力ボタンを押してください。
- 他の接続機器から映像信号が出力されていないときは、入力ボタンを押しても入力は切り換わらず、「他に入力信号がありません」とメッセージが表示されます。

⑤ 設置角度を調整する

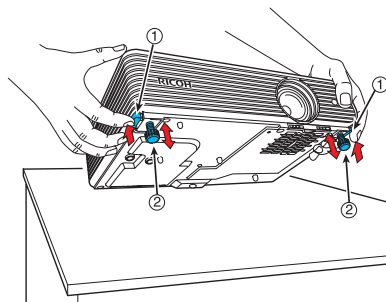
フットアジャスターで設置角度を変えて、投写画面の高さを調整することができます。

① お好みの角度になるように本機の前部を持ち上げ、フットアジャスター解除ボタンを上向きに押す

フットアジャスターが伸び、ボタンを離すとその位置に固定されます。

② 角度を微調整するときは、フットアジャスターを回す

- フットアジャスターを収納するときは、本機を支えながらフットアジャスター解除ボタンを押し、そのままゆっくりと本機を降ろしてください。



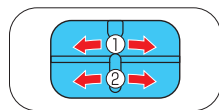
使
い
か
た

■ お知らせ

- 「初期設定1メニュー」の「自動台形補正」が「入り」に設定されていると、本機の設置角度に合わせて、画面の台形歪みが自動的に補正されます。自動台形補正を実行しない場合は、「自動台形補正」を「切り」に設定してください。

⑥ 画面の大きさを調整し、ピントを合わせる

- ① ズームレバーで投写画面の大きさを調整する
- ② フォーカスレバーでピントを合わせる



本体正面側

⑦ ㊦ ㊦ ボタンで音量を調整する


音声信号が入力されているときにスピーカーの音量を調整できます。

基本操作（つづき）

■ お願い

- ランプの特性によって、まれに明るさがわずかに変動することがあります。ご了承ください。
- 本機に使用している液晶パネルは高精度な技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯部分が存在することがあります。これは故障ではありませんので、ご了承ください。

■ お知らせ

- ランプは消耗品です。長時間使用しますと映像が暗くなったり、切れて点灯しなくなったりすることがあります。これはランプの特性であり、故障ではありません。
- 本機はさまざまな種類の RGB 信号 [p.104](#) に対応しますが、XGA (X3241N)、WXGA (WX3231N) 以外の信号では拡大・圧縮表示されるため画質が多少劣化します。良好な画質でご覧いただくために、接続するコンピューターの外部出力の設定を XGA (X3241N)、WXGA (WX3231N) に合わせることをおすすめします。
- 液晶ディスプレイなどを用いたコンピューターの機種によっては、コンピューター側のモニター表示とプロジェクターへの出力とを同時に行うと、画面が正しく映らない場合があります。このような場合には、コンピューターの液晶ディスプレイの表示を切ってください。液晶ディスプレイ表示の切換方法などは、コンピューターの取扱説明書を参照してください。
- 接続機器から信号が入力されていないときや、表示中に信号がなくなったときは「無信号」が表示されます。
- 本機が対応していない信号が入力されると、「非対応信号」が表示されます。
- 実行できない操作ボタンを押すと、ビープ音の設定が [入り] のときビープ音が鳴り、アイコン  が表示されます。
- コンピューターの DVD 再生ソフトで再生した動画映像を本機で映すと、映像の動きが不自然になることがありますが、故障ではありません。

■ 液晶パネルについて

液晶パネルには寿命があります。長くご使用いただくために以下の点にご注意ください。

- 液晶パネルの寿命をのばすために、使用していないときは必ず電源を切り、ランプが消えていることを確認してください。ランプが消えていると省エネ効果も大きくなります。
- エアフィルターがよごれて目詰まりすると、本機内部の温度が高くなり液晶パネルの寿命を短くするとともに、故障の原因になります。こまめに清掃することをおすすめします [p.95](#)。
- エアフィルターが傷んだときは、販売担当者にご相談のうえ、新しいものと交換してください。傷んだまま使用すると、ほこりやごみが本機の内部に入り、動作停止や故障の原因となります。

便利な機能を使う

■自動設定をする（オートセット）コンピューターの信号のみ

入力信号の種類に応じてサンプリング位相・周波数、画面位置、クランプなどを自動的に調整することができます。

● リモコンの自動設定ボタンを押す

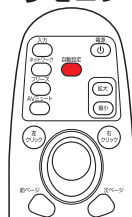
処理中はアイコン  が表示されます。

[映像調整メニュー] [p.39](#) の[オートセット]でも自動設定できます。

■ お知らせ

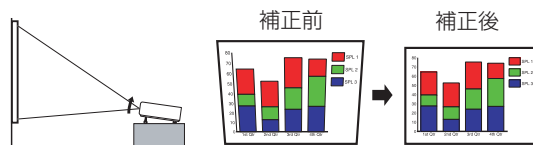
- 本機が対応している入力信号 [p.104](#)、[p.105](#)、[p.106](#) 以外では、映像が出なかったり、正しい自動調整ができないことがあります。
- 正しく調整ができなかった場合は、[映像調整メニュー] [p.40](#) の[位置]で手動調整してください。

リモコン



■台形歪みを補正する（キーストン）

スクリーンに対し設置角度を変えて投写すると、投写画面が歪みます。本機では、この台形歪みを補正することができます。



プロジェクターの設置角度にあわせて自動的に台形補正が行われます。

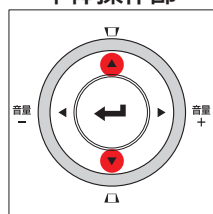
● 台形歪みを手動で補正する場合

▲ ▼ ボタンで歪みを調整する

■ お知らせ

- 台形補正の度合いや映像の内容によっては、一部情報が欠けたり、画質が劣化する場合があります。
- 自動台形補正が「入り」のときでも、台形補正を手動で調整できますが、設置角度に変化があると、再び自動調整されますのでご注意ください。
- 自動台形補正が「入り」のときは、電源が入るたびに自動台形補正が実行されます。
- 台形補正の状態は本機の電源を切っても記憶されますので、本機とスクリーンとの設置状態が固定されている場合は、自動台形補正を「切り」にしておくことをおすすめします。

本体操作部



リモコン



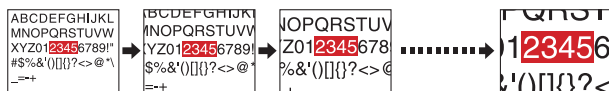
便利な機能を使う（つづき）

■映像を拡大する（リサイズ）

投写している映像を拡大（リサイズ）表示させることができます。

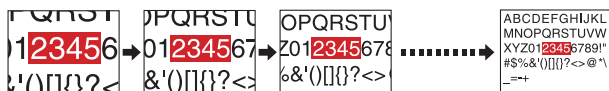
① リモコンの拡大ボタンを押す

拡大ボタンを押すたびに拡大倍率が上がります。ボタンを押し続けることもできます。



② 拡大倍率を下げるときは、リモコンの縮小ボタンを押す

縮小ボタンを押すたびに拡大倍率が下がります。ボタンを押し続けることもできます。（もとの大きさよりも小さくすることはできません）

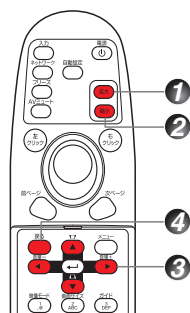


③ 拡大部分を移動するときは、 ボタンを押す

ボタンを押し続けることもできます。




リモコン



④ 縮小ボタンでもとの大きさまで戻ると、リサイズが解除されます。

リサイズ中に戻るボタンを押しても、リサイズは解除されません。

■ お知らせ

- ・リサイズ中はアイコン  が表示されます。
- ・ミュート以外の操作をしたときは、リサイズは解除されます。
- ・デジタル処理で拡大するため、拡大するにつれて映像があらくなります。
- ・拡大中や拡大部分を移動中、まれに画像が乱れることがあります。

■映像と音声を一時的に消す（ミュート）

スクリーンに他のプロジェクターや OHP などの映像を一時的に投写したいようなとき、本機の映像と音声を消すことができます。

● リモコンの AV ミュートボタンあるいは本体操作部の戻る / AV ミュートボタンを押す

映像と音声が消えます。（もう一度 AV ミュートボタンあるいは戻る / AV ミュートボタンを押すと、ミュートが解除されて映像と音声が出ます）

本体操作部の戻る / AV ミュートボタンは、リサイズ中、設定メニュー表示中、USB 入力選択中、ネットワーク入力選択中で待機画面表示中はミュートされません。

■ お知らせ

- ミュート中は、アイコン  が表示されます。
- 他の操作をすると、ミュートが解除されます。

■画質を変える

投写中の映像モードを選択します。

● リモコンの映像モードボタンを押し、▲▼ボタンで切り換える 表示されたリストから選択したら、◀▶ボタンで決定します。

- コンピューター、HDMI、USB メモリー、ネットワーク映像では、以下の設定に切り換わります。

ダイナミック / 標準 / フォトグラフィック

- また Y/Pb/Pr、ビデオ、S-ビデオ映像では、以下の設定に切り換わります。

あざやか / 標準 / 映画

■ お知らせ

- [映像調整メニュー]の[映像モード]でも切り換えることができます。 [p.39](#)

■画面サイズを変える

投写中の画面サイズを変えます。

● リモコンの画面サイズボタンを押す

ボタンを押すごとに、以下の順で切り換わります。

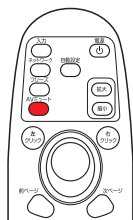
X3241N : ノーマル / フル / スルー / ワイド

WX3231N : ノーマル / フル / スルー / 4:3 ズーム

■ お知らせ

- スルー表示はコンピューター映像（HDMI 入力を含む）およびネットワーク映像のときだけ可能です。
- ワイド、4:3 ズーム表示は、Y/Pb/Pr（HDMI 入力を含む）、ビデオ / S-ビデオ映像のときだけ可能です。
- [表示設定メニュー]の[画面サイズ]でも切り換えることができます。 [p.41](#) [p.42](#)
- 市販映像ソフトや放送・有線放送番組に対して、この機能を個人の視聴以外の目的で使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

リモコン



リモコン



リモコン



便利な機能を使う（つづき）

■映像を静止させる（フリーズ）

投写中の映像を静止させることができます。ビデオの映像を止めてプレゼンテーションしたいときなどにお使いいただけます。


リモコン



● リモコンのフリーズボタンを押す

映像が静止します。（もう一度フリーズボタンを押すと、フリーズが解除されます）




■ お知らせ

- フリーズ中は、アイコン  が表示されます。
- その他の操作をすると、フリーズは解除されます。
- 本機で映像を静止させても、ビデオ機器などの映像は変化しています。
- 市販映像ソフトや放送・有線放送番組に対して、この機能を個人の視聴以外の目的で使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

■パスワード設定をする

● パスワードの変更のしかた






お買い上げ時のパスワードは「000000」です。

- ① 「初期設定 2 メニュー」の [パスワード] を選択し、 または  ボタンを押す
- ② 次に [パスワード登録] を選択し、 ボタンを押す
パスワード入力画面が表示されます。
- ③ 現在のパスワード（数字 6 桁）をリモコンのテンキーボタンで入力する
 - はじめて変更するときは「000000（ゼロを 6 個）」を入力する。
 - パスワードは表示されません。画面には「*」が表示されます。
- ④ 次に新しいパスワード（数字 6 桁）を入力する
- ⑤ もう一度、新しいパスワードを入力する

■ お知らせ

- パスワードは忘れないようにしてください。もしパスワードを忘れた場合、お客様ご自身で解除することはできません。
このようなときは、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。

● パスワードの設定のしかた（「切り」から「入り」にするとき）

- ① 「初期設定 2 メニュー」の [パスワード] を選択し、 または  ボタンを押す
- ② 次に [パスワード設定] を選択し、 または  ボタンを押す
- ③ [入り] を選択する
- ④ [OK] を選択し、 ボタンを押す
パスワード入力画面が表示されます。
- ⑤ リモコンのテンキーボタンで数字 6 桁のパスワードを入力する
- ⑥ パスワード設定が「入り」に設定されます。






● パスワードが [入り] での操作のしかた

- ① 電源を入れる
- ② ランプが点灯し、パスワード入力画面が表示される
- ③ リモコンのテンキーボタンでパスワードを入力する
パスワードが正しいときは、スタート画面が表示され通常の状態になります。パスワードを間違えて入力したときは、メッセージが表示され、再びパスワード入力画面が表示されます。パスワードを 5 回間違えると自動的に電源が切れスタンバイ状態になります。

■ お知らせ

- パスワード設定が「入り」に設定されている場合、パスワード機能が有効になるのは、電源プラグをいったん抜き再度入れたあと、最初に電源を入れたときのみです。それ以後、電源プラグを抜かずに、スタンバイ状態から電源を入れても、パスワード機能は動きません。

● パスワードの設定のしかた（「入り」から「切り」にするとき）

- ① 「初期設定 2 メニュー」の [パスワード] を選択し、 または  ボタンを押す
パスワード入力画面が表示されます。
- ② リモコンのテンキーボタンでパスワードを入力する
- ③ 次に [パスワード設定] を選択し、 または  ボタンを押す
- ④ [切り] を選択する
- ⑤ [OK] を選択し、 ボタンを押す

メニュー 1 を使う

本機操作部やリモコンのメニューボタン **p.18** で画面にメニューを表示して、さまざまな調整や設定をすることができます。

■設定表示の設定

メニューの図は操作説明用であり、実際の表示と異なる場合があります。

1.メニューボタンを押す [設定表示]メニューを表示させる

2.カテゴリーを選択する

◀▶でカテゴリーを選択します。
以下の5種類のカテゴリー
があります。

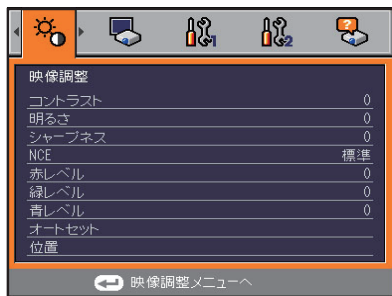
 [映像調整] **p.39**

 [表示設定] **p.41**

 [初期設定 1] **p.44**

 [初期設定 2] **p.45**

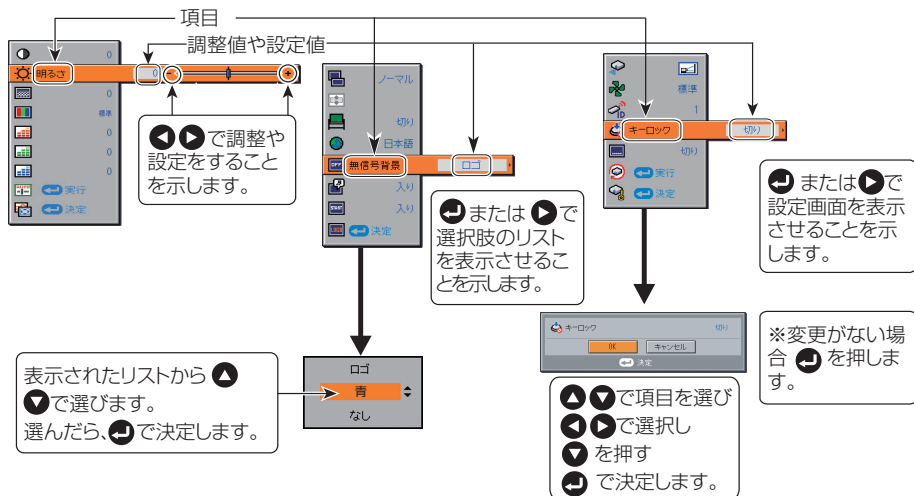
 [状態表示] **p.47**



選択されたカテゴリーの現在の調整・設定状態が表示されます。
灰色で表示される項目は、現在選択されている入力では調整・設定ができません。

3.調整・設定をする

◀ または ▶ でメニューを開きます。



- 図は説明用の表示です。項目によって異なることがありますので、以降のページを参照してください。
- ひとつ前の項目に戻すには、戻るボタンを押します。
- ネットワーク/USBメモリー入力が選択されているときは、メニューボタンを2回押すと、[設定表示(2)]が表示されます。

4.終了 もう一度、メニューボタンを押す

(メニュー画面は、何も操作しないと30秒で自動的に消えます。)

■ お知らせ


- メニューで調整・設定した内容は、メニューを表示中に電源プラグを抜いたり停電して電源が切れた場合には記憶されません。

■ 映像調整メニュー

このメニューでは、映像に関する項目について調整・設定をすることができます。入力の種類によって調整・設定ができる項目(○)とできない項目(-)があります。(灰色で表示される項目は、そのとき選択されている入力では調整・設定ができません)

項目 ▲ ▼	内 容	コンピ ュー ター	Y/Pb/Pr	HDMI	ビデオ	S-ビデオ	ネット ワーク	USB メモリー
コントラスト	映像のコントラスト(濃淡)を調整する 弱く(淡く) ◀▶ 強く(濃く)	○	○	○	○	○	○	○
明るさ	映像の明るさを調整する 暗く ▶▶ 明るく ▶▶	○	○	○	○	○	○	○
色の濃さ	映像の色の濃さを調整する 淡く ▶▶ 濃く ▶▶	-	○	-	○	-	-	-
シャープネス	映像の鮮鋭さを調整する ソフトに ▶▶ シャープに ▶▶	○	○	○	○	○	○	○
ノイズリダク ション* ¹	画面上のノイズを減らす働きを設定する 入り ▶▶ 切り ▶▶	-	○	-	○	-	-	-
映像モード	画質を切り換える ▶▶ を押し、映像モードを ▲ / ▼ で 切り換える 詳しくは p.35 を参照	○	○	○	○	○	○	○
赤レベル	映像の赤色を調整する 赤を弱く ▶▶ 赤を強く ▶▶	○	○	○	○	○	○	○
緑レベル	映像の緑色を調整する 緑を弱く ▶▶ 緑を強く ▶▶	○	○	○	○	○	○	○
青レベル	青レベル 映像の青色を調整する 青を弱く ▶▶ 青を強く ▶▶	○	○	○	○	○	○	○
NTSC モード* ²	黒レベルを ▶▶ で設定する US : NTSC(US) モード JAPAN : NTSC(JAPAN) モード	-	-	-	○	○	-	-
RGB 入力 レンジ* ³	RGB 入力レンジを ▶▶ で設定する 標準 : 黒が薄くなったとき フル : 暗部が黒くなり過ぎたとき	-	-	○	-	-	-	-
オートセット	入力信号の種類に応じて、サンプリング 位相などを自動的に調整する	○	-	-	-	-	-	-
イコライザー	画面上のノイズを低減する ▶▶ で調整	-	-	○	-	-	-	-

メニュー1を使う (つづき)

項目 ▲ ▼	内容	コンピューター	Y/Pb/Pr	HDMI	ビデオ	S-ビデオ	ネットワーク	USBメモリー
 位置	 を押し、モードを ▲ / ▼ で切り換え   で調整	○	—	—	—	—	—	—
 サンプルング位相	画面のちらつきがなくなるように調整する	○	—	—	—	—	—	—
 サンプルング周波数	細かい縦縞を映したときの周期的な模様やちらつきがなくなるように調整する	○	—	—	—	—	—	—
 水平位置	映像の水平位置を調整する	○	—	—	—	—	—	—
 垂直位置	映像の垂直位置を調整する	○	—	—	—	—	—	—
 クランプ 1	クランプパルスの位置を調整する	○	—	—	—	—	—	—
 クランプ 2	クランプパルスの幅を調整する	○	—	—	—	—	—	—


























※ 1: [ノイズリダクション] は、信号の種類によって調整できないことがあります。

※ 2: [NTSC モード] は、ビデオ信号が [NTSC] と [NTSC4.43] のときだけ表示され、設定できます。また、言語が日本語に設定されたときは、JAPAN に設定されます。他の言語のときは、US に設定されます。

※ 3: [RGB 入力レンジ] は、HDMI ケーブルにて RGB 信号を接続したときだけ設定できます。

■表示設定メニュー

このメニューでは、画面表示に関する項目について設定をすることができます。
(灰色で表示される項目は、そのとき選択されている入力では設定ができません)

項目 ▲▼	内容	
 画面サイズ	画面サイズの設定 [ または  : 設定にはいる] → [  : 選択] → [決定 : ] X3241N : ノーマル / フル / スルー / ワイド WX3231N : ノーマル / フル / スルー / 4:3 ズーム	
 上下シフト	画面サイズ設定が以下の表示の際に上下に投写映像を移動させる X3241N : ワイド (1024 × 768 の範囲内) WX3231N : 4:3 ズーム (1280 × 800 の範囲内) 画面が下がる   画面が上がる	
 黒板モード	スクリーン以外に投写するとき、投写面の色に合わせて設定  を押し、   で切り換える 切り / 緑 / 黒 / 茶 / 青 / ベージュ	
 言語	メニューやメッセージの表示に使用する言語を以下から選択 [ または  : 設定にはいる] → [    : 選択] → [決定 : ] English / Français / Deutsch / Italiano / Español / Português / Русский / Svenska / Türkçe / Polski / Norsk / Suomi / Čeština / Magyar / Ελληνικά / Dansk / Nederlands / Română / 日本語 / 中文(简体字) / 中文(繁體字) / 한국어 / Indonesia / ภาษาไทย / العربية اللغة	
 無信号背景	入力信号がないときの画面表示 [ または  : 設定にはいる] → [  : 選択] → [決定 : ] ロゴ / 青 / なし	
 アイコン表示	機能をガイドするアイコンの表示	入り   切り
 スタート画面	電源を入れたときの初期画面の表示	入り   切り
 ユーザーロゴ	スタート画面および無信号ロゴをユーザーロゴにすることができる [ または  : 設定にはいる] → [  : 選択]	
 ログ登録	 を押しと登録メニューになる	
 表示方法	   	
 背景	黒   青   白	
 ログ確認	 を押し	
 ログ初期化	はい   いいえ	

メニュー1を使う (つづき)

● 各項目の詳しい説明

【画面サイズ】

- ・ **ノーマル** : 映像信号のアスペクト比を変えずに、画面いっぱいに表示します
- ・ **フル** : 1024 × 768 ドットで、画面全体に表示します。(X3241N)
1280 × 800 ドットで、画面全体に表示します。(WX3231N)
- ・ **スルー** : 映像信号の解像度そのまま表示します。Y/Pb/Pr、HDMI (Y/Pb/Pr 信号)、ビデオ、S-ビデオの各入力時は選択できません。
画面よりも大きい映像は画面の外にはみ出ます。映像の周波数によっては、映像が縦長になる場合があります。
- ・ **ワイド (X3241N)** : アスペクト比が 16 : 9 になるように、縦方向を縮めて画面中央にワイド画面で表示します。コンピューター、ネットワークおよび HDMI (RGB 信号) の各入力時は選択できません。
- ・ **4 : 3 ズーム (WX3231N)** : アスペクト比が 4 : 3 になるように、縦方向を伸ばして、画面の上下に映像をはみ出して表示します。コンピューター、ネットワークおよび HDMI (RGB 信号) の各入力時は選択できません。
- ・ Y/Pb/Pr、HDMI (Y/Pb/Pr 信号) 入力は、映像信号のアスペクト比が 16 : 9 のときは設定できません。
- ・ ネットワーク入力は、映像が表示されているときのみ設定できます。
- ・ ネットワークプロジェクター (Windows Vista[®]、Windows[®] 7) で接続しているときは、設定できません。また、映像のサイズによっては画面いっぱいに表示できない場合があります。
- ・ USB メモリー入力は設定できません。

■ お知らせ

- ・ 市販映像ソフトや放送・有線放送番組に対して画面サイズ設定機能を使って、個人視聴以外の目的で元の映像と異なる縦横比で表示すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

【上下シフト】

- ・ 【画面サイズ】が【ワイド】のときに上下に映像を移動できます。(X3241N)
【画面サイズ】が【4:3 ズーム】のときに上下に映像を移動できます。(WX3231N)

【黒板モード】

- ・ 黒板モードを設定することによって、スクリーンに投写したときの色合いに近づけて投写することができます

■ お願い

- ・ 投写面と同じ色で設定しても黒板、壁などの種類、色調、材質によって効果が異なりますのでご了承ください。

【無信号背景】

- ・ ご購入時の【ロゴ】は RICOH が登録されています。
- ・ ユーザーロゴが登録されているとき、【ロゴ】に設定しておく、登録した画面が無信号のときに表示されます。

【スタート画面】






ユーザーロゴが登録されているとき【入り】に設定しておく、登録した画面がスタートアップの画面として表示されます。

【ユーザーロゴ】

コンピューターから入力されている映像の一部を静止画として取り込み、その画面をスタート画面や無信号ロゴとして表示させることができます。

〈ロゴ登録〉

● ユーザーロゴ登録のしかた

- 1 登録する映像を映す
- 2 [表示設定メニュー]の[ユーザーロゴ]を選択し、 または  ボタンを押す
- 3 表示された項目から〈ロゴ登録〉を選択し、 ボタンを押す
- 4 登録確認用に登録範囲が表示され、[OK]を選択し、 ボタンを押す
 - 映像が表示範囲内にはない場合は、コンピューター側を操作し、画面を動かしてください。
- 5 登録するときは[はい]を選択し、 ボタンを押す
- 6 登録が開始される
 - 登録中はメッセージが表示されます。

■ お知らせ

- 〈ロゴ登録〉は、コンピューター、HDMI (RGB 信号)、ネットワーク、USB メモリーの入力時に有効です。
- ネットワーク入力では、映像が表示されているときのみ登録できます。
- USB メモリー入力では、サムネールリストを表示しているときは登録できません。
- 登録できるサイズは、画面中央の 512 × 384 ドット (X3241N)、640 × 400 ドット (WX3231N) です。会社のロゴなどを登録する場合は、この範囲内で作成してください。
- 登録できるロゴは 1 画面のみです。登録するごとに前に登録したものは消去されます。
- 絵柄の情報量によって登録時間および表示時間は異なります。
- 市販映像ソフトや放送・有線放送番組に対して、この機能を個人の視聴以外の目的で使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

〈表示方法〉

登録したロゴの表示サイズを選択します。



登録した映像のサイズで画面の中央に表示します。



登録した映像を画面いっぱいに拡大して表示します。

(デジタル処理で拡大するため、映像はあらかくなります)

〈背景〉

[表示方法]を[中央]に設定したときの、背景画面の色を設定します。

〈ロゴ確認〉

登録したロゴを確認することができます。

〈ロゴ初期化〉





















登録したロゴ、表示方法、背景の設定をご購入時の状態に戻すことができます。
(スタート画面、無信号時のロゴをご購入時の状態に戻ります)

メニュー1を使う (つづき)

■初期設定メニュー

このメニューでは、設置状態などの設定をすることができます。

初期設定1メニュー

項目 	内容
 自動台形補正	常に自動台形補正を実行 入り  切り
 無信号電源オフ	無信号状態で最後に操作したときから電源が切れるまでの時間を設定 切り (切れない)  30分後
 自動入力検索	入力切替時信号のある入力だけを選ぶかを設定 入り  切り
 ネットワーク 入力検出	自動入力検索時のネットワーク入力の検出方法を設定 常時  ノーマル
 ビープ音	操作時に操作音を出す 入り  切り
 音声ガイド	本機の状態や異常の発生などを音声で知らせる 切り  小  大
 電源オン	電源ボタンで電源を入れる (手動) か、電源コードで電源を入れる (自動) かを設定 手動  自動
 ネットワーク待機	スタンバイ時のネットワーク機能の待機状態を設定 入り  切り
 ランプパワー	ランプパワーを設定 低  標準




●各項目の詳しい説明

[自動入力検索]

[入り]: 投写可能な信号を自動検索します。

入力ボタンを押すごとに、接続機器の映像信号が出力されている入力に切り換わります。接続されていても映像信号が出力されていないときは、その入力はとばされます。

[切り]: 入力ボタンを押すと、[入力切替メニュー]が表示されます。

  ボタンで選択し、 ボタンを押す (信号がない入力も選択できます)

[入力切替メニュー]

入力切替

- コンピューター 1
- Y/Pb/Pr 1
- コンピューター 2
- Y/Pb/Pr 2
- HDMI
- ビデオ
- S-ビデオ
- ネットワーク
- USBメモリー

●/○は信号のあり/無しを表示します。

■お知らせ

- 通常は [入り] にしてご使用ください。[入力切替メニュー] から直接、入力を選択したいときや画像が正しく表示されなかったときなどは、[自動入力検索] を [切り] にしてご利用ください。

[ネットワーク入力検出]

[常時] に設定すると、ネットワーク入力画面などが送信されていない場合でも、自動入力検索時に必ずネットワーク入力選ばれます。

[ノーマル] に設定すると、ネットワーク入力画面などが送信されている場合のみ選ばれます。

■お知らせ

- ネットワーク入力をご使用にならない場合は、[ノーマル] にしておくことをおすすめします。
- [自動入力検索] が [入り] の場合でも、ネットワーク入力や [ネットワーク入力検出] の設定が [常時] の場合は、他の入力信号に切り替わりません。入力ボタンを押して入力を切り替えてください。

【音声ガイド】

【切り】に設定しても、異常の発生などはお知らせします。

【電源オン】

【自動】に設定した場合、電源が供給されると、本機の電源がオンになりますので、停電復旧後などご注意ください。

【ネットワーク待機】

【入り】に設定するとスタンバイ時もネットワーク機能が待機状態になり、ネットワークユーティリティのリモコン機能でプロジェクターの電源を入れることができます。
【切り】に設定するとネットワークユーティリティのリモコン機能で電源を入れることはできません。

【ランプパワー】

【低】に設定すると画面は暗くなりますが、冷却音を小さくできます。

初期設定 2 メニュー

項目 ▲ ▼	内容
 設置状態	設置状態 p.23 に合わせて投写を設定  (標準)  (背面)  (天吊り)  (背面天吊り)
 ファンモード	ファンの回転を設定 標準 ◀ ▶ 高
 リモコンコード	本機を 2 台使用して別々にリモコン操作したいとき本機のリモコンコードとリモコンのコードを合わせる [ または  : 設定にはいる] → [  : 1、2 を選択] → [ : 確認] → [  : OK で設定完了] [キャンセル] で戻り
 キーロック	本体の操作ボタンをロック [ または  : 設定にはいる] → [  : 入り、切りを選択] → [ : 確認] → [  : OK で設定完了] [キャンセル] で戻り
 クローズドキャプション	クローズドキャプションの表示方法を設定  または  を押し、   で切り換える。 切り / CC1 / CC2 / CC3 / CC4 / T1 / T2 / T3 / T4
 すべてを初期化	 を押し (パスワードとユーザーロゴは初期化されません) すべての調整・設定を購入時の状態に戻す はい ◀ ▶ いいえ
 パスワード	パスワード設定 p.36  を押し → パスワード登録 / パスワード設定

● 各項目の詳しい説明

【ファンモード】

【高】に設定すると冷却ファンの回転数が上がります。(冷却音は大きくなります)
高地(およそ標高1500mをこえる地域)などでお使いになるときに設定してください。

- 高地以外でご使用のときは、【高】に設定しないでください。

メニュー1を使う (つづき)

【リモコンコード】

2種類のリモコンコードを設定することができます。別々に操作したいときなど2台まで使い分けて操作することができます。購入時は【1】に設定されています。コードを切り換えるときは本機とリモコンの両方を同じ番号に合わせます。リモコンコードは設定が完了したときから適用されます。

- ・ リモコン側と本機のコードが合っていないとリモコンの操作はできません。

リモコンのリモコンコードの設定

リモコンコードスイッチを本体のコードと同じ番号に合わせます。 [p.18](#) [p.19](#)



リモコンコード



リモコンコード

【キーロック】

本体の操作ボタンをロックして、誤操作を防ぐことができます。(リモコンでの操作は可能です。)

キーロックは【入り】に設定が完了したときから適用され、本体の操作ボタンでは操作できなくなります。

- ・ キーロックの解除はリモコンでの操作で【切り】に設定するか、または本体の【戻る/AVミュート】ボタンを10秒間押しつづけても【切り】に設定することができます。(本体で操作のときはランプ、温度の2個のインジケータが橙色に3秒点灯し、同時にビープ音が鳴ります。)ただし、ネットワーク入力またはUSB入力が選択されているときは、本体の【戻る/AVミュート】ボタンでは、【切り】に設定できません。

【クローズドキャプション】

- ・ **切り** : クローズドキャプションを表示しません。
- ・ **CC1-CC4** : クローズドキャプションに対応している番組やビデオなどの会話や(キャプション)ナレーションの字幕を表示します。
- ・ **T1-T4** : クローズドキャプションに対応している放送の受信が可能な状況に(テキスト) おいて、番組等に関連のない文字情報を表示します。(株式市況や天気予報など)

■ お知らせ

- ・ 本機では、クローズドキャプションに対応しています。これは、米国のFCC (Federal Communications Commission) の規定に準拠した字幕機能のことです。この規定に準拠した放送が実施されていない地域では、放送形式、信号形式が異なりますので対応できない場合があります。
- ・ 録画状態や信号の受信状態によって、正しく表示されないことがあります。
- ・ 【テキスト】の利用ができない場合、黒い背景画面のみが表示されることがあります。この背景を表示しないようにするには、クローズドキャプションを「切り」に設定してください。
- ・ 接続側の操作(放送番組のチャンネル切換えやビデオの特殊再生)によっては、【キャプション】や【テキスト】がしばらくの間、画面に残ることがあります。
- ・ 【クローズドキャプション】は、ビデオ、S-ビデオの入力時に有効です。

■状態表示

入力信号の情報やランプ使用時間などの情報を表示させることができます。

項目	内容	コンピューター	Y/Pb/Pr	HDMI	ビデオ	S-ビデオ	ネットワーク	USBメモリー
入力	入力ソースの名称	○	○	○	○	○	○	○
モード名	RGB/HDMI 信号のモード ^{*1}	○	—	○	—	—	—	—
解像度	解像度 (ドット数)	○	—	○	—	—	—	—
周波数	同期周波数	○	—	○	—	—	—	—
同期	同期信号極性 ^{*2}	○	—	—	—	—	—	—
信号フォーマット	Y/Pb/Pr 信号のフォーマット	—	○	—	—	—	—	—
ビデオモード	ビデオ信号のカラー方式	—	—	—	○	○	—	—
ランプ時間	ランプの使用時間 ^{*3}	○	○	○	○	○	○	○
ランプリセットカウント	ランプ交換回数	○	○	○	○	○	○	○
トータル時間	本機の総使用時間	○	○	○	○	○	○	○
バージョン	ファームウェアのバージョン ^{*4}	○	○	○	○	○	○	○

※ 1: RGB 対応信号 [p.104](#) および HDMI 対応信号 [p.106](#) のモードが表示されます。

※ 2: 同期信号の極性を [水平 / 垂直] の配置で、P (正極性)、N (負極性) で表示します。

※ 3: [ランプ時間] はランプ交換時期 [p.99](#) の目安として表示しています。ランプ保証時間のカウンターとしてはご使用になれません。

※ 4: [バージョン] は本機内部の制御プログラムのバージョンです。アフターサービスなどの際に参照します。

■お知らせ

- 表示された情報は、状況が変わっても更新されません。更新するときは、表示された情報をいったん消してから、もう一度表示させてください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です！)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定を取扱説明書にしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法でセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

ネットワーク接続をする前に

本機をネットワークに接続する前に、ご使用のパソコンのOSをお確かめください。

本機は、Windows Vista[®]、Windows[®] 7のネットワークプロジェクター機能に対応しています。

- パソコンのOSがWindows Vista[®]、あるいはWindows[®] 7で、ネットワークプロジェクター機能を利用して接続される際には、[ネットワークプロジェクター (Windows Vista[®]、Windows[®] 7) による接続] p.49、[ネットワークプロジェクター/ネットワークユーティリティの設定] p.54 および [ネットワークプロジェクターの使いかた] p.66 をご参照ください。
- その他のOS (Windows[®] 2000、Windows[®] XP) で接続される際は、[ネットワークユーティリティによる接続] p.49、[ネットワークプロジェクター/ネットワークユーティリティの設定] p.54 および [ネットワークユーティリティの使いかた] p.69 をご参照ください。

■ネットワークプロジェクター (Windows Vista[®]、Windows[®] 7) ※による接続

※以降、ネットワークプロジェクターと表記

●機能

ネットワークプロジェクターへの接続ウィザードを使用すると、無線LANまたは有線LANにて、ネットワーク上にある任意のネットワークプロジェクター機能に対応したプロジェクターに接続することができます。

難しい設定をすることなく、Windows Vista[®]、Windows[®] 7からプレゼンテーションすることができます。

■お知らせ

- この機能はWindows Vista[®]のUltimate、Businessエディション、Windows[®] 7のProfessional、Ultimateエディションで動作を確認しています。
- 無線LANのアドホックモードで接続する場合においても、IPアドレスの設定を行う必要があります。
- コンピューターの解像度がプロジェクターの解像度より大きい場合は、コンピューターの解像度設定を小さくする必要があります。
- 動画および音声の転送には対応していません。
- ネットワークユーティリティで接続中は本機能を使用できません。

■ネットワークユーティリティによる接続

●機能

LAN専用アプリケーションソフト「ネットワークユーティリティ」 p.69 を使って無線LAN、または有線LANによって、以下の機能をご利用になれます。

1) コンピューターの画面をプロジェクターで映す。

デスクトップ画面やさまざまなアプリケーションソフトの画面を、プロジェクターに送信して映すことができます。また、コンピューターで再生している音声をプロジェクターに送信することができます。ネットワークマウスコントローラー機能を使うと、本機のリモコンでコンピューターを操作することもできます。

2) コンピューターに保存されているJPEGファイルをプロジェクターで映す。

JPEG形式のファイルを送信して、画像を映すことができます。

ネットワーク接続をする前に（つづき）

- 3) コンピューターに保存されている動画をプロジェクターで映す。
動画ファイルを送信して、画像を映すことができます。また、動画ファイルに含まれる音声もプロジェクターに送信します。
- 4) マルチスクリーン機能を使って、コンピューターの画面をプロジェクターで映す。
1台のコンピューターに仮想ディスプレイを用意し、複数のディスプレイの画面をそれぞれ別のプロジェクターに送信して映すことができます。また特定のディスプレイの画面のみをプロジェクターに送信して映すこともできます。
- 5) コンピューターでプロジェクターを操作する。
リモコンの一部の機能と同様の操作をすることができます。

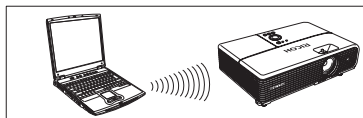
■お知らせ

- ・ ネットワークユーティリティは Windows Vista[®]、Windows[®] 7 でも使用できます。

■通信モード

本機の無線 LAN は、アドホックとインフラストラクチャの両通信モードに対応しています。

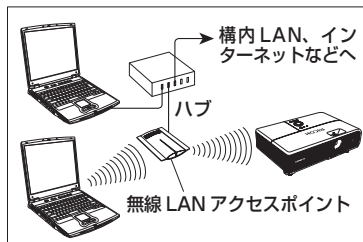
◆アドホック通信モード



無線 LAN 機器同士で通信するモードです。ほかの設備が不要なので、会議室でのプレゼンテーションなどに適しています。情報は電波の届く範囲にしか到達しません。

電波の到達範囲の数値での保証はいたしかねます。それぞれの無線 LAN 機器の性能、障害物の有無、周囲の別グループの無線 LAN 機器の有無などにもよりますが、一般的には見通せるオフィス内や会議室内などで使用することが前提とされています。

◆インフラストラクチャ通信モード



無線 LAN アクセスポイントを経由して、無線 LAN と有線 LAN が混在したネットワークと通信できます。（無線 LAN 機器同士で通信することもできます。）有線 LAN やインターネットを通じて世界中とつながるため、より高いセキュリティが必要です。

お使いになる場所のネットワーク環境などに応じて適した通信モードをご利用ください。

■無線 LAN 機能使用上のご注意とお願い

本機の無線 LAN は 2.4GHz 帯の電波を使用しています。周囲に同様の無線 LAN や 2.4GHz 帯の電波を使用している無線機器、電子レンジなどがあると、本機の通信性能が低下したり使用できなくなることがありますが、故障ではありません。このような場合には本機から周囲の医療用機器や、産業用、公共の無線機器などに電波妨害を与えていないかご確認の上、状況によって使用場所を変えるか、使用を中止してください。

USB 端子の使いかた

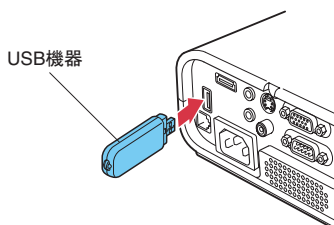
市販の USB2.0 に対応した USB メモリーや USB メモリーカードリーダー/ライター、デジタルカメラなどを接続すると保存されている JPEG ファイル、MPEG ファイルを本機で映すことができます。 [p.52](#)

(USB2.0 に準拠したすべての USB 機器について動作を保証するものではありません)
USB 機器を抜き差しする際は、以下の手順にしたがってください。

■ USB 機器を接続する

USB 機器を差し込む

向きを確かめ、止まるまでしっかりと差し込んでください。



■ USB 機器を取りはずす

- ① 入力を USB メモリーに切り換え、メニューボタンを 2 回押し、設定表示 (2) を表示させ、スライドショー設定の、「デバイスの取り外し」を選択し、実行する

USB 機器を取りはずすための処理が始まります。

- ② 画面に「この USB デバイスは安全に取り外せます。」とメッセージが表示される

- ③ USB 機器を取りはずす

上記操作は必ず行ってください。動作中に取りはずすと故障やデータ破損の原因となります。

■ お知らせ

- 電源が入っている状態でも USB 機器を差し込むことができます。
- 対応している USB 機器を差し込んでも本機が認識しない場合があります。そのときは、USB 機器を取りはずしてから、再度差し直してください。
- USB 端子には付属のマウスリモコンレシーバーや市販のマウスコントローラーを接続しても動作しません。
- USB ハブを使用すると動作しません。

■ お願い

- USB 機器の動作中に電源プラグを抜いたりしないでください。故障やデータ破損の原因となります。

USB 端子の使いかた (つづき)

■ USB メモリーについて

本機では、JPEG 形式、MPEG1 形式、MPEG2 形式 (PS) のファイルが保存された USB メモリーからデータを読み出して、スクリーンに画像を映すことができます。コンピューターなしでのプレゼンテーションや、スライドショー機能による広告塔などにご利用になれます。(Microsoft[®] PowerPoint[®] などのアニメーション効果のような動きを再現することはできません)

● USB 端子について

本機の USB 端子は、USB2.0 に対応しています。USB メモリー、USB メモリーカードリーダー / ライター、デジタルカメラなどがお使いいただけます。動作確認済みの USB 機器については、販売担当者までお問い合わせください。

■データのバックアップ

万一の場合に備えて、ご使用前に USB メモリーに保存されているデータのバックアップをパソコン等に保存しておくことをおすすめします。(本機で使用したことよってデータ消失などのトラブルを生じた場合の損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますので、ご了承ください)

■使用できるファイルについて

- (1) ファイル名に続く拡張子は .jpg、.JPG、.jpeg、.JPEG、.mpg、.MPG、.mpeg、.MPEG に対応します。
- (2) フォルダ名、ファイル名は日本語表示できません。半角英数字を使用してください。
- (3) フォルダ内のサブフォルダとファイルの合計数は 512 以内にしてください。
- (4) JPEG、MPEG ファイルによっては、本機で対応できない場合があります。JPEG ファイルについては、付属のアプリケーションソフト「**JPEG 変換ツール**」[p.88](#) で変換することによって、上に記載した (4) の制限事項が緩和されます。

メニュー 2 を使う

■設定表示 (2) の設定

● 本機の設定 (必ずお読みください)

ご購入時の状態でそのままご使用になると、セキュリティが損なわれるおそれがありますので、必ず設定を変更してください。

1. リモコンのメニューボタンを2回押す






設定表示(2)を表示させる

※表示できるのは、ネットワーク入力またはUSBメモリー入力が選択されているときのみです。

2. カテゴリーを選択する

◀▶でカテゴリーを選択します。

以下の5種類のカテゴリーがあります。

-  [ネットワークプロジェクター]の設定 **p.54**
-  [ネットワークユーティリティ]の設定 **p.54**
-  [制御設定] **p.61**
-  [スライドショー]の設定 **p.62**
-  [状態表示] **p.65**



選択されたカテゴリーの現在の設定状態が表示されます。灰色で表示される項目は、現在のプロジェクターの設定条件では設定できません。

3. 設定をする

◀ または ▶ でメニューを開きます。

項目



表示されたリストから ▲ ▼ で選びます。選んだら ◀▶ で決定します。

図は代表的な例を示します。項目によって異なることがありますので、以降のページを参照してください。

ネットワークユーティリティの動画ファイル転送機能や、スライドショー機能をお使いのときは、設定表示(2)の背景の映像は表示されません。

4. 戻る 戻るボタン

5. 終了 メニューボタンまたは戻るボタンを押す

(メニューは最後の操作をしてから30秒で自動的に消えます)

メニュー 2 を使う (つづき)

■ネットワークプロジェクター / ネットワークユーティリティの設定

「ネットワークユーティリティ」を選んだ場合、以下の項目が設定できます。

カテゴリー	項目 ▲ ▼	内 容	
無線 LAN	簡単接続 (USB メモリー)	[はい ◀ ▶ いいえ] → [決定 : ⏹]	
	LAN 設定	通信モード	: アドホック ◀ ▶ インフラストラクチャ
		SSID	: 任意の文字列 (1 ~ 32 文字) を設定する [◀ ▶ : 桁を移動] ↔ [(i) ~ (WXYZ) : 文字設定]
		DHCP	: 使用する ◀ ▶ 使用しない
		IP アドレス	: リモコンのテンキーで文字列を入力 [◀ ▶ : 桁を移動] ↔ [(i) ~ (WXYZ) : 文字設定]
		サブネットマスク	: リモコンのテンキーで文字列を入力 [◀ ▶ : 桁を移動] ↔ [(i) ~ (WXYZ) : 文字設定]
		ゲートウェイ	: リモコンのテンキーで文字列を入力 [◀ ▶ : 桁を移動] ↔ [(i) ~ (WXYZ) : 文字設定]
		確認	: [OK] ◀ ▶ [キャンセル] → [決定 : ⏹]
	セキュリティ	ネットワーク認証	: 設定する認証を選ぶ [◀ または ▶ : 設定にはいる] → [▲ ▼ : 選択] → [決定 : ⏹]
		暗号化	: ◀ ▶ で設定する暗号化を選ぶ 切り / WEP / TKIP / AES
キーインデックス		: ◀ ▶ で設定する数字 (1 ~ 4) を選ぶ	
ネットワークキー		: 任意の文字列を設定する (WEP の場合: 5 または 13 文字の文字列、10 または 26 文字の 16 進数表記の文字列) (TKIP / AES の場合: 8 ~ 63 文字の文字列、または 64 文字の 16 進数表記の文字列) [◀ ▶ : 桁を移動] ↔ [(i) ~ (WXYZ) : 文字設定]	
確認		: [OK] ◀ ▶ [キャンセル] → [決定 : ⏹]	
設定の初期化	無線 LAN の LAN 設定のすべての項目を初期状態に戻す		
	確認	: [はい ◀ ▶ いいえ] → [決定 : ⏹]	












カテゴリー	項目 ▲ ▼	内 容
有線 LAN	LAN 設定	DHCP : 使用する ◀▶ 使用しない
		IP アドレス : リモコンのテンキーで文字列を入力 [◀▶ : 桁を移動] ↔ [(.) ~ (wxyz) : 文字設定]
		サブネットマスク : リモコンのテンキーで文字列を入力 [◀▶ : 桁を移動] ↔ [(.) ~ (wxyz) : 文字設定]
		ゲートウェイ : リモコンのテンキーで文字列を入力 [◀▶ : 桁を移動] ↔ [(.) ~ (wxyz) : 文字設定]
		確認 : [OK] ◀▶ [キャンセル] → [決定: ⏏]
アプリケーション	リモート制御	本機がコンピューターのリモート制御を受けるかどうか設定します 許可 ◀▶ プレゼンテーション ◀▶ 禁止 許可 : コンピューターからのリモートコマンドを常に受け付ける プレゼンテーション : ネットワークキューティリティで画像をプロジェクトターに映している (自動更新) コンピューターからのリモートコマンドだけを受け付ける 禁止 : コンピューターからのリモートコマンドを常に無視する
	WEB ブラウザ	ブラウザ認証 : プロジェクター設定ツールで設定画面へのアクセスにパスワード認証を行う。 入り ◀▶ 切り
		パスワード : 上記「ブラウザ認証」を「入り」にしたときに有効になる設定画面用パスワードです。 任意の文字列 (1 ~ 8 文字) を設定する。 [◀▶ : 桁を移動] ↔ [(.) ~ (wxyz) : 文字設定]
		確認 : [OK] ◀▶ [キャンセル] → [決定: ⏏]

※文字入力にはリモコンのテンキーボタンを使います。

メニュー 2 を使う (つづき)

● 文字入力のしかた

リモコンのテンキーボタンで入力します。文字入力時、ビープ音設定が [入り] のときは、ビープ音が鳴ります。

	文字入力モード	
リモコン ボタン	文字・数字・記号の入力項目 (例：プロジェクター名、送信先アドレスの設定など)	数字のみの入力項目
	[1] [.] [@] [-] [_]	[1]
	[2] [A] [B] [C] [a] [b] [c]	[2]
	[3] [D] [E] [F] [d] [e] [f]	[3]
	[4] [G] [H] [I] [g] [h] [i]	[4]
	[5] [J] [K] [L] [j] [k] [l]	[5]
	[6] [M] [N] [O] [m] [n] [o]	[6]
	[7] [P] [Q] [R] [S] [p] [q] [r] [s]	[7]
	[8] [T] [U] [V] [t] [u] [v]	[8]
	[9] [W] [X] [Y] [Z] [w] [x] [y] [z]	[9]
	[0] [スペース] [! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { } ~]	[0]
	1 文字消去します。	1 文字消去します。

● 各項目の詳しい説明

● [無線 LAN 設定]

〈簡単接続 (USB メモリー)〉

「ネットワークユーティリティ」の「無線 LAN の LAN 設定」をしなくてもプロジェクターとコンピューターをネットワークで簡単に接続することができます。

〈通信モード〉

ご購入時は [アドホック] に設定されています。[インフラストラクチャ] で使用する場合は設定を変更してください。

〈SSID〉

無線 LAN 上で特定の相手と接続するための識別コードで、「ネットワークグループ」や「ネットワーク名」と呼ばれることもあります。以下の点にご注意ください。

注. アドホック通信モードで使用する場合、通信可能な範囲内に類似した [SSID] のネットワークグループ (例: RDPJ1、RDPJ2 など) が存在すると、「ネットワークユーティリティ」のプロjekター選択欄に目的のプロjekターが表示されないことがあります。このような場合には、全く異なる文字列の [SSID] に変更してください。

通信モードを [インフラストラクチャ] に設定した場合は、以下の設定をしてください。ネットワークプロjekターの設定で通信モードを [アドホック] に設定した場合も、以下の設定をしてください。

〈DHCP〉

[DHCP] を [使用する] に設定した場合は、IP アドレスは DHCP サーバーから自動的に本機に割り当てられます。自動的に IP アドレスを割り当てられないネットワークの場合は、[使用しない] に設定し、次の項目 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動設定してください。

〈IP アドレス〉

[DHCP] を [使用しない] に設定した場合は、以下の項目をネットワーク管理者にお問い合わせの上、[IP アドレス] を手動設定してください。

端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、3桁の数字4組を点で区切った形になっています。(例: 111.112.×××.×××)

注意: 無線 LAN の IP アドレスを有線 LAN と同じものに設定すると、正常に動作しない可能性があります。

〈サブネットマスク〉

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられる IP アドレスの範囲を限定するためのものです。(例: 255.255.×××.×××)

注意: 無線 LAN のサブネットマスクを有線 LAN と同じものに設定すると、正常に動作しない可能性があります。

〈ゲートウェイ〉

ネットワーク外のサーバーへアクセスする際に、使用するルーターなどの機器の IP アドレスを指定します。(例: 111.112.×××.×××)

メニュー 2 を使う (つづき)

• [無線 LAN 設定のセキュリティ]

〈ネットワーク認証〉

セキュリティのための認証方式を設定します。接続する無線 LAN 端末と認証方式を同じにしてください。

〈暗号化〉

[**ネットワーク認証**] の設定に応じて暗号化を設定します。ネットワーク認証が [**オープンシステム**] または [**共有キー**] の場合は WEP になります。

ネットワーク認証が [**WPA-PSK/WPA2-PSK**] の場合は TKIP または AES から選びます。

注. [**ネットワーク認証**] はご購入時は [**なし**] に設定されています。このままでご使用になると、通信可能な範囲内で第三者のアクセスによってセキュリティを損なう可能性があります。

〈キーインデックス〉

[**暗号化**] を [**WEP**] に設定した場合は、キーインデックスを設定する必要があります。初期設定では 1 が選択されています。接続する無線 LAN 端末とキーインデックスを同じにしてください。

注. 製品によってはキーインデックスの値が "1 ~ 4" のものと "0 ~ 3" のものがあり、設定に注意が必要です。

〈ネットワークキー〉

暗号化設定で [**WEP**] を選択した場合

- 暗号化レベルを 64 ビットで使用する場合は、任意の文字列 5 文字または 16 進数表記の文字列 10 文字を設定してください。
- 128 ビットで使用する場合は、任意の文字列 13 文字または 16 進数表記の文字列 26 文字を設定してください。

暗号化設定で [**TKIP/AES**] を選択した場合

任意の文字列 8 ~ 63 文字、または 16 進数表記の文字列 64 文字を入力してください。

注 1. 16 進数のアルファベット (A ~ F, a ~ f) には大文字 / 小文字の区別はありません。同じ扱いとなります。

注 2. ネットワークキーは文字数が多いほど暗号化レベルが高く、第三者による解読が困難になりますが、通信速度が遅くなることがあります。

注 3. セキュリティレベルを高くするには、長い文字列を設定してください。セキュリティを高めるために、辞書にあるような単語は避け、時々変更されることをおすすめします。

〈設定の初期化〉

無線 LAN の設定をご購入時の状態に戻します。

- **[有線 LAN 設定]**

- 〈DHCP〉

- [DHCP] を [使用する] に設定した場合は、IP アドレスは DHCP サーバーから自動的に本機に割り当てられます。自動的に IP アドレスを割り当てられないネットワークの場合は、[使用しない] に設定し、次の項目 **IP アドレス**、**サブネットマスク**、**ゲートウェイ**を手動設定してください。

- 〈IP アドレス〉

- [DHCP] を [使用しない] に設定した場合は、以下の項目をネットワーク管理者にお問い合わせの上、[IP アドレス] を手動設定してください。

- 端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、3桁の数字4組を点で区切った形になっています。(例：111.112.×××.×××)

- 注意：有線 LAN の IP アドレスを無線 LAN と同じものに設定すると、正常に動作しない可能性があります。

- 〈サブネットマスク〉

- ネットワークを区切るために、端末に割り当てられる IP アドレスの範囲を限定するためのものです。(例：255.255.×××.×××)

- 注意：有線 LAN のサブネットマスクを無線 LAN と同じものに設定すると、正常に動作しない可能性があります。

- 〈ゲートウェイ〉

- ネットワーク外のサーバーへアクセスする際に、使用するルーターなどの機器の IP アドレスを指定します。(例：111.112.×××.×××)

- **[アプリケーション]**

- 〈WEB ブラウザ〉

- ブラウザ認証

- ご購入時は「ブラウザ認証」は「切り」に設定され、「パスワード」は設定されていません。お早めに設定していただくことをおすすめします。

- パスワード

- パスワードを忘れた場合は、本機のメニューで再度設定し直してください。

メニュー 2 を使う (つづき)

■ お知らせ

カテゴリーで [ネットワークプロジェクター] の設定を選択すると、以下の項目以外は「ネットワークユーティリティ」と同じ項目が表示されます。

- ① [簡単接続 (USB メモリー)] の項目なし
- ② [アプリケーション] の項目には、[パスワード] と [切断] の設定

カテゴリー	項目 ▲ ▼	内 容
アプリケーション	*** パスワード	パスワードを設定します。 入り ◀ ▶ 切り
	切断	ネットワークプロジェクターを使って映像を送信している場合は、切断します。 切断：[はい] ◀ ▶ [いいえ] → [決定：] ⏏

設定の際は、[ネットワークユーティリティの設定] p.54 をご参照ください。

■ コンピューターの設定

お使いのコンピューターや、お使いの無線 LAN アダプターの説明書を参照して、以下の設定をしてください。

- [アドホック (無線 LAN アダプターの種類によっては、ピア・ツー・ピア)] を選択してください。
- [SSID (無線 LAN アダプターの種類によっては、ネットワーク名)] をプロジェクターの SSID (工場出荷時は RDPJ) と同じに設定します。
- プロジェクターで [暗号化]、[ネットワーク認証]、[キーインデックス]、[ネットワークキー] を設定した場合は、それと同一に設定します。






































■ お知らせ

- 簡単接続機能 p.80 を使うと、無線 LAN の LAN 設定をしなくてもプロジェクターとコンピューターをワイヤレスで簡単に接続することができます。簡単接続機能を使用するには、コンピューターの無線 LAN 環境が NDIS5.1 以上に対応している必要があります。詳しくはお使いの無線 LAN アダプターまたは無線 LAN 内蔵コンピューターの取扱説明書でご確認ください。

■制御設定メニュー

制御設定では、プロジェクター名やEメール機能、PJLinkなどの設定を行います。

p.53 ページ手順 2 で「**制御設定**」を選んでください。以下の内容が表示されます。

項目 ▲ ▼	内 容
 プロジェクター名	任意の文字列 (0 ~ 16 文字) を設定する [ または  : 設定にはいる] → [  : 桁を移動] [ ~  : 文字設定] → [ : 確認] → [  : OK で設定完了] [キャンセル] で戻り
 Eメール	[ : Eメールの設定] → [▲ ▼ : 項目選択]  状態通知 : 入り   切り  SMTP サーバー : リモコンのテンキーで文字列を入力  ポート番号 : リモコンのテンキーで文字列を入力  送信先アドレス : リモコンのテンキーで文字列を入力 確認 : [OK]   [キャンセル]
 PJLink	[ : PJLink の設定] → [▲ ▼ : 項目選択]  PJLink 認証 : 入り   切り  パスワード : リモコンのテンキーで文字列 (1 ~ 32) を入力 確認 : [OK]   [キャンセル] → 
 無線ネットワーク	[ または  : 設定にはいる] → [  : 有効、無効を選択] → [ : 確認] → [  : OK で設定完了] [キャンセル] で戻り

●各項目の詳しい説明

● [プロジェクター名]

これを変更することによって、複数のプロジェクターと通信する場合や、電波の届く範囲で他の人が同じプロジェクターを使用している可能性がある場合に、プロジェクターを確認することができます。誤送信防止のために設定することをおすすめします。

● [Eメール]

〈状態通知〉：ランプ切れなどのエラーが生じた場合に、指定されたメールアドレスにエラー情報を自動的に通知します。

〈SMTP サーバー〉：SMTP サーバーの IP アドレスを設定します。

〈ポート番号〉：SMTP サーバーのポート番号を入力します。

〈送信先アドレス〉：60 文字以内で設定します。(例：××× @ ××× . ×××)

● [PJLink]

〈PJLink 認証〉：PJLink 対応アプリケーションソフトを使ってプロジェクターへアクセスするときのパスワード認証 (行う [入り] / 行わない [切り]) の設定をします。

〈パスワード〉：上記、〈PJLink 認証〉を [入り] にしたときの確認用パスワードを入力します。

メニュー 2 を使う (つづき)

■ お願い

- ご購入時は <PJLink 認証> は「切り」に設定され、<パスワード> は設定されていません。お早めに設定していただくことをおすすめします。
 - パスワードを忘れたときは、再度設定してください。
- [無線ネットワーク]
[無効] に設定すると、本機の無線 LAN を使えないようにします。無線 LAN を使用しない場合は、[無効] に設定してください。

■ お知らせ

- E メール機能は、認証を必要とする SMTP サーバーへの送信には対応していません。

■ スライドショーの設定

スライドショーとは、USB メモリーに保存されている JPEG、MPEG ファイルを表示できる機能です。

「スライドショー」を選んだ場合、以下の項目が設定できます。


カテゴリー	項目 ▲ ▼	内容
 静止画	 オートデモ	入り ◀▶ 切り (USB メモリーを挿入したときにスライドショーを開始する)
	 表示間隔	スライドショーの表示間隔を選択する ▶ または ▶ : 開始 ▲ ▼ で選択 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 1 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分
	 表示効果	スライドショーの表示効果を選択する ▶ または ▶ : 開始 ▲ ▼ で選択 なし / ワイプ ↑ / ワイプ ↓ / ワイプ ← / ワイプ → / ディゾルブ / スライドイン ↑ / スライドイン ↓ / スライドイン ← / スライドイン →
 動画	 自動スタート	入り ◀▶ 切り (ファイル選択時にファイルの再生を自動的に開始する)
	 リピート	入り ◀▶ 切り (ファイル再生終了後に繰り返し再生を開始する)
 共通	 再生アイコン	標準 ◀▶ 連続
	 サムネール表示	サムネールリストの表示形式を切り換える すべて ◀▶ ファイル ◀▶ 切り
	 デバイスの取り外し	USB を取りはずすときに実行する はい ◀▶ いいえ

● 各項目の詳しい説明

静止画

● [オートデモ]

入り：USB メモリーが差し込まれていて、入力を USB メモリー入力に切り換えると自動的にスライドショーが始まります。このとき、USB メモリーのルートディレクトリに保存された JPEG ファイルがスライドショーの対象になります。また、入力がすでに USB メモリーになっているときは、USB メモリーを本体に差し込んだとき自動的にスライドショーが始まります。

- ・スライドショーを一時停止させるときは、 ボタンを押します。もう一度押すと、スライドショーが始まります。またスライドショーを停止させるときは **戻る** ボタンを押してください。

切り：USB メモリーなどを差し込んだ場合、サムネールリストが表示されます。見たいファイルを選んでください。

■ お知らせ

- ・USB メモリーカードリーダー / ライターを使用し、複数のメディアを装着している場合は、オートデモ機能は動作しません。
- ・オートデモは JPEG ファイルのみに適用されます。

● [表示間隔]

スライドショーでオート再生するときの表示間隔を時間（秒、分）で設定することができます。

■ お知らせ

- ・ファイルによっては表示までに時間がかかることがあります。

● [表示効果]

スライドショーを再生するとき、スライド表示のしかた、画面の切り換えかたにはいろいろな効果を出すことができます。

効果の種類は以下のとおりです。

- ・なし ：表示効果を使用しないで表示がされます。
- ・ワイブ ：次のスライドが上（ワイブ↑）／下（ワイブ↓）／左（ワイブ←）／右（ワイブ→）方向に徐々に表示されます。
- ・ディゾルブ ：ブロック状に、ある決められたパターンで徐々に表示されま
す。
- ・スライドイン ：次のスライドが上（スライドイン↑）／下（スライドイン↓）／左（スライドイン←）／右（スライドイン→）方向に移動しながら表示されます。

メニュー2を使う (つづき)

動画

- [自動スタート]
[入り]に設定すると、動画ファイルを選択したときに、ファイルの再生を自動的に開始します。
- [リピート]
[入り]に設定すると、動画ファイルの再生が終わると自動的に最初から再生を開始します。

共通

- [再生アイコン]
スライドショーのアイコンを表示することができます。
標準：本体メニューの「アイコン表示」設定の「入り／切り」によって次のようになります。
「アイコン表示」[入り]：動作開始に合わせてアイコンを表示して、数秒後に表示を消します。
「アイコン表示」[切り]：アイコンを表示しません。
連続：常にアイコンを表示します。
- [サムネール表示]
サムネールリストの表示形式を選択します。
すべて：JPEG ファイルのサムネール表示のほかフォルダ内に JPEG ファイルがあればその先頭にある画像のサムネールを表示します。
ファイル：JPEG ファイルのみサムネール画像の表示をします。フォルダ内にある JPEG ファイルのサムネール画像は表示しません。
切り：すべてのサムネール画像表示を行わずアイコンで表示します。

■ お知らせ

- MPEG ファイルのサムネール画像を表示することはできません。
- [デバイスの取り外し]
USB メモリー、USB メモリーカードリーダー / ライターまたはデジタルカメラなどを取りはずすときに実行します。

本機の状態を確認する

■状態表示

プロジェクターの現在の状態を確認するには、[p.53](#) ページ手順 2 で「状態表示」を選んでください。以下の内容が表示されます。

アプリケーション情報	現在本機で起動しているアプリケーション名を表示します。 (例：スライドショー、ネットワークユーティリティ)
詳細情報	<ul style="list-style-type: none">• USB メモリー入力時 「空き容量 / 状態」を表示• ネットワーク入力時 無線 LAN の「MAC アドレス / 通信モード / チャンネル / SSID / 暗号化 / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ」を表示 有線 LAN の「接続状態 / MAC アドレス / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ」を表示• PJLink クラスを表示
バージョン情報	ネットワークおよび USB メモリー機能のファームウェアのバージョンを表示します。

ネットワークプロジェクターの使いかた

■プロジェクター側の設定

- ① 電源を入れる
- ② 入力をネットワークにする
必ずプロジェクターの入力を、ネットワーク入力にしてからお使いください。その他の入力でお使いになるとコンピューターからプロジェクターは見つけられません。
- ③ パスワードが表示される
パスワードは、「ネットワークプロジェクターの設定」でアプリケーションにある項目のパスワードを[入り]に設定している時のみ表示されます。
- ④ メニュー2を使って、無線LANまたは有線LANの設定をする。

■パソコン側の設定

- ⑤ 無線LANまたは有線LANの設定を行います。詳しくは、コンピューターのヘルプをご参照ください。
- ⑥ [スタート] ボタンから[すべてのプログラム] / [アクセサリ] / [ネットワークプロジェクタへの接続] を選択する
- ⑦ 使用可能なプロジェクターの一覧から選択、またはアドレスを入力する
- ⑧ 手順 ③ でパスワードが表示された際は、パスワードを入力する

■お願い

接続される際は、ご使用のコンピューターが以下のどちらかに設定されていることを確認してください。

- 1) コンピューターの画面の解像度が以下に設定されている。
X3241Nの場合 : XGA (1024 × 768 ドット) 以下
WX3231Nの場合 : WXGA (1280 × 800 ドット) 以下
- 2) Windows Vista[®] SP1 (サービスパック 1) が適用されている。または、Windows[®] 7 をご利用されている。
 - PJ WX3231N をお使いのお客様へ
解像度が 1280 × 800 より大きいコンピューターを使用していて、かつそのコンピューターの解像度設定が 1280 × 800 に設定できない場合は、1280 × 800 より小さい解像度に設定してください。

アプリケーションソフトをインストールする

本機内蔵の無線 LAN 機能をお使いになる場合は、付属の CD-ROM からコンピューターにネットワークユーティリティをインストールしてください。

■動作環境

対応 OS : Windows® 2000、Windows® XP、Windows Vista® (Ultimate、Business)、Windows® 7(Professional、Ultimate)

CPU : Pentium M 1GHz 以上を推奨※

メモリー : 256MB 以上を推奨※

画面の領域（解像度設定）を以下に推奨

X3241N : 「1024 × 768 ドット」

WX3231N : 「1280 × 800 ドット」

※お使いの条件によって異なります。

■お知らせ

- Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 の 64bit 版には対応していません。
- Windows Vista®、Windows® 7 では使用できる機能に制限があります。

■アプリケーションソフトの種類と主な機能

「ネットワークユーティリティ」

ネットワーク接続用のアプリケーションソフトです。コンピューターの画面イメージなどをプロジェクターに送信して、プロジェクターで映すときに使います。また、コンピューターで再生している音声をプロジェクターに送信することができます。

「JPEG 変換ツール」

JPEG ファイルなどを、USB メモリーを使ったスライドショーで表示できる形式に変換するときに使います。

■インストール方法

CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。インストール画面でインストールするアプリケーションソフトをクリックします。


インストール画面が表示されないときは、CD-ROM の「**Network Utility**」または「**Jpeg Conversion Tool**」フォルダを開き、**setup.exe** をダブルクリックします。

コンピューターの画面に表示される指示にしたがってインストールしてください。

インストールの途中でメッセージが表示されることがありますが、インストールが続行するように操作してください。

インストールが終了すると、コンピューターのデスクトップに以下のショートカットアイコンが作成されます。

ファイアウォールのブロック警告画面が表示されたときは、「**ブロックを解除する**」を選択してください。

「ネットワークユーティリティ」 →  使いかた： [p.69](#)

「JPEG 変換ツール」 →  使いかた： [p.88](#)

アプリケーションソフトをインストールする (つづき)

■アンインストール方法

[コントロールパネル] にあるプログラムの削除機能を使用して、プログラム「**RICOH Network Utility**」と「**RICOH JPEG Conversion Tool**」を削除してください。

■最新情報について

本アプリケーションソフトの最新情報は、ホームページ <http://www.ricoh.co.jp/> でお知らせします。

■お知らせ


- インストールの途中でコンピューターの画面が一時的に消えることがありますが、異常ではありません。
- インストール、アンインストールを行うには、管理者権限 (Administrator) でログインする必要があります。
- Windows Vista[®]、Windows[®] 7 をご利用の場合、アンインストール終了時、コンピューターの自動再起動を選択すると、エラーメッセージが表示されることがありますが、自動的に再起動され、アンインストールが正しく行われますので、動作上問題はありません。
- Windows Vista[®]、Windows[®] 7 にてネットワークユーティリティをご利用の場合、管理者権限 (Administrator) でログインするか、起動時に管理者権限ユーザーのパスワードを入力してください。

ネットワークユーティリティの使いかた

■コンピューターの画面をプロジェクターで映す

① アプリケーションソフト「ネットワークユーティリティ」を起動する

「ネットワークユーティリティ」を起動すると、画面イメージ送信モードのウィンドウがコンピューターの画面に現れます。

他のモードから画面イメージ送信モードのウィンドウに切り換えるときは、[画面イメージ] アイコン  をクリックします。

ファイアウォールのブロック警告画面が表示されたときは、「ブロックを解除する」を選択してください。



② 通信モードを選択します

[自動更新]か[手動更新]のどちらかをクリックします。[自動更新]、[手動更新]の意味は手順⑥をお読みください。

③ [詳細] ボタンをクリックする

[画面イメージ：詳細] ダイアログが表示されます。このダイアログで必要に応じて以下の設定をします。

・割り込み

プレゼンテーション中など、他のコンピューターから割り込みをされたくないような場合は、「自動送信中の割り込みを禁止」にチェックを入れます。

・ウィンドウ表示

[送信開始時にタスクトレイに収納]にチェックを入れると、送信開始と同時に「ネットワークユーティリティ」のウィンドウをアイコン化して、コンピューター画面のタスクトレイに収納します。

ウィンドウを表示させるときは、このアイコンをダブルクリックするか、右クリックして表示されるポップアップメニューから「開く」をクリックします。「ネットワークユーティリティ」のウィンドウが表示されていなくても、このポップアップメニューから、④以降の手順で説明する送信の停止や再開ができます。

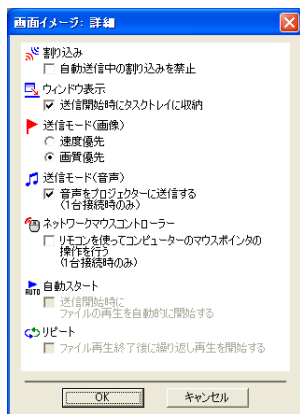
・送信モード（画像）

[画質優先]を選択すると、プロジェクターで映す画像の品質が良くなりますが、通信速度は低下します。[速度優先]を選択すると、その逆になります。

・送信モード（音声）

[音声をプロジェクターに送信する（1台接続時のみ）]にチェックを入れると、コンピューターで再生している音声をプロジェクターに送信することができます。

注：音声を送信できるのはプロジェクターを1台接続したときだけです。



ネットワークユーティリティの使いかた（つづき）

・ ネットワークマウスコントローラー

[リモコンを使ってコンピューターのマウスポインタの操作を行う（1台接続時のみ）]にチェックを入れると、リモコンのマウスコントロールボタン、次ページボタン、前ページボタン、左クリックボタン、右クリックボタンを使ってコンピューターのマウスポインタの操作ができます。

注1：ネットワークマウスコントローラー機能が使用できるのは、1台のプロジェクターに接続したときだけです。

注2：ネットワークマウスコントローラー機能をご使用になるときは、マウスリモコンレシーバーはコンピューターに接続しないでください。誤動作の原因となります。

④ プロジェクターで映したい送信イメージを選択する

【デスクトップ】を選択

コンピューターの画面に表示されているイメージをそのまま送信します。

アプリケーションウィンドウを選択


起動中のアプリケーションソフト（Microsoft® PowerPoint® など）を選択して、その画面イメージだけを送信します。

【デスクトップ】と、起動中のアプリケーションソフトのリストが表示されます。この中から、ひとつ選びます。（リストにないときは、起動してください。なお、起動中のアプリケーションソフトが多いと、コンピューターのリソース使用量が増えて、通信速度が低下することがあります）

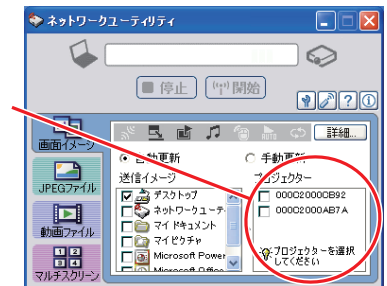


⑤ 送信したいプロジェクターを選択する

送信可能なプロジェクターのプロジェクター名がリストで表示されます。（プロジェクター名が設定されていない場合、プロジェクターIDが表示されます）この中から、送信したいプロジェクターにチェックを入れます。


選択されたプロジェクターの画面にアイコンが数秒間表示されます。

最高4台のプロジェクターを選択することができます。



⑥ ボタンをクリックする

手順②で【自動更新】を選択したとき

 ボタンをクリックしたときから、連続して画面イメージを送信し続けます。また、コンピューターで再生している音声をプロジェクターに送信することができます。


手順②で【手動更新】を選択したとき

 ボタンをクリックしたときの画面イメージを、一回だけ送信します。


⑦ 【自動更新】での送信を中止するときは、 ボタンをクリックする

「ネットワークユーティリティ」のアイコンがタスクトレイに収納されている場合は、アイコンをダブルクリックしてウィンドウを表示させてから中止するか、アイコンを右クリックして表示されるポップアップメニューで中止します。

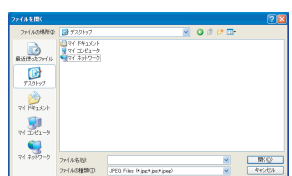
■ お知らせ

- ムービー再生ソフトなどの動画は、送信できないことがあります。
- [自動更新] の場合、送信画像の更新速度はお使いのコンピュータの性能や周囲の電波環境条件に依存します。
- プロジェクターの画面は、コンピュータの画面といくらか異なることがあります。
- 手順 ④ でアプリケーションウィンドウを選択した場合で、そのアプリケーションソフトがアクティブ（使われている状態）になっていないときは、プロジェクターで正しく映せないことがあります。
- プロジェクターID は、プロジェクターに取り付けられた有線 LAN の MAC アドレスになります。
- 著作権で保護されたコンテンツの再生には対応していません。
- 音声を送信したい場合は、 ボタンを押した後に、音声を含むコンテンツを再生するアプリケーションを起動してください。Windows Vista®、Windows® 7 をご使用のお客様は、ネットワークユーティリティの開始ボタンを押した後に、[音声再生デバイスの切り替え] ウィンドウが表示される場合は、指示にしたがって音声再生デバイスを切り替えてください。その後、音声を含むコンテンツを再生するアプリケーションを起動してください。
- 接続を停止してもコンピュータから音が鳴らない場合は、音声を含むコンテンツを再生するアプリケーションを再起動してください。
- 音声によってはプロジェクターに送信できない場合があります。
- プロジェクターを複数台選択した場合は、音声は転送されません。
- コンピューターから送信される音声はモノラルになります。
- ネットワークの通信状態によっては、ネットワークマウスコントローラー機能が正常に動作しない場合があります。

■ コンピューターに保存されている JPEG ファイルの画像をプロジェクターで映す

- ① アプリケーションソフト「ネットワークユーティリティ」を起動する
画面イメージ送信モードのウィンドウがコンピュータの画面に表示されます。
- ② JPEG ファイルアイコン  をクリックする
「ネットワークユーティリティ」のウィンドウが JPEG ファイル送信モードに変わります。
- ③ [参照] ボタンをクリックして、送信するファイルを選択する

[参照] ボタンをクリックすると、[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されますので、送信するファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。選択したファイルが「ネットワークユーティリティ」の [ファイル選択] 欄のプルダウンリストに追加されます。



ネットワークユーティリティの使いかた（つづき）

④ プルダウンリストの中から送信したいファイルを選択する

[送信ファイル] 欄の ▾ ボタンをクリックするとプルダウンリストが表示されますから、この中から送信したいファイルをクリックします。


選択したファイルの縮小画像が [プレビュー] ボックスに表示されます。ここに表示されたひとつのファイルが送信の対象になります。



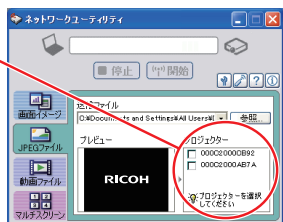
手順 ③ 以外の方法として、送信するファイルをデスクトップやエクスプローラから [プレビュー] ボックスにドラッグアンドドロップする方法もあります。この場合も、選択したファイルはプルダウンリストに追加されます。

⑤ 画像ファイルを送信したいプロジェクターを選択する

送信可能なプロジェクターのプロジェクター名がリストで表示されます（プロジェクター名が設定されていない場合、プロジェクターIDが表示されます）。この中から、送信したいプロジェクターにチェックを入れます。

選択されたプロジェクターの画面にアイコン  が数秒間表示されます。

最大 4 台のプロジェクターを選択することができます。



⑥ 開始 ボタンをクリックする

選択したファイルの画像がプロジェクターで映し出されます。

■ お知らせ

- 一度に送信できるファイルはひとつです。次のファイルを送信するときは、手順 ④ と ⑥ をくり返します。
- Windows Vista®、Windows® 7 では、ドラッグアンドドロップによるファイル選択ができない場合があります。

■ コンピューターに保存されている動画ファイルをプロジェクターで映す

① アプリケーションソフト「ネットワークユーティリティ」を起動する

画面イメージ送信モードのウィンドウがコンピューターの画面に表示されます。

② 動画ファイルアイコン をクリックする

「ネットワークユーティリティ」のウィンドウが動画ファイル送信モードに変わります。



3 [詳細] ボタンをクリックする

[動画ファイル：詳細] ダイアログが表示されます。このダイアログで必要に応じて以下の設定をします。

・ 割り込み

プレゼンテーション中など、他のコンピューターから割り込みをされたくないような場合は、[自動送信中の割り込みを禁止] にチェックを入れます。

・ 送信モード (音声)

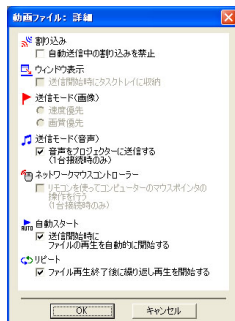
[音声をプロジェクターに送信する (1台接続時のみ)] にチェックを入れると、コンピューターで再生している音声をプロジェクターに送信することができます。

・ 自動スタート

[送信開始時にファイルの再生を自動的に開始する] にチェックを入れると、プロジェクターに接続したときに動画ファイルの再生を自動的に開始します。

・ リピート

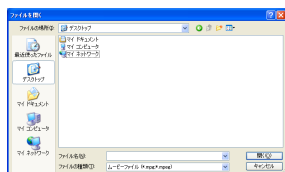
[ファイル再生終了後に繰り返し再生を開始する] にチェックを入れると、動画ファイルの再生が終わると自動的に最初から再生を開始します。



4 [参照] ボタンをクリックして、送信するファイルを選択する

[参照] ボタンをクリックすると、[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されますので、送信するファイルを選択して [開く] ボタンをクリックします。

選択したファイルが「ネットワークユーティリティ」の [ファイル選択] 欄のプルダウンリストに追加されます。



5 プルダウンリストの中から送信したいファイルを選択する

[送信ファイル] 欄の ▼ ボタンをクリックするとプルダウンリストが表示されますから、この中から送信したいファイルをクリックします。

選択したファイルの縮小画像が [プレビュー] ボックスに表示されます。ここに表示されたひとつのファイルが送信の対象になります。




手順 4 以外の方法として、送信するファイルをデスクトップやエクスプローラから [プレビュー] ボックスにドラッグ アンド ドロップする方法もあります。この場合も、選択したファイルはプルダウンリストに追加されます。

■ お知らせ

- ・ Windows Vista®、Windows® 7では、ドラッグアンドドロップによるファイル選択ができない場合があります。

ネットワークユーティリティの使いかた（つづき）

⑥ 画像ファイルを送信したいプロジェクターを選択する

送信可能なプロジェクターのプロジェクター名がリストで表示されます（プロジェクター名が設定されていない場合、プロジェクター ID が表示されます）。この中から、送信したいプロジェクターにチェックを入れます。選択されたプロジェクターの画面にアイコン  が数秒間表示されます。

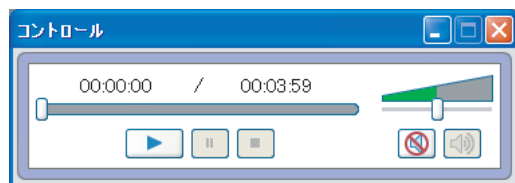
一度に選択できるプロジェクターは 1 台です。










⑦ 開始 ボタンをクリックする

選択したファイルの画像がプロジェクターで映し出されます。また、コントロールウインドウが表示されます。

⑧ コントロールウインドウで動画ファイルの再生などを行う



各ボタンなどの機能は以下の通りです。

- （再生位置）：再生位置が表示されます。ドラッグすると再生位置を移動することができます。
- （再生）：動画ファイルを再生します。
- （一時停止）：動画ファイルの再生を一時停止します。
- （停止）：動画ファイルの再生を停止します。
- （音量）：動画ファイルに含まれる音声の音量を調整します。
- （ミュート）：動画ファイルに含まれる音声を一時的に消します。
- （ミュート解除）：動画ファイルに含まれる音声のミュートを解除します。

■ お知らせ

- 一度に送信できるファイルはひとつです。次のファイルを送信するときは、手順 ⑤ と ⑦ をくり返します。
- 送信できるファイルは、MPEG、AVI、ASF、WMV 形式です。
- MPEG2、ASF 形式のファイルを再生するには、ソフトを追加インストールする必要がある場合があります。
- 送信ファイルの更新速度はお使いのコンピューターの性能や周囲の電波環境条件に依存します。
- プロジェクター ID は、プロジェクターに取り付けられた有線 LAN の MAC アドレスになります。
- コンピューターから送信される音声はモノラルになります。
- 著作権で保護されたコンテンツの再生には対応していません。

■マルチスクリーン機能を使ってコンピューターの画面をプロジェクターで映す

① アプリケーションソフト「ネットワークユーティリティ」を起動する

画面イメージ送信モードのウィンドウがコンピューターの画面に表示されます。

② マルチスクリーンアイコン をクリックする

「ネットワークユーティリティ」のウィンドウがマルチスクリーン送信モードに変わります。



③ 通信モードを選択します

[自動更新]か[手動更新]のどちらかをクリックします。
[自動更新]、[手動更新]の意味は手順 ⑦ をお読みください。

④ [詳細] ボタンをクリックする

[マルチスクリーン: 詳細] ダイアログが表示されます。このダイアログで必要に応じて以下の設定をします。

・ ウィンドウ表示

[送信開始時にタスクトレイに収納] にチェックを入れると、送信開始と同時に「ネットワークユーティリティ」のウィンドウをアイコン化して、コンピューター画面のタスクトレイに収納します。

ウィンドウを表示させるときは、このアイコンをダブルクリックするか、右クリックして表示されるポップアップメニューから「開く」をクリックします。「ネットワークユーティリティ」のウィンドウが表示されていないと、このポップアップメニューから、送信の停止や再開ができます。

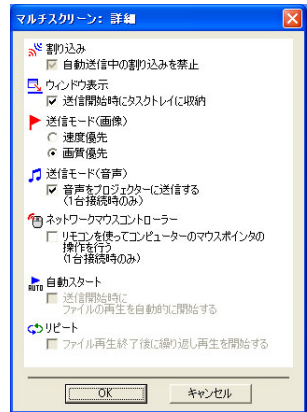
・ 送信モード (画像)

[画質優先] を選択すると、プロジェクターで映す画像の品質が良くなりますが、通信速度は低下します。[速度優先] を選択すると、その逆になります。

・ 送信モード (音声)

[音声をプロジェクターに送信する (1台接続時のみ)] にチェックを入れると、コンピューターで再生している音声をプロジェクターに送信することができます。

注: 音声を送信できるのはプロジェクターを1台接続したときだけです。



■ お知らせ

- マルチスクリーン機能は、Windows® 7 では使用できません。

ネットワークユーティリティの使いかた（つづき）

・ ネットワークマウスコントローラー

[リモコンを使ってコンピューターのマウスポインタの操作を行う（1 台接続時のみ）] にチェックを入れると、リモコンのマウスコントロールボタン、次ページボタン、前ページボタン、左クリックボタン、右クリックボタンを使ってコンピューターのマウスポインタの操作ができます。

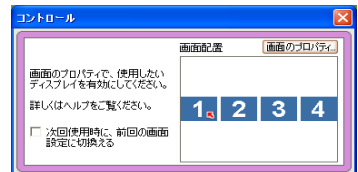
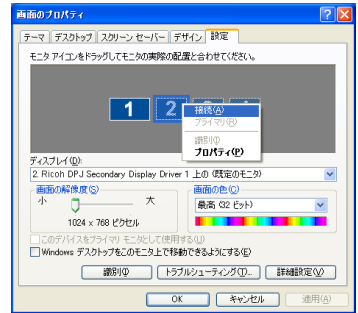
注 1：ネットワークマウスコントローラー機能が使用できるのは、1 台のプロジェクトに接続したときだけです。

注 2：ネットワークマウスコントローラー機能をご使用になるときは、マウスリモコンレシーバーはコンピューターに接続しないでください。誤動作の原因となります。


⑤ 仮想ディスプレイの配置などを行う

- ① コントロールウィンドウの [画面のプロパティ] ボタンをクリックすると、画面設定用のウィンドウが表示されます。
- ② 使用したい仮想ディスプレイ（Ricoh DPJ Secondary Display Driver）を右クリックして、[接続] を選択します。
- ③ モニタアイコンをドラッグして画面の配置を行います。
- ④ 画面設定用のウィンドウで [OK] ボタンを押すと、コントロールウィンドウの [画面配置] が更新されます。

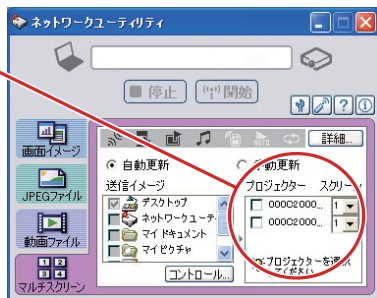
なお、[次回使用時に、前回の画面設定に切り替える] にチェックを入れると、ネットワークユーティリティを終了するときに仮想ディスプレイの配置が記憶され、次回マルチスクリーン機能を使う際に、この画面配置が反映されます。



6 送信したいプロジェクターを選択する


送信可能なプロジェクターのプロジェクター名がリストで表示されます（プロジェクター名が設定されていない場合、プロジェクターIDが表示されます）。この中から、送信したいプロジェクターにチェックを入れ、さらに送信したい仮想ディスプレイの番号を[スクリーン]から選択します。選択されたプロジェクターの画面には、アイコン  にスクリーンの番号が記されたものが数秒間表示されます。

最大 4 台のプロジェクターを選択することができます。



7 開始 ボタンをクリックする

手順 ③ で【自動更新】を選択したとき

 開始 ボタンをクリックしたときから、連続して画面イメージを送信し続けます。また、コンピューターで再生している音声をプロジェクターに送信することができます。

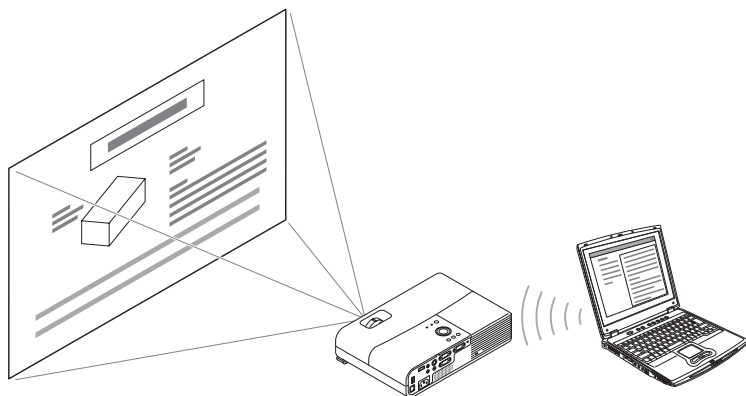
手順 ③ で【手動更新】を選択したとき

 開始 ボタンをクリックしたときの画面イメージを、一回だけ送信します。

● マルチスクリーンの使用例

使用例 1)

プロジェクターにはプレゼンテーション用の画像データを投写し、コンピューターには原稿など別の画像データを表示することで公開したくない画像データを投写することなく、プレゼンテーションを行うことができます。

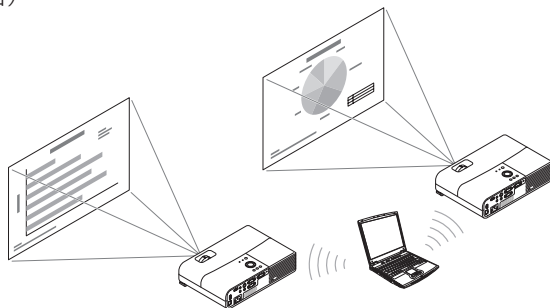


ネットワークユーティリティの使いかた（つづき）

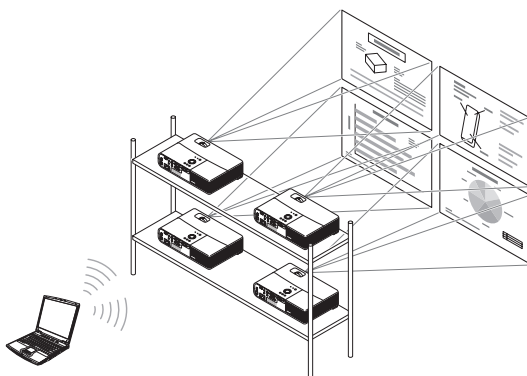
使用例 2)

1 台のコンピューターから、別々の画像データを複数のプロジェクター（最大 4 台）に送信し映し出すことにより、プレゼンテーションを効率的に行うことができます。

（2 台使用の場合）



（4 台使用の場合）



※ 1 つの画像を分割して複数のプロジェクターで広い画面に大きく表示する用途を目的とした機器ではありません。


■ お知らせ

- この図は無線 LAN 使用を前提としていますが、有線 LAN でも同様です。
- 明るさ、色合いなどの特性は、機器ごとに違いがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 注意

マルチスクリーン機能を利用して複数のプロジェクターを使用する際は、プロジェクターの間隔を 70cm 以上離して設置すること。排気孔の近くに設置すると、熱により損害を与えることがあります。

■ お知らせ


- ムービー再生ソフトなどの動画は、送信できないことがあります。
- [自動更新] の場合、送信画像の更新速度はお使いのコンピューターの性能や周囲の電波環境条件に依存します。
- プロジェクターの画面は、コンピューターの画面といくらか異なることがあります。
- プロジェクター ID は、プロジェクターに取り付けられた有線 LAN の MAC アドレスになります。
- 著作権で保護されたコンテンツの再生には対応していません。
- 音声を送信したい場合は、 ボタンを押した後に、音声を含むコンテンツを再生するアプリケーションを起動してください。Windows Vista[®]、Windows[®] 7 をご使用のお客様は、ネットワークユーティリティの開始ボタンを押した後に、[音声再生デバイスの切り替え] ウィンドウが表示される場合は、指示にしたがって音声再生デバイスを切り替えてください。その後、音声を含むコンテンツを再生するアプリケーションを起動してください。
- 接続を停止してもコンピューターから音が鳴らない場合は、音声を含むコンテンツを再生するアプリケーションを再起動してください。
- 音声によってはプロジェクターに送信できない場合があります。
- プロジェクターを複数台選択した場合は、音声は転送されません。
- コンピューターから送信される音声はモノラルになります。
- ネットワークの通信状態によっては、ネットワークマウスコントローラー機能が正常に動作しない場合があります。
- コントロールウィンドウで [次回使用時に、前回の画面設定に切り換える] にチェックを入れていても、ネットワークユーティリティを起動していない状態で、画面設定用のウィンドウの内容を変更した場合は、保存していた内容は消去され、画面設定には反映されません。
- マルチスクリーン機能で選択できる送信イメージは、コンピューターのデスクトップに表示されている画面イメージのみで、アプリケーションソフトは選択できません。

ネットワークユーティリティの使いかた（つづき）

■簡単接続機能

「ネットワークユーティリティ」の「無線 LAN 設定」をしなくてもプロジェクターとコンピュータをワイヤレスで簡単に接続することができます。

アプリケーションソフト「ネットワークユーティリティ」を起動して、ツールボタン

 をクリックすると、「無線 LAN ユーティリティ」のダイアログが表示されます。この中から、お使いになる接続方法を選択してください。

● [簡単 1:1 接続] のしかた

● プロジェクター側の設定

① プロジェクターの電源を「入り」にする

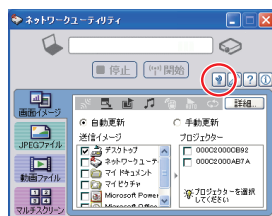
② 入力を [ネットワーク] に切り換える

③ 本体操作部の  ボタンを押す

● コンピューター側の設定

④ アプリケーションソフト「ネットワークユーティリティ」を起動する

「ネットワークユーティリティ」を起動すると、画面イメージ送信モードのウインドウがコンピュータの画面に現れます。



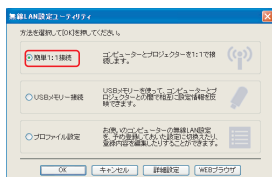
⑤ ツールボタン  をクリックする

「無線 LAN 設定ユーティリティ」ダイアログが表示されます。

⑥ [簡単 1:1 接続] を選択し、[OK] を押す

接続が開始されます。

接続確認のメッセージが画面に表示されるので、指示にしたがって操作します。



⑦ 接続が完了するとコンピュータ画面の送信が開始される

送信しない場合は、[確認後、ただちに画面イメージの送信を開始する] のチェックを外してください。

■ お知らせ

- プロジェクターの無線 LAN の LAN 設定で通信モードがアドホックに設定されているときのみ行えます。
- プロジェクター側の設定とコンピュータ側の設定の操作手順は入れ替わっても接続することができます。ただし、お互いの操作は 60 秒以内に行ってください。
- ネットワークユーティリティはバージョン 1.0 以降をお使いください。


● [USB メモリー接続] のしかた

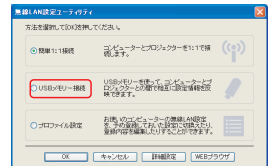
市販の USB メモリーを使用して無線 LAN の設定を行います。
使用できる USB メモリーについては販売担当者までお問い合わせください。

1) コンピューターの設定情報をプロジェクターにコピーする場合

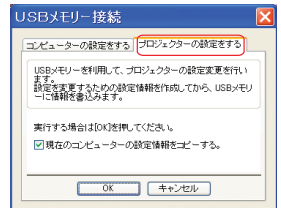
● コンピューター側の設定

① コンピューターの USB 端子に USB メモリーを差し込む

- ② ネットワークユーティリティのツールボタン  をクリックして「無線 LAN 設定ユーティリティ」のダイアログを表示させ、[USB メモリー接続] を選択し、[OK] を押し
[USB メモリー接続] のダイアログが表示されます。



- ③ [プロジェクターの設定をする] を選択し [OK] を押し、各設定項目を入力して [OK] を押し
USB メモリーに設定情報が保存されます。



④ コンピューターから USB メモリーを取りはずす

USB メモリーの取りはずしかたは、USB メモリーまたはコンピューターの取扱説明書の記載を守り、正しく取りはずしてください。

● プロジェクター側の設定

⑤ プロジェクターの電源を「入り」にする

⑥ 入力を [ネットワーク] に切り換える

⑦ USB メモリーを差し込む



プロジェクターの設定が変更され確認メッセージが表示されます。

- ⑧ ネットワークユーティリティのプロジェクターリストにプロジェクター名またはプロジェクター ID (有線 LAN の MAC アドレス) が表示される

ネットワークユーティリティの使いかた（つづき）

2) プロジェクターの設定情報を使ってコンピューターの設定を変える場合

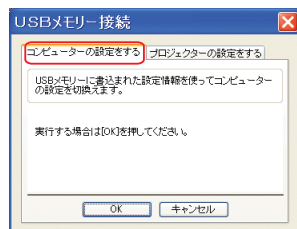
● プロジェクター側の設定

- ① プロジェクターの電源を「入り」にする
- ② 入力を[ネットワーク]に切り換える
- ③ メニューボタンを2回押し、設定表示(2)の[ネットワークユーティリティ]の設定の[簡単接続(USBメモリー)]を選択し、 ボタンを押す
- ④ 確認画面が表示されたら、USBメモリーを差し込む
- ⑤ [はい]を選択し  ボタンを押す
無線LANのLAN設定の情報をUSBメモリーに保存します。
保存が終了するとメッセージが表示されます。

⑥ USBメモリーを取りはずす

● コンピューター側の設定

- ⑦ アプリケーションソフト「ネットワークユーティリティ」を起動する
- ⑧ コンピューターにUSBメモリーを差し込む
- ⑨ 確認メッセージが表示され設定を行う



- ⑩ 設定が完了するとネットワークユーティリティのプロジェクターリストにプロジェクター名またはプロジェクターID（有線LANのMACアドレス）が表示される

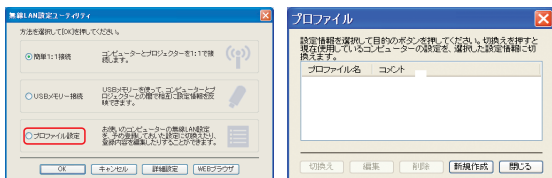
■ お知らせ

- プロジェクターの無線LANのLAN設定で通信モードがアドホックに設定されているときのみ行えます。ネットワークユーティリティはバージョン1.0以降をお使いください。

● [プロファイル設定] のしかた

コンピューターの無線 LAN 設定を保存しておくことができます。

使う場所に合わせて、無線 LAN 設定を変更する必要があるときに便利です。



● 詳細設定

簡単接続の詳細設定を行うことができます。このダイアログで必要に応じて以下の設定をします。

● プロファイル自動登録

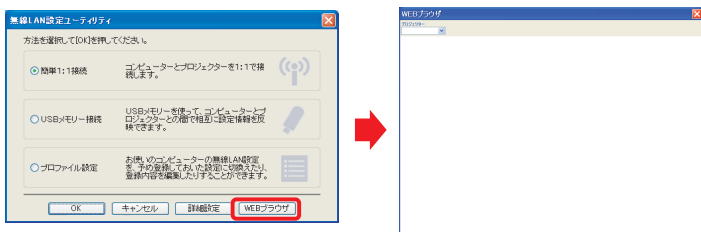
この項目にチェックを入れると、簡単接続を実行したときの設定を自動的にプロファイル設定データとして登録します。

● 起動時の自動設定切換え

この項目にチェックを入れると、ネットワークユーティリティを起動したときに自動的に前回使用していた無線 LAN 設定に変更します。

● WEB ブラウザ

コンピューターとプロジェクターがすでにネットワークで接続されているときに [WEB ブラウザ] を押すとプロジェクター設定ツール画面が表示されます。



■ お願い

- ページが正しく読み込めないときは、再度プロジェクターを選択してください。
- ネットワークの設定を変更すると、ネットワーク接続が切断されますので、再び接続したいときは、コンピューターの設定を再度行ってください。

■ お願い

- 簡単 1:1 接続、USB メモリー接続、プロファイル設定は、コンピューター側にお使いになる無線 LAN アダプターの種類、および無線 LAN 内蔵型コンピューターの種類によっては機能が動作しないことがあります。このようなときはネットワークユーティリティメニューの無線 LAN の LAN 設定で必要な項目を手動で設定してください。

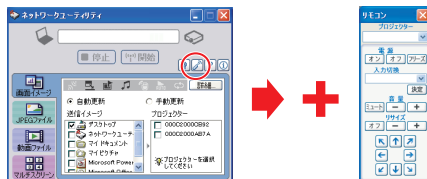
ネットワークユーティリティの使いかた（つづき）

■プロジェクターを操作する

この機能をお使いになる場合は、プロジェクターの入力はどれでもかまいません。

- 1 アプリケーションソフト「ネットワークユーティリティ」を起動する
画面イメージ送信モードのウィンドウがコンピューターの画面に表示されます。
- 2 リモコンボタンをクリックする

「リモコン」ウィンドウが表示されます。「ネットワークユーティリティ」のウィンドウは表示されたままですので、その機能を使いながら「リモコン」ウィンドウでプロジェクターを操作することができます。



プロジェクターを操作するだけの目的でも使用できますが、「ネットワークユーティリティ」を終了させると「リモコン」ウィンドウも終了します。

- 3 操作するプロジェクターを選択する

「リモコン」ウィンドウの ▾ ボタンをクリックして、プルダウンリストから選択します。選択するとリモコン画面は右図のようになります。ひとつだけ選択することができます。（複数のプロジェクターを操作することはできません）

- 4 リモコン画面のボタンをクリックする

各ボタン、ボックスの機能は以下のとおりです。

- 電源 オン : 電源が「入り」になります。
- 電源 オフ : 電源が「切り」になります。
- フリーズ : 映像を静止させます。
- 入力切換 (ボックス) : ▾ ボタンをクリックして、プルダウンリストから希望の入力をクリックします。
- 決 定 : 入力切換 (ボックス) で選択した入力に切り換わります。

- ミュート : 映像と音を消します。もう一度クリックすると、映像と音が出ます。
- 音量+、- : 音量を調整します。
- リサイズ オフ : リサイズを解除します。
- リサイズ+、- : 映像の拡大倍率を調整します。



: 画面移動（上下、左右、斜め）



- 5 終了するときには [リモコン] ウィンドウの ✕ ボタンをクリックする

このとき、「ネットワークユーティリティ」は終了しません。

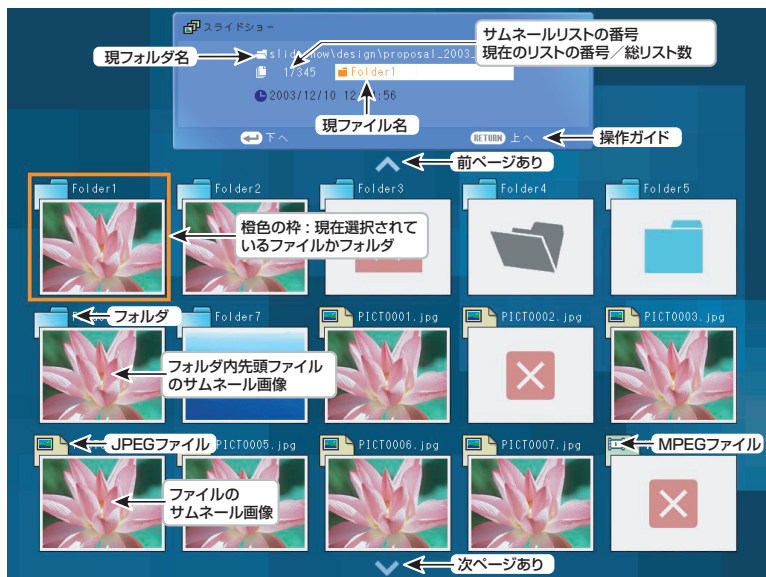
「ネットワークユーティリティ」と「リモコン」の両方を終了させるときは、「ネットワークユーティリティ」の ✕ ボタンをクリックします。

USB メモリーの画像を映す

■サムネールリストからの再生

「スライドショー設定」で「オートデモ」を「切り」に設定しておくで、USB メモリーを取り付け、入力を USB メモリーにするとデータの読み込みが始まり、画面にサムネールリストが表示されます。

下図は説明のための一例です。



サムネールリストの説明



フォルダ内にフォルダだけがあることを示します。



フォルダ内に表示対象のデータが存在しないことを示します。



フォルダ内の先頭の JPEG、MPEG ファイルなどが非対応であることを示します。



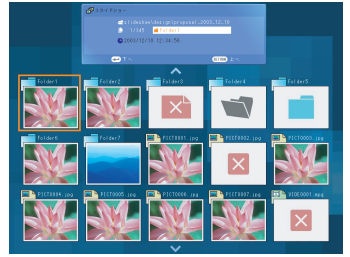
非対応の JPEG、MPEG ファイルなどであることを示します。



サムネールを表示しない場合は、この表示になります。

USB メモリーの画像を映す (つづき)

- 1 USB メモリーを取り付ける
「USB 機器を接続する」 p.51 にしたがって、USB メモリーを取り付けます。
USB メモリーからデータの読み込みが始まり、画面にサムネールリストが表示されます。





- 2 目的のファイルを探す
 - ◀ ▶ ⏪ ⏩ ボタンで目的のファイルやフォルダに橙色の枠を移動させます。
 - 複数ページのサムネールリストがあるとき、下段の列で ◀ ボタンを押すと次のページに移動し、上段の列で ▶ ボタンを押すと前のページに移動します。
 - フォルダを開くときは、目的のフォルダに橙色の枠を移動して、⏪ ボタンを押してください。同様にして 5 階層までの下位のフォルダに移動することができます。上位のフォルダに戻るときは、戻るボタンを押してください。

JPEG ファイルの場合





- 3 スライド表示する
 - ファイルが選択されている状態で ⏪ ボタンを押すとスライド表示になり、選択したファイルの画像だけが画面に大きく映し出されます。さらに ⏩ ボタンを押すとオート再生になります。
 - サムネールリスト表示画面に戻るときは、戻るボタンを押します。
- 4 スライドを切り換える
スライドが表示されている状態で ◀ ▶ ボタンを押すと、スライドが切り換わります。
(◀ : 前のスライド、▶ : 次のスライド。 オート再生中は使えません)
- 5 スライドを回転させる
スライドが表示されている状態で ▶ ◀ ボタンを押すと、スライドが 90° 回転します。回転情報は現在のフォルダから移動しない限り保持されます。
(▶ : 左回転、◀ : 右回転。 オート再生中は使えません)

MPEG ファイルの場合

3 動画を表示する

- ファイルが選択されている状態で  ボタンを押すと、選択したファイルの画像だけが画面に大きく映し出され、再生が始まります。さらに  ボタンを押すと一時停止になります。
- サムネールリスト表示画面に戻るときは、**戻る** ボタンを押します。

4 動画を早送り、巻き戻し表示する

- 動画が表示されている状態で   ボタンを押すと、早送り、巻き戻しを行います。
( : 早送り、 : 巻き戻し)

■ お知らせ

- サムネールが配置される順序やスライドショーの順序は、ファイル名の文字数の少ない順になります。文字数が同じときは、ファイル名に使用される文字の数字順、次いでアルファベット順になります。
- Microsoft® PowerPoint® で作成したプレゼンテーションファイルを付属のアプリケーションソフト「**JPEG 変換ツール**」で JPEG ファイルに変換し、USB メモリーに保存して本機で映すことによって、コンピューターがなくてもプレゼンテーションをすることができます。[p.88](#)
ただし、アニメーション効果やハイパーリンクなどの機能はお使いになれませんので、本番の前にテストしてみてください。
- スライドショー再生中やオート再生中は静止（フリーズ）できません。
- スライドショーは入力切換をすると終了します。
- USB メモリーによっては、スライドショー再生中などに、動作が止まってしまうものがあります。この現象が起きる USB メモリーには対応しておりませんので、他の USB メモリーをお使いください。
- スライドや動画が表示されている状態でリモコンの**ガイド**ボタンを押すと、操作ガイドが表示されます。
- USB メモリーカードリーダー / ライターを使用する場合、最大 4 つのメディアに対応します。

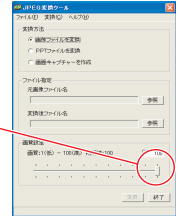
JPEG 変換ツールの使いかた

「JPEG 変換ツール」は、本機が対応していない JPEG ファイルや、他の形式の画像ファイル、Microsoft® PowerPoint® のファイルなどを、本機が対応する JPEG ファイルに変換します。変換した JPEG ファイルを、無線 LAN を使って送信したり [p.71](#)、USB メモリーに保存して本機で映したりできます。

■[JPEG 変換ツール] を起動する

右図のウィンドウがコンピューターの画面に現れます。

「画質設定」のスライダーを左右にドラッグすると、変換後のファイルの画質を設定することができます。数値を小さくするとファイルサイズを小さくすることができますが、画質は劣化します。(一度劣化した画質を元に戻すことはできません)




■画像ファイルを変換するとき

本機が対応していない圧縮形式の JPEG ファイルや、Windows® メタファイル (wmf)、ビットマップファイル (bmp) を、JPEG ファイルに変換します。

(1) 「変換方法」欄の「画像ファイルを変換」を選択します。(起動時の状態です)

(2) 「ファイル指定」欄の「元画像ファイル名」の「参照」ボタンをクリックします。

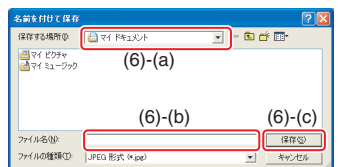
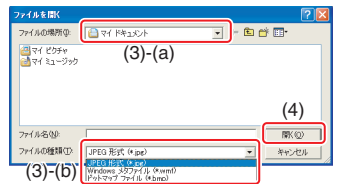
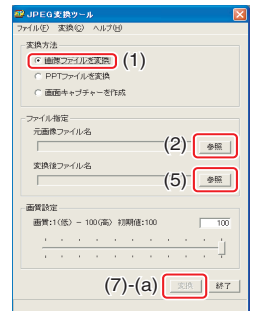
「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

(3) 「ファイルを開く」ダイアログボックスで、(a) 変換するファイルが保存されている「ファイルの場所」を指定し、(b) 「ファイルの種類」欄の  ボタンをクリックしてファイル形式を指定します。その形式のファイルリストが「ファイルを開く」ダイアログボックス内に表示されます。

(4) 「ファイルを開く」ダイアログボックスで、変換するファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

(5) 「JPEG 変換ツール」のウィンドウで、「ファイル指定」欄の「変換後ファイル名」の「参照」ボタンをクリックします。「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

(6) 「名前を付けて保存」ダイアログボックスで、(a) 変換したファイルを保存する「ファイルの場所」を指定し、(b) 「ファイル名」欄に半角 8 文字以内の英数字でファイル名を入力し、(c) 「保存」ボタンをクリックします。

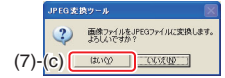
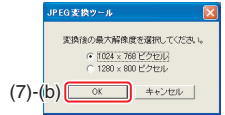


(7) (a) [JPEG 変換ツール] の [変換] ボタンをクリックします。

(b) 解像度選択のダイアログボックスが表示されます。任意の解像度を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

(c) 確認のダイアログボックスが表示されますから、[はい] ボタンをクリックします。

コンピューターはファイルを変換し、終了するとメッセージ [JPEG ファイルを作成しました] を表示します。



■Microsoft® PowerPoint® で作成したファイルを変換するとき

Microsoft® PowerPoint® で作成したプレゼンテーションファイル JPEG ファイルに変換して USB メモリーに保存し、本機でスライド表示をすることで、コンピューターがなくてもプレゼンテーションをすることができます。

- コンピューターに Microsoft® PowerPoint® がインストールされている必要があります。
- 静止画にだけ対応し、アニメーションや音声には対応しません。

Microsoft® PowerPoint® で作成したプレゼンテーションファイルは、一般的に複数のスライドで構成されることが多いため、以下の手順 (5) で指定した名前のフォルダを作成して、その中にスライド枚数分のファイル (slide001.jpg から連番) を作成します。

- (1) [変換方法] 欄の [PPT ファイルを変換] を選択します。
- (2) [ファイル指定] 欄の [PPT ファイル名] の参照ボタンをクリックします。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

- (3) [ファイルを開く] ダイアログボックスで、(a) 変換するファイルが保存されている [ファイルの場所] を指定し、(b) 変換する PowerPoint® プレゼンテーションファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

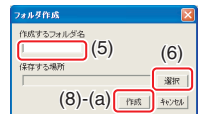
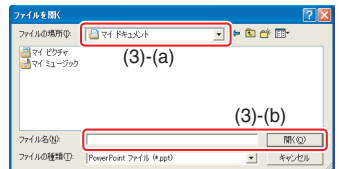
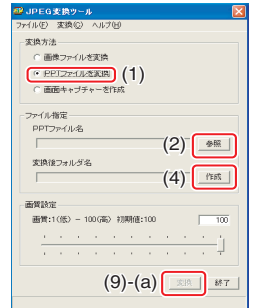
- (4) [JPEG 変換ツール] のウィンドウで、[ファイル指定] 欄の [変換後フォルダ名] の [作成] ボタンをクリックします。

[フォルダ作成] ダイアログボックスが表示されます。

- (5) [フォルダ作成] ダイアログボックスで、[作成するフォルダ名] の欄に、作成するフォルダの名前を半角 12 文字以内の英数字で入力します。

- (6) [フォルダ作成] ダイアログボックスの [選択] ボタンをクリックします。

[フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されます。



JPEG 変換ツールの使いかた (つづき)

(7) [フォルダの参照] ダイアログボックスで、(a) フォルダの保存先を指定し、(b) [OK] ボタンをクリックします。

(8) [フォルダ作成] ダイアログボックスで、(a) [作成] ボタンをクリックします。

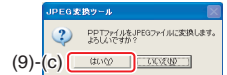
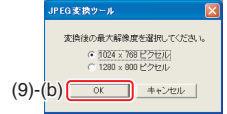
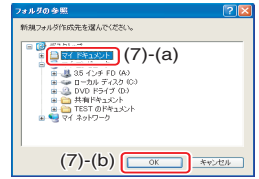
確認のダイアログボックスが表示されますから、(b) [OK] ボタンをクリックします。

(9) (a) [JPEG 変換ツール] のウィンドウで、[変換] ボタンをクリックします。

(b) 解像度選択のダイアログボックスが表示されます。任意の解像度を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

(c) 確認のダイアログボックスが表示されますから、[はい] ボタンをクリックします。

コンピューターは、ファイルの変換を開始します。終了するとメッセージ [JPEG ファイルを作成しました] が表示されます。






■変換した JPEG ファイルでプレゼンテーションをするとき

(1) [JPEG 変換ツール] で作成したフォルダまたはその中のファイルを、USB メモリーにコピーします。

(2) [サムネールリストからの再生] p.85 の手順 ① にしたがって、サムネールリストを表示させます。

(3) [サムネールリストからの再生] p.85 の手順 ② にしたがって、先頭のスライド Slide001.jpg のサムネールを探し、それに橙色の枠を移動させます。(Slide001.jpg を選択します。)

(4) リモコンの  ボタンを押します。先頭のスライドが画面に大きく表示されますから、ここでプレゼンテーションを開始します。

(5) 次のスライドに進めるときは、リモコンの  ボタンを押します。前のスライドに戻るときは、 ボタンを押します。

■画面キャプチャーを作成してJPEG ファイルに変換するとき

コンピューターの現在の画面を JPEG ファイルに変換して保存する機能です。

(1) [変換方法] 欄の [画面キャプチャーを作成] を選択します。

(2) [ファイル指定] 欄の [変換後ファイル名] の [参照] ボタンをクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

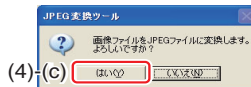
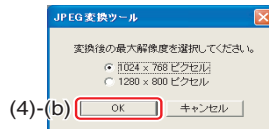
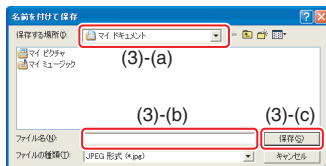
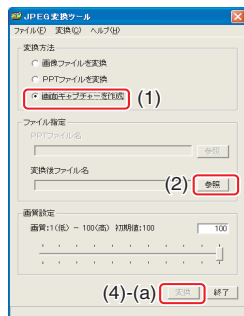
(3) [名前を付けて保存] ダイアログボックスで、(a) 変換したファイルを保存する [ファイルの場所] を指定し、(b) [ファイル名] 欄に半角 8 文字以内の英数字でファイル名を入力し、(c) [保存] ボタンをクリックします。

(4) (a) [JPEG 変換ツール] のウィンドウで、[変換] ボタンをクリックします。

(b) 解像度選択のダイアログボックスが表示されます。任意の解像度を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

(c) 確認のメッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。

コンピューターは、画面をキャプチャーし、指定の場所に JPEG ファイルを作成し、終了するとメッセージ [JPEG ファイルを作成しました] が表示されます。



■お知らせ

- 解像度選択のダイアログボックスで選択した解像度が、変換後の画像ファイルの最大解像度となります。お使いのプロジェクターの解像度に合わせて選択してください。

Web ブラウザを用いたプロジェクターの設定方法

■「プロジェクター設定ツール」の使いかた

プロジェクターの Web サーバー機能を利用し、ネットワークを使ってプロジェクターの設定をします。「プロジェクター設定ツール」をお使いになるときは、プロジェクターとコンピューターのネットワークの設定をしてください。

① 「本機の状態を確認する」 p.65 を参照し、画面に表示される情報から IP アドレスをメモする

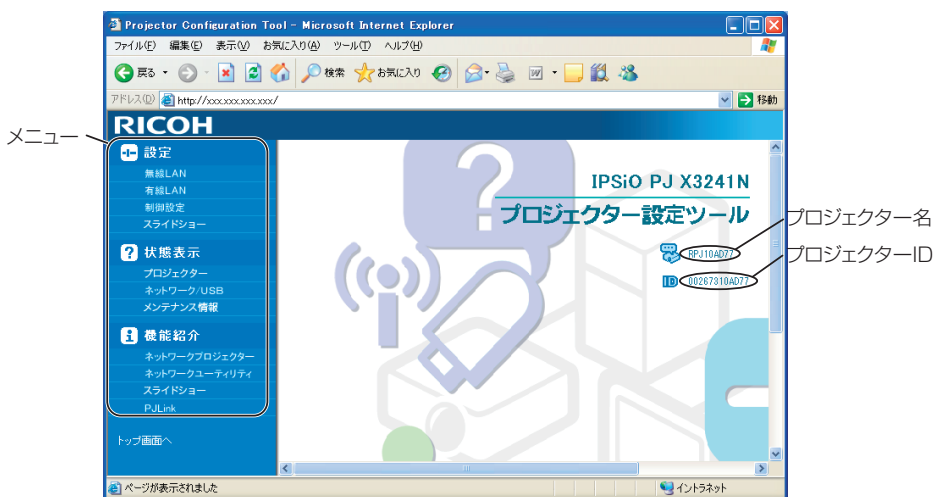
② Internet Explorer を起動する

Internet Explorer Ver.6.0、Ver.7.0、Ver.8.0*を推奨します。Javascript を有効にしてお使いください。

※今後のバージョンでの動作保証はいたしかねます。あらかじめご了承ください。

③ アドレス欄に手順 ① でメモした IP アドレス「http://xxx.xxx.xxx.xxx/」を入力する

Web ブラウザに次の画面が表示されます。



注． プロキシサーバーを使用している場合は、この IP アドレスにアクセスするときにプロキシを有効にしないでください。

無線 LAN アドホックモードを使用している場合は、ネットワークユーティリティの「無線 LAN 設定ユーティリティ」ダイアログにある「WEB ブラウザ」機能を使用してください。

■ お知らせ

- ネットワークユーティリティの「無線 LAN 設定ユーティリティ」ダイアログにある「WEB ブラウザ」機能を使うとブラウザのアドレス欄に URL を入力せずに本機能を使用することができます。

4 左側のメニューから項目を選択する

- 設 定** : ネットワーク入力または USB メモリー入力用メニューの各種設定をします。
- 状態表示** : プロジェクターの状態を確認できます。
- 機能紹介** : ネットワークまたは USB メモリーを使って使用できる機能を紹介します。
- トップ画面へ** : トップ画面に戻ります。

Web ブラウザを用いたプロジェクターの設定方法 (つづき)

● 主な項目の詳しい説明

• 設定

「ブラウザ認証」が「入り」に設定されている場合には設定ページへのアクセスにパスワードの入力が必要です。

「無線 LAN」「有線 LAN」「制御設定」「スライドショー」の各項目

- 画面に表示されている項目を設定することができます。
- 各項目を設定して「実行」ボタンを押すと設定を更新します。

• 状態表示

プロジェクターの状態を閲覧できます。

プロジェクター : 設定表示メニューの状態表示の内容が表示されます。

ネットワーク / USB : 設定表示 (2) メニューにあるネットワーク入力または USB メモリー入力の状態表示の内容が表示されます。

メンテナンス情報 : ランプ切れなどのエラーが生じた場合にはエラーの内容を表示します。

■ お知らせ

- ? ボタンをクリックするとヘルプ画面がポップアップ表示します。
- 「リモート制御」や「ブラウザ認証」などのセキュリティに関する項目については設定できません。

エアフィルターの清掃

エアフィルターは、内部へのほこりやごみの侵入を防ぐ部品です。フィルターをはずした状態での使用は絶対におやめください。エアフィルターは、こまめに清掃していただくことをおすすめします。

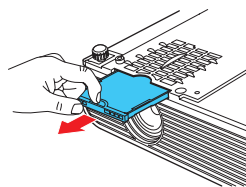
- 100時間ごとに「エアフィルターのごれを確認してください。」とメッセージが表示されます。（このメッセージは使用時間が100時間を過ぎ、次に電源を入れた一回目に、映像が出たときに約30秒間表示されます。この表示は何か操作をすると消えます。）
- エアフィルターの汚れを確認し、ほこり、ゴミなどがついているときは、以下の手順で掃除してください。

⚠ 警告 ・天吊り設置での清掃などのメンテナンスは、販売担当者に依頼すること。

① 電源プラグを抜く

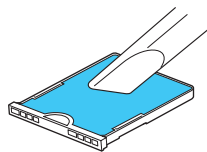
② エアフィルターをはずす

エアフィルターの図の部分をつかんで引き出します。



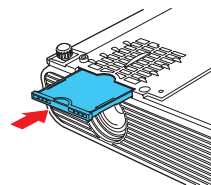
③ 掃除をする

エアフィルターのほこりやよごれを掃除機などでいねいに吸い取ります。



④ エアフィルターを差し込む

カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。



■ お知らせ

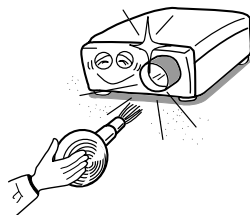
- エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなって本機内部の温度が上昇し、動作停止や故障の原因となります。
- エアフィルターは最後まできちんと取り付けてください。すき間があいていると、ほこりやごみが本機の内部に入り、動作停止や故障の原因となります。
- エアフィルターを水洗いしたときは、完全に乾いてから取り付けてください。
- エアフィルターが傷んだときは、販売担当者にご相談のうえ、新しいものと交換してください。傷んだまま使用すると、ほこりやごみが本機の内部に入り、動作停止や故障の原因となります。

レンズ、本体の清掃

⚠ 警告 ・天吊り設置での清掃などのメンテナンスは、販売担当者に依頼すること。

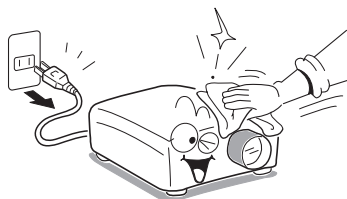
■レンズの清掃

- レンズは市販のブローワーやメガネふき用クロス、クリーニングペーパー、レンズクリーナー等で清掃してください。
- レンズの表面は傷つきやすいため、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。



■本体の清掃

- 電源プラグを抜いてから清掃をしてください。
- 本機のごごれは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 水でふくと内部に水がしみこんで、感電や故障の原因となることがありますので、やめてください。
- ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変形、変色、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。



ランプの交換

ランプは消耗品です。長時間使用しますと映像が暗くなったり、ランプが切れて点灯しなくなったりすることがあります。これはランプの特性であり、故障ではありません。(ランプの寿命は使用状態によって異なります) このようなときには、新しいランプと交換してください。

警告

- 天吊り設置でのランプ交換は、販売店に依頼すること。
天吊り状態ではランプカバーを開けないでください。万一、ランプが破裂していると、ガラス破片が落下して危険です。また高所での作業は危険ですからランプが破裂していなくてもお客様ご自身でランプの交換は行わないでください。
- 交換の際は必ず IPSiO PJ 交換用ランプ タイプ 1 (別売) を使用すること。

注意

- 使用直後のランプは高温になっているので、さわらないこと。さわるとやけどの原因となります。十分に冷えてから (1 時間以上待ってから) 交換をしてください。
- 万一、ランプが割れた際には、ガラス片でけがなどをしないように取扱いに注意し (p.10)、販売担当者に修理を依頼すること。

ランプの交換 (つづき)

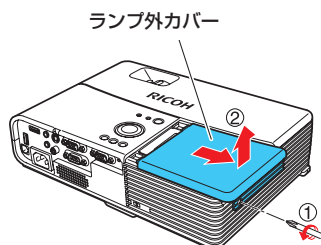
① 電源プラグを抜く

② ランプが十分に冷えるのを待つ

1 時間以上待ってください。

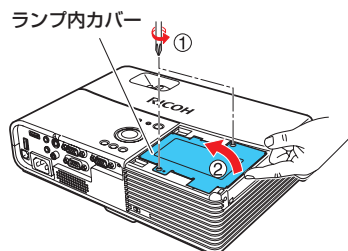
③ ランプ外カバーをはずす

側面のねじ 1 個をゆるめ図のようにスライドさせて、ランプ外カバーをはずします。



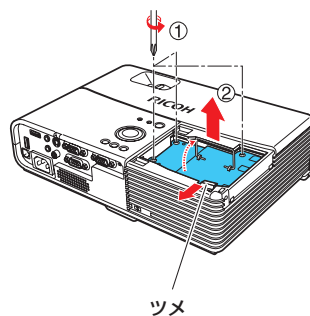
④ 内カバーをはずす

ねじ 2 個をはずし、ランプ内カバーをはずします。はずしたねじは、なくさないように注意してください。



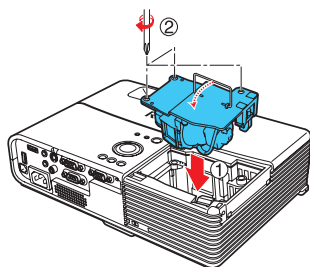
⑤ ランプを引き出す

ランプ固定ねじ 3 個をゆるめ、取っ手をおこし、ツメを押しながらランプを引き出します。



⑥ 新しいランプを取り付ける

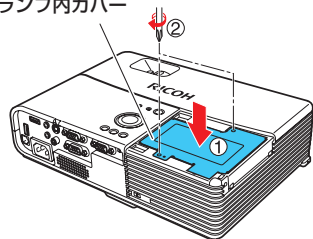
方向を合わせ、下に当たるまで差し込み、ランプ固定ねじ 3 個を回してしめます。



7 内カバーを取り付ける

手順 ④ ではずしたねじ 2 個で内カバーが浮かないように最後までしめます。

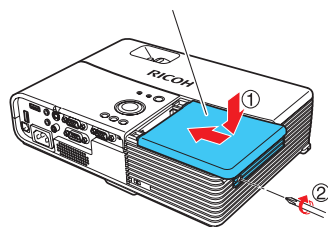
ランプ内カバー



8 ランプ外カバーを取り付ける

外カバーを載せ方向を合わせ、矢印の方向にスライドさせて、手順 ③ でゆるめたねじ 1 個をランプ外カバーが浮かないように最後までしめます。(ランプ外カバーは必ず取り付けてください)

ランプ外カバー




9 ランプ時間をリセットする

リセットのしかたについては、ランプの取扱説明書をご覧ください。

■ お知らせ、お願い

- 「状態表示メニュー」の中の[ランプ時間]に、ランプの使用時間(目安)が表示されます。[p.47](#)
- 「初期設定 1 メニュー」の[ランプパワー]を「標準」でご使用の場合は 2000 時間、「低」でご使用の場合は 3000 時間を目安に交換してください。[p.44](#)
- ランプは、目安時間に達する前や交換メッセージが表示される前に、点灯しなくなることがあります。
- ランプ外カバーは、浮かないように必ず正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないと電源がはいらない、ランプが点灯しないなど誤動作の原因となります。
- ランプを交換するときは、必ず新品のランプを使用してください。
- ランプはガラス製品ですので、ガラス面を素手でさわったり、強い衝撃をあたえたり、傷つけたりしないでください。(よごれ、衝撃、傷などによって割れることがあります)

● ランプ交換メッセージについて

- 本機のランプ交換メッセージは、[ランプパワー]の「標準」/「低」でのそれぞれの使用時間から適切な時期を表示します。
- 交換時期に達すると電源を入れたとき、「ランプが寿命です。交換してください。」のメッセージが表示されます。この表示は  を押すと消えます。

■ 使用済みのランプについて

本機のランプには環境に有害な微量の無機水銀が使われています。使用済みのランプは、破損させないように取扱いに注意し、地方自治体の条例または規則にしたがって処理していただくか、または販売担当者までご連絡ください。

インジケーターによる異常表示

内部に異常が生じると、インジケーターの点灯とピーブ音で知らせます。

<p>ランプ 温度 電源</p> <p>○ ○ </p> <p>(消灯)</p>	<p>電源がはいらない</p> <p>⇒ 本機の異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、販売担当者に連絡してください。
<p>ランプ 温度 電源</p> <p> ○ </p> <p>(赤点滅) (赤点灯)</p> <p>または</p> <p>ランプ 温度 電源</p> <p> ○ </p> <p>(赤点灯) (赤点灯)</p>	<p>使用中にランプが消えた、またはランプが点灯しない</p> <p>⇒ ランプが高温になって点灯しづらくなっているか、ランプの寿命または本機の異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、しばらく放置してから、再度電源を入れてください。 ランプが切れたときは、新しいランプに交換してください。
<p>ランプ 温度 電源</p> <p>○  </p> <p>(赤点滅) (赤点灯)</p>	<p>使用中に電源が切れた</p> <p>⇒ 内部が高温になっている。または気温の高いところで使っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 吸気孔、排気孔をふさがないように設置してください。 電源プラグを抜き、しばらく放置してから、再度電源を入れてください。 <p>※ 電源が切れる前にアイコン  が表示されます。</p>
<p>ランプ 温度 電源</p> <p>○  </p> <p>(緑点滅) (赤点灯)</p>	<p>使用中に電源が切れた</p> <p>⇒ 本機内部の冷却ファンの異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、販売店に連絡してください。 <p>※ 電源が切れる前にアイコン  が表示されます。</p>
<p>ランプ 温度 電源</p> <p> ○ </p> <p>(橙点滅) (赤点灯)</p>	<p>使用中に電源が切れた、または電源がはいらない</p> <p>⇒ ランプカバーが正しく取り付けられていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、ランプカバーを取り付けなおしてください。 <p>p.98</p>
<p>ランプ 温度 電源</p> <p>○  </p> <p>(橙点灯) (赤点灯)</p>	<p>使用中に電源が切れた</p> <p>⇒ 本機内部の異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、しばらく放置してから、再度電源を入れてください。 それでも直らない場合は、電源プラグを抜き、販売担当者に連絡してください。 <p>※ 電源が切れる前にアイコン  が表示されます。</p>

■ お知らせ

- 異常が生じたあとは、電源プラグを抜くまで異常状態が保持されます。

故障かな・・・と思ったときは

故障かな？・・・とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次のことをお調べください。「インジケーターによる異常表示」[p.100](#) もご覧ください。

症 状	お調べいただくことがら
電源がはいらない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源コードのプラグ、コネクターが抜けていませんか。 ・ ランプ外カバーがはずれていませんか。 p.98
使用中に電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用している周囲の温度が高くありませんか。 p.100 ・ 吸気孔や排気孔がふさがれていませんか。 p.100
映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入力切替が間違っていないですか。([自動入力検索]が「切り」のとき) p.44 ・ 入力ボタンを押しましたか。 p.30 ・ ミュート機能が働いていませんか。 p.35 ・ 明るさ調整が最小になっていませんか。 p.39 ・ 接続に間違いがありませんか。 p.26 ・ 接続している機器は正常に動作していますか。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入力ボタンを押しましたか。 p.30 ・ ミュート機能が働いていませんか。 p.35 ・ 音量調整が最小になっていませんか。 p.31 ・ 接続に間違いがありませんか。 p.26 ・ 接続している機器は正常に動作していますか。
映像が正常に映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機が対応できない信号を入力していませんか。 p.104 p.105 p.106 ・ ビデオテープなど、信号発生側に異常はありませんか。
映像がぼやける。 映像の一部がピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンズがよごれていませんか。 p.96 ・ レンズのピントが最良に調整されていますか。 p.31 ・ 投写距離が本機の対応範囲内になっていますか。 p.24 p.25 ・ 本機やスクリーンの設置角度を傾けすぎていませんか。 p.31 ・ サンプルング位相、シャープネスの調整がずれていませんか。 p.39 p.40
映像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るさ、コントラストの調整がずれていませんか。 p.39 ・ ランプ使用時間が寿命に近づいていませんか。 p.47 ・ RGB 入力レンジが正しく設定されていますか？ p.39
色が薄い。 色あいが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色の濃さ、赤レベル、緑レベル、青レベルの調整がずれていませんか。 p.39 ・ スクリーンがよごれていませんか。 ・ 黒板モードは正しく設定されていますか。 p.41 ・ ランプ使用時間が寿命に近づいていませんか。 p.47
本体の操作キーが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ キーロック機能が働いていませんか。 p.45

故障かな・・・と思ったときは（つづき）

症 状	お調べいただくことから
リモコンが働かない。	<ul style="list-style-type: none">・ リモコンコードが本体のコードと合っていますか。 p.46・ リモコンの電池が消耗していませんか。・ リモコンの電池は正しく入れられていますか。 p.21・ リモコンの有効操作範囲をこえていませんか。 p.21・ リモコンと本機の間には障害物が置かれていませんか。・ 蛍光灯やその他の強い光が本機のリモコン受光部に当たっていませんか。
USB 機器の映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none">・ USB メモリーが正しく取り付けられていますか。・ 本機が対応していない USB メモリーを取り付けていませんか。 p.52・ USB メモリーに JPEG ファイル、MPEG ファイルが保存されていますか。・ 本機で対応できない圧縮形式やファイルサイズになっていませんか。 JPEG ファイルの場合は、付属のアプリケーションソフトで変換してください。 p.88
無線 LAN が働かない。	<ul style="list-style-type: none">・ 通信モードや SSID などが正しく設定されていますか。・ コンピューターと本機の間には障害物が置かれていませんか。・ お使いのコンピューターの OS が、付属のアプリケーションソフトに対応していますか。 p.67

仕 様

■ 一般仕様一覧

項 目		仕 様
消費電力		270 W
質 量		X3241N: 2.0 kg WX3231N: 1.9 kg
外形寸法 (突起部含む)		幅 295 ×高さ 82 ×奥行 196 mm
キャビネット材質 ^{*1}		PC+ABS 樹脂および PC 樹脂 (一部マグネシウム合金)
使用環境条件		温度: 5℃~ 35℃、相対湿度: 30%~ 70%表示
液晶パネル	表示方式	透過型三板式
	パネルサイズ	X3241N: 0.7 型 WX3231N: 0.59 型
	液晶パネル 駆動方式	TFT アクティブマトリクス
	画素数	X3241N: 786,432 画素 (水平 1024 ×垂直 768) WX3231N: 1,024,000 画素 (水平 1280 ×垂直 800)
レンズ		X3241N: F=1.60 ~ 1.76 f = 21.5 ~ 25.8 mm WX3231N: F=1.70 ~ 1.87 f = 19.2 ~ 23.0 mm
ランプ		高圧水銀ランプ (180W)
投写画面サイズ		30 ~ 300 型
投写距離		X3241N: 0.89 m ~ 10.94 m WX3231N: 0.94 m ~ 11.58 m
スピーカー		1W (モノラル)
接 続 端 子	COMPUTER-1 IN 端子	ミニDサブ 15 ピン RGB / Y/P _B /P _R (兼用)
	COMPUTER-2 IN 端子	ミニDサブ 15 ピン RGB / Y/P _B /P _R / MONITOR OUT (兼用)
	HDMI 端子	HDMI
	S-VIDEO 端子	ミニ DIN 4 ピン
	VIDEO 端子	RCA ピンジャック、1V(p-p)、75 Ω
	AUDIO IN 端子	φ 3.5mm ステレオミニジャック: 1.5 V(rms)、22 kΩ以上 COMPUTER 1 IN/2 IN/VIDEO/S-VIDEO (兼用)
	AUDIO OUT 端子	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
	CONTROL 端子	D サブ 9 ピン (RS-232C)
	USB 端子	USB2.0 High-Speed 対応 タイプ A 出力電圧 DC+5 V 供給電流 500 mA
LAN 端子 ^{*2}		10BASE-T/100BASE-TX

【JIS C 61000-3-2 適合品】^{*3}

- ※ 1 本機は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名を表示しています。
- ※ 2 ネットワークケーブルは、シールド加工対応されたケーブルを使用してください。
- ※ 3 JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部: 限度値—高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

■ お知らせ

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

■ 別売品

IPSiO PJ 交換用ランプ タイプ 1
IPSiO PJ 交換用フィルター タイプ 1

仕様 (つづき)

■ 対応信号一覧 (コンピューター入力)

本機は下表の RGB 信号に対応しています。ただし、コンピューターの機種によっては異なることがありますので、画面にちらつきやにじみがあるときは調整してください。

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
720 x 400	720x400_85	85.039	37.927	35.500
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
	VGA_85	85.008	43.269	36.000
800 x 600	SVGA_56	56.250	35.156	36.000
	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
832 x 624	MAC16"	74.550	49.725	57.283
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500
	MAC19"	74.700	60.134	79.857
1152 x 864	SXGA1_75	75.000	67.500	108.000
* 1280 x 800	WXGA_60	59.880	49.580	83.300
1280 x 960	QuadVGA_60	60.000	60.000	108.000
	QuadVGA_85	85.002	85.938	148.500
1280 x 1024	SXGA3_60	60.020	63.981	108.000
	SXGA3_75	75.025	79.976	135.000
	SXGA3_85	85.024	91.146	157.500
1400 x 1050	SXGA+	59.978	65.317	121.750
1600 x 1200	UXGA_60	60.000	75.000	162.000
	UXGA_65	65.000	81.250	175.500
	UXGA_70	70.000	87.500	189.000
	UXGA_75	75.000	93.750	202.500
	UXGA_85	85.000	106.250	229.500

* 1280 × 800 は、WX3231Nのみ

■ お知らせ

- 以下のドットをこえる解像度の信号では圧縮表示されるため、情報の一部が欠けたり、画質が劣化することがあります。

X3241N : 1024 × 768 ドット

WX3231N : 1280 × 800 ドット

■ 対応信号一覧 (Y/P_B/P_R 入力)

信号フォーマット	fh(kHz)	fv(Hz)
480i(525i)@60Hz	15.73	59.94
480p(525p)@60Hz	31.47	59.94
576i(625i)@50Hz	15.63	50.00
576p(625p)@50Hz	31.25	50.00
720p(750p)@60Hz	45.00	60.00
720p(750p)@50Hz	37.50	50.00
1080i(1125i)@60Hz	33.75	60.00
1080i(1125i)@50Hz	28.13	50.00
1080p(1125p)@60Hz	67.50	60.00
1080p(1125p)@50Hz	56.25	50.00

■ 対応信号一覧 (ビデオ・Sビデオ入力)

ビデオモード	fh(kHz)	fv(Hz)	fsc(MHz)
NTSC	15.73	60	3.58
PAL	15.63	50	4.43
SECAM	15.63	50	4.25 または 4.41
PAL-M	15.73	60	3.58
PAL-N	15.63	50	3.58
PAL-60	15.73	60	4.43
NTSC4.43	15.73	60	4.43

仕様 (つづき)

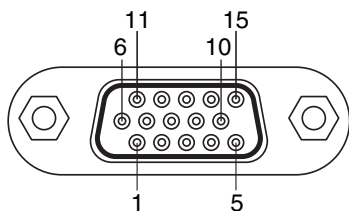
■ 対応信号一覧 (HDMI 入力)

パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されるため、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されない場合があります。その場合は、下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。

解像度	モード	リフレッシュレート または垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
720 x 480	480p(525p)	59.94	31.469	27.000
720 x 576	576p(625p)	50.00	31.250	27.000
1280 x 720	720p(750p)	60.00	45.000	74.250
	720p(750p)	50.00	37.500	74.250
1920 x 1080	1080i(1125i)	60.00	33.750	74.250
	1080i(1125i)	50.00	28.125	74.250
	1080p(1125p)	60.00	67.500	148.50
	1080p(1125p)	50.00	56.250	148.50
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
* 1280 x 800	WXGA_60	59.880	49.580	83.300
1280 x 1024	SXGA3_60	60.020	63.981	108.000
1400 x 1050	SXGA+	59.978	65.317	121.750

※ 1280 × 800 は、WX3231Nのみ

■COMPUTER 1 IN、COMPUTER 2 IN、MONITOR端子のピン配列



ミニ D-sub 15 ピンコネクタ

入力信号

- RGB 入力
R, G, B 信号： 0.7V(p-p) 75 Ω
水平同期信号： TTL レベル（正 / 負極性）
垂直同期信号： TTL レベル（正 / 負極性）
- Y/P_B/P_R 入力
Y 信号： 1.0V(p-p) 75 Ω
P_B, P_R 信号： 0.7V(p-p) 75 Ω

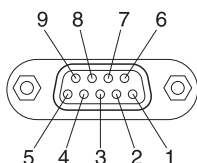
ピン番号	信号内容	
	RGB 入力時	Y/P _B /P _R 入力時
1	映像信号 (R)	色差信号 (P _R)
2	映像信号 (G)	輝度信号 (Y)
3	映像信号 (B)	色差信号 (P _B)
4	GND	※
5	GND	※
6	GND(R)	GND(P _R)
7	GND(G)	GND(Y)
8	GND(B)	GND(P _B)
9	N.C	※
10	GND	※
11	GND	※
12	N.C	※
13	水平同期信号	※
14	垂直同期信号	※
15	N.C	※

※何も接続しないでください。

仕様 (つづき)

■CONTROL端子

● ピン配列



Dサブ 9ピンコネクター

ピン番号	信号名	内 容
1	DCD	キャリア検出
2	TXD	送信データ
3	RXD	受信データ
4	DTR	データ端末レディ
5	GND	信号グラウンド
6	DSR	データセットレディ
7	RTS	送信要求
8	CTS	送信可能
9	RI	被呼表示

● インターフェースのフォーマット

1. 通信方法 RS-232C、9600bps、パリティなし、データ長：8ビット、ストップビット：1ビット

2. 通信フォーマット

STX (02h)	Command (3Byte)	ETX (03h)
-----------	-----------------	-----------

一回の通信で1コマンドだけ有効。

3. データフォーマット 入力コマンドは、ASC II準拠の大文字英数だけ。

4. 返信 応 答

ACK (06h)	CR(0Dh)	Data
-----------	---------	------

 . . . 正常終了

ACK (06h)	ESC(1Bh)
-----------	----------

 . . . 異常終了

非応答

NAK (15h)

コマンドを続けて送信する場合は、次のコマンドを送る前にプロジェクターの返信を待ってください。

● おもなコマンド

項 目	コマンド
電源オン	PON
電源オフ	POF
OSD表示オン	M00
OSD表示オフ	M01
オートセット (RGB入力)	PAT
状態表示オン	DON
状態表示オフ	DOF

お問い合わせ先のご案内

■消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売担当者にご注文ください。

■保守部品について

補修用性能部品及び消耗品の最低保有期間は、本機の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以降は、修理をお引き受けできない場合があります。

■故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売担当者にお問い合わせください。修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。転居の際は、販売担当者にご連絡ください。転居先の販売担当者をご紹介いたします。

■操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。



0120-000-475

FreeDial FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9時～18時／土曜日9時～12時、13時～17時（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。

株式会社リコー

東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

FAQ

プロジェクターについての疑問や質問は、よくある質問をまとめた FAQ をご覧ください。
リコーのホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/>) で、よくある質問に対する回答集をご覧ください。

■ お知らせ

- インターネットに接続している場合に利用できます。
- インターネットの通信料金がかかります。
- FAQ ページ：
<http://www.ricoh.co.jp/support/qa/>

消耗品について

消耗品の商品名をご確認ください。

ご注文の際は、ご購入された販売担当者までご連絡ください。

■交換用ランプ

IPSiO PJ 交換用ランプ タイプ 1

■エアフィルター

IPSiO PJ 交換用フィルター タイプ 1

関連商品について

RGB ケーブル、天吊り金具などがあります。

関連商品については、販売担当者までお問い合わせください。

お客様登録の方法

製品保証、保守サービスやサポートなどの提供をスムーズに受けられるよう、必ずお客様登録を行ってください。

お客様登録の方法は、お客様登録はがきを返送していただく方法と、インターネットで登録する方法の2種類があります。

■ お知らせ

- 保証書の再発行はできませんので、大切に保管してください。
- ご登録がない場合は保守サービスなどの手続きに時間がかかる場合があります。
- どちらか1つの方法でお客様登録してください。

はがきで登録する

はがきでお客様登録をします。

必要事項をご記入の上、ご返送ください。

■ お知らせ

- 登録はがきを返送された場合は、オンラインでの登録は不要です。

インターネットで登録する

インターネットでお客様登録をします。

「製品名」と「製造機番（製品番号）」の入力が必要ですので、プロジェクターに付属の「保証書」をご用意ください。

■ お知らせ

- インターネットに接続している場合に利用できます。
- インターネットの通信料金がかかります。
- インターネットに登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

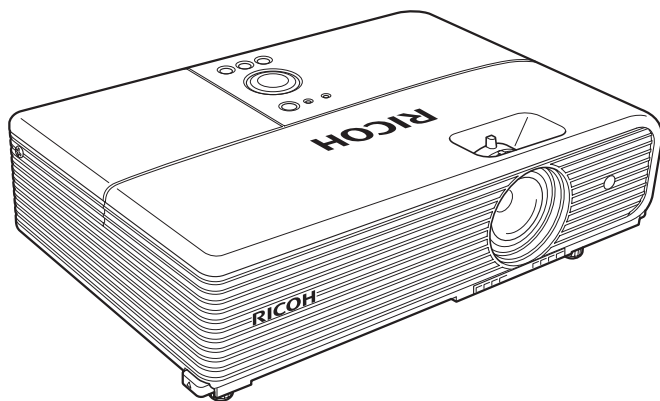
リコーホームページからご登録ください。

お客様登録ページ：<http://www.rioh.co.jp/IPSiO/regist/>

RICOH

IPSiO PJ X3241N IPSiO PJ WX3231N PROJECTOR

OWNER'S MANUAL



HDMI[®]
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Preparations

Operations

Network/
USB memory

Maintenance

Others

CONTENTS

Preparations

Checking the package contents	116
Names of each part on the main unit	117
Names of each part on the control panel and remote control	118
Names of the terminals on the rear panel	120
Preparing and using the remote control	121
Operating a computer using the remote control	122
Placement	123
Connection	126

Operations

Turning the power on and off	128
Basic operations	130
Using handy features	133
Using auto setting (For computer input only)	133
Correcting the keystone distortion	133
Resizing image	134
Cutting off the picture and sound temporarily (Mute)	135
Changing picture mode	135
Changing screen size	135
Freezing the image (Freeze)	136
Setting the password	136
Using the menus 1	138
Setup using the Setting display	138
The image adjustment menu	139
The display setting menu	141
The default setting menu	144
Displaying Information (Status display)	147

Network/USB memory

Before connecting via a network	148
How to use the USB terminal	150
Using the menus 2	152
Setup using the Setting display (2)	152
Setting up the Network Projector/Network Utility	153
Computer settings	158
The control setting menu	159
Setting slideshow options	160
Checking the projector status	162
Status display	162
Using the Network Projector	163
Installing the applications	164
Using the Network Utility	166
Displaying a computer's screen via the projector	166
Displaying a JPEG image saved on a computer via the projector	168
Displaying a video file saved on a computer via the projector	169

Displaying computer's screens via projectors using the	
Multiscreen function	172
Easy Connect utility	177
Operating the projector	181
Projecting images stored in a USB memory device	182
Playing a slide show from a thumbnail list	182
How to use the JPEG Conversion Tool.....	185
Launching the JPEG Conversion Tool	185
Converting an image file	185
Converting files created with Microsoft® PowerPoint®	186
Making a presentation with converted JPEG files.....	187
Creating a screen capture and converting it into a JPEG file	188
Setting up the projector using a Web browser.....	189

Maintenance

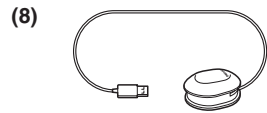
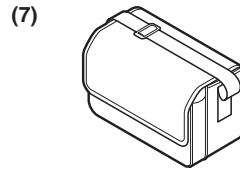
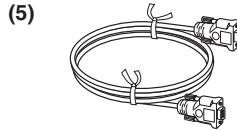
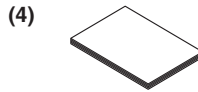
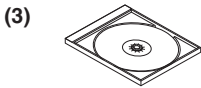
Lamp replacement	193
Air filter cleaning.....	196
Lens and main unit cleaning	197

Others

Trouble indications.....	198
Troubleshooting	199
Specifications	201

Checking the package contents

Please make sure that the following items are included in the box, along with the main unit. If any item is missing, immediately contact the store where you purchased the product.



- (1) Remote control
- (2) LR03 (SIZE AAA) batteries for remote control (2)
- (3) CD-ROM
- (4) Owner's Manual
- (5) RGB cable (3 m) ^[Note 1]
- (6) Power cord ^[Note 1, 2]
- (7) Carrying bag
- (8) Mouse remote control receiver

Notes

- 1: To maintain original performance, always use the supplied cables.
- 2: The shape and number of supplied power cords vary depending on the product destination.

Save Original Packing Materials

The original shipping carton and packing materials will come in handy if you ever have to ship your projector. For maximum protection when shipping your projector, repack the set as it was originally packed at the factory.

◆ The Supplied CD-ROM

The supplied CD-ROM contains an owner's manual which includes information not available for the printed Owner's manual (Getting started) and Projector Management Utility Manual in Portable Document Format (PDF) in addition to each application software. Please use **Acrobat Reader 5** or later version to view the manual.


■ Adobe® Acrobat® Reader® or Adobe® Reader®

The supplied CD-ROM does not contain **Acrobat® Reader®**. If you cannot read PDF files, please install **Acrobat Reader** software in your computer by downloading it from the Adobe Systems website.

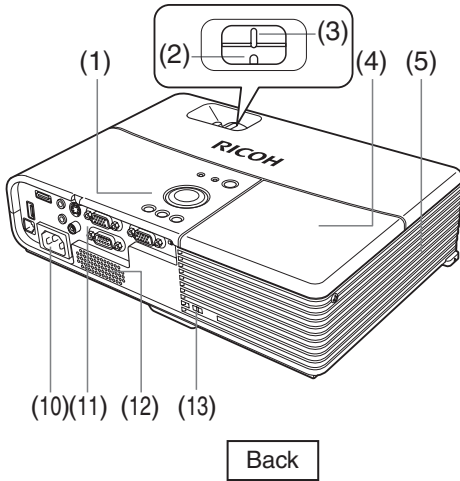
■ Viewing the manual

Insert the CD-ROM in the CD-ROM drive of your computer. On the installation screen, click the title of the manual you want to read.

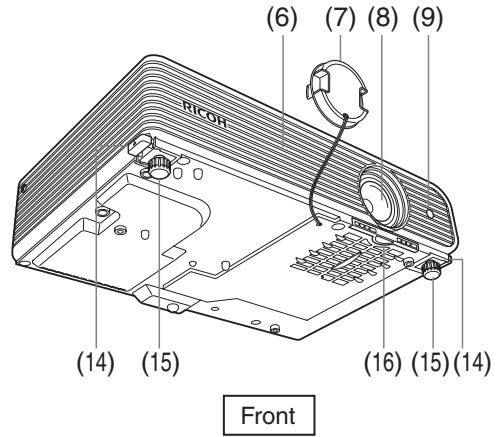
If the installation screen does not appear, open the **Owners Manual** folder or the **Projector Management Utility** folder in the CD-ROM, and then double-click the PDF file.

Acrobat® Reader® launches, and the Owner's Manual cover and list of bookmarks appear. Click a bookmark title to view that section of the manual. Click  to view a reference page with related information. See the Help menu for more information about Acrobat® Reader®.

Names of each part on the main unit



Back



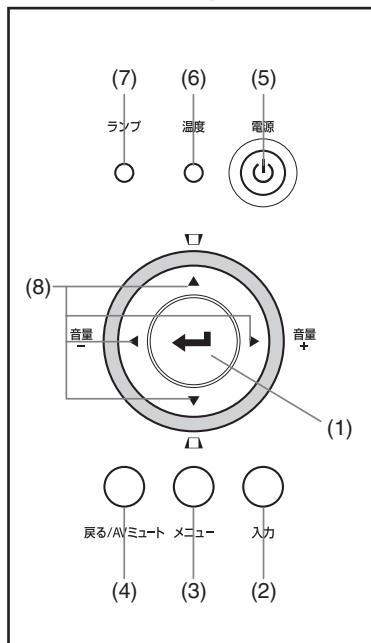
Front

Preparations

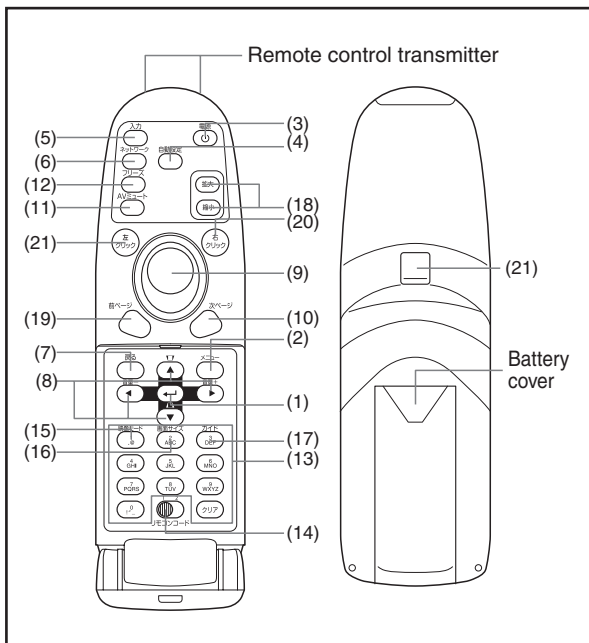
Name	: Function
(1) Control panel	: Operates the projector. p.118
(2) Zooming lever	: Adjusts screen size. p.131
(3) Focusing lever	: Adjusts screen focus. p.131
(4) Lamp cover	: Remove to replace lamp. p.194
(5) Air exhaust	: Expels air that has grown hot inside the projector.
(6) Air intake	: Draws in air from outside the projector for internal cool down.
(7) Lens cap	: Replace the cap when not using the projector to protect the lens.
(8) Lens	: Projects expanded image.
(9) Infrared remote sensor	: Senses commands from the remote control. p.121
(10) AC IN socket	: Connects the supplied power cord here.
(11) Terminals on the rear panel	: Connects external devices. p.120
(12) Speaker	: Outputs audio sound.
(13) Antitheft lock slot	: Attach a safety cable or any other antitheft device.
(14) Foot adjuster release button	: Press to set up or stow the foot adjuster. p.131
(15) Foot adjuster	: Adjusts the vertical projection angle. p.131
(16) Air filter	: Prevents dirt and dust from getting into the inside of the projector. p.120

Names of each part on the control panel and remote control

Control panel



Remote Control



Name : Main Function

Control panel






- (1) ENTER button : Accepts the selected mode.
- (2) INPUT button : Selects input. [p.130](#)
- (3) MENU button : Displays menus. [p.138](#)
- (4) RETURN/MUTE button : Goes back one screen. Also, cuts off the picture and sound temporarily. [p.135](#)
- (5) ON/STANDBY button/
ON/STANDBY indicator : Turns the power on/off (standby). [p.128](#)
: Displays whether power is on or off (standby). [p.128](#)
- (6) TEMP indicator : Lights when internal temperature is too high. [p.198](#)
- (7) LAMP indicator : Displays lamp mode. [p.198](#)
- (8) Selection button : Menu selections and adjustments, volume control and keystone adjustment, etc. [p.138](#)

Remote control

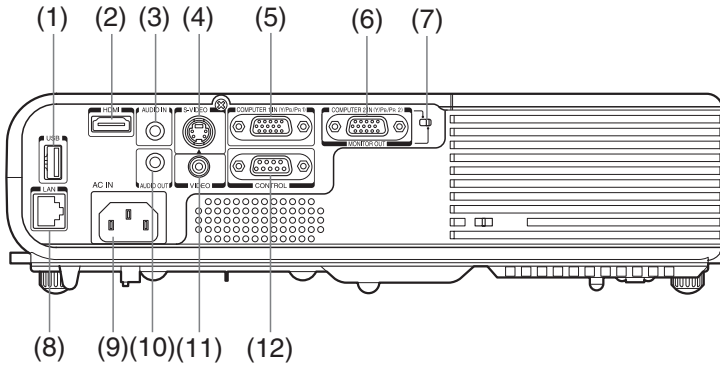
- (1) ENTER button : Accepts the selected mode.
- (2) MENU button : Displays menus. [p.138](#)
- (3) ON/STANDBY button : Turns the power on/off (standby). [p.128](#)
- (4) AUTO SET button : Performs auto-adjustment of input signals from computer. [p.133](#)
- (5) INPUT button : Selects input. [p.130](#)
- (6) NETWORK button : Switches to network input mode. [p.152](#)

Name	Main Function
(7) RETURN button	: Goes back one screen.
(8) Selection button	: Menu selections and adjustments, volume control and keystone adjustment, etc. p.138
(9) Mouse control button	: Controls a mouse pointer. p.122 p.167 p.173
(10) PAGE+ button	: Proceeds PowerPoint® slides. p.122 p.167 p.173
(11) MUTE button	: Cuts off the picture and sound temporarily. p.135
(12) FREEZE button	: Pauses image. p.136
(13) Ten-Key button	: Use as a ten-key pad with wireless LAN, from which numbers and characters can be entered. p.154
(14) Remote control code switch	: Sets the code of remote control to that of the projector. p.146
(15) PICTURE button	: Changes picture mode. p.135
(16) SCREEN SIZE button	: Changes screen size. p.135
(17) GUIDE button	: Displays operation guide for slideshow. p.184
(18) ZOOM IN/ZOOM OUT button	: Changes the zoom ratio of the image. p.134
(19) PAGE- button	: Goes back PowerPoint® slides. p.122 p.167 p.173
(20) R-CLICK button	: Functions as right-click of a mouse. p.122 p.167 p.173
(21) L-CLICK button	: Functions as left-click of a mouse. There are two L-CLICK buttons. Either is usable. p.122 p.167 p.173

Note

- For the remainder of this manual, buttons are referred to as follows:
Selection buttons ⇒     ; ENTER button ⇒ 

Names of the terminals on the rear panel

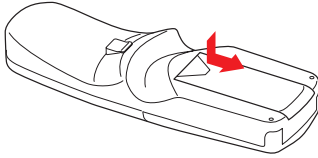


Name	: Main Function
(1) USB terminal	: Connects a commercial USB memory device. p.150
(2) HDMI terminal	: Inputs digital signals from HDMI (High-Definition Multimedia Interface) compatible digital source.
(3) AUDIO IN terminal	: Inputs audio signals from a computer or video equipment. (Multiple use for COMPUTER 1 IN/2 IN, VIDEO and S-VIDEO)
(4) S-VIDEO terminal	: Inputs S video signals from video equipment.
(5) COMPUTER 1 IN (Y/P _B /P _R 1) terminal	: Inputs analog RGB signal from a computer or a component video signal (Y/P _B /P _R) from video equipment.
(6) COMPUTER 2 IN (Y/P _B /P _R 2) terminal/MONITOR OUT terminal	: Inputs analog RGB signal from a computer or a component video signal (Y/P _B /P _R) from video equipment. It can also be used as MONITOR OUT terminal by the switch of (7).
(7) Switch	: Switches between COMPUTER 2 IN and MONITOR OUT.
(8) LAN terminal	: Connects a network cable.
(9) AC IN socket	: Connects the supplied power cord here.
(10) AUDIO OUT terminal	: Outputs audio signals.
(11) VIDEO terminal	: Inputs video signals from video equipment.
(12) CONTROL terminal	: When operating the projector via a computer, connect this to the controlling computer's RS-232C port. p.204

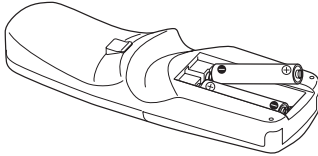
Preparing and using the remote control

■ Loading dry-cell batteries into the remote control

- ① Remove the battery cover.

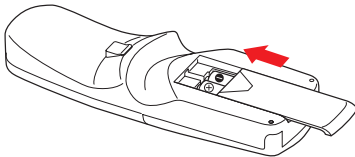


- ② Insert the dry-cell batteries. Be sure to align the plus and minus ends of the batteries properly.



Two batteries (LR03, SIZE AAA) are used.

- ③ Replace the battery cover.



■ Dry-cell batteries

- Before using the batteries, be sure to observe the Safety Precautions described in previous pages.
- Remove batteries from remote control when not using for extended periods.
- If the remote control stops working, or if its range decreases, replace all the batteries with new ones. (2 batteries (LR03 SIZE AAA))
- Keep the batteries away from the reach of children.
Batteries are choking hazards and can be very dangerous if swallowed. If the batteries are swallowed, seek medical assistance immediately.

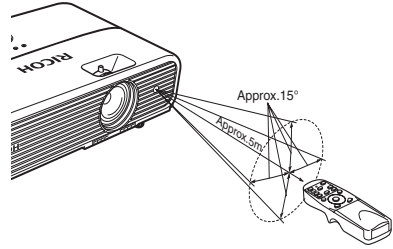
■ The remote control

- The remote control may fail to operate if the infrared remote sensor is exposed to bright sunlight or fluorescent lighting.
- Do not drop or bang.
- Do not leave in hot or humid locations.
- Do not allow it to get wet or place it on top of wet objects.
- Do not take it apart.
- In rare cases, ambient conditions could impede the operation of the remote control. If this happens, point the remote control at the main unit again, and repeat the operation.

■ Operating the remote control

Point toward the projector's infrared remote sensor, and press any button on the remote control.

- Operating the projector from the front



Note:

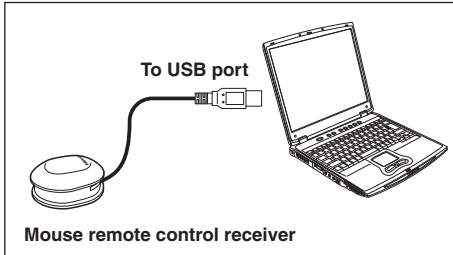
When operating the remote control from behind the projector, the infrared signal is reflected on the projecting surface. The operating range therefore may decrease depending on the shape and material of the projecting surface.

Operating a computer using the remote control

A computer can be operated using the projector's remote control. This function is available on any computer with the Windows® 2000, Windows® XP, Windows Vista®, or Windows® 7 operating system, that is equipped with a USB port which can support USB 2.0 (The mouse remote control receiver is also supported on Mac OS X for the Mac). However, please note that Ricoh does not guarantee the operation of all computers.

1 Connecting a computer

Connect the mouse remote control receiver (supplied) to a computer.



The remote control may fail to operate if the mouse remote control receiver is exposed to bright sunlight or fluorescent lighting.

In such a case, change position or direction of the mouse remote control receiver and retry.

2 Operating a computer

Operate remote control's buttons towards the mouse remote control receiver.

● Moving the mouse pointer

Press the mouse control button in the direction you wish the mouse pointer to move.

● To left click

Press the L-CLICK button (There are two L-CLICK buttons. Either is usable).

● To right click

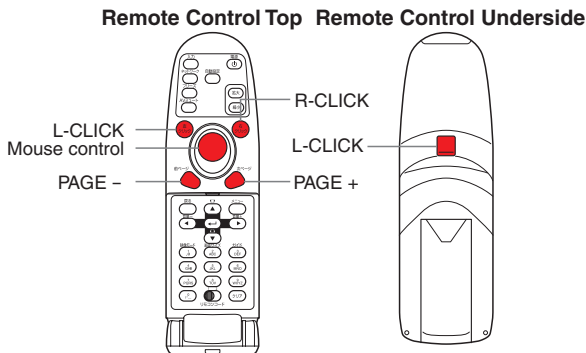
Press the R-CLICK button.

● To drag and drop

Holding down the L-CLICK button, move the mouse control button until the mouse pointer is over the desired location, then release the L-CLICK button.

● Using the computer's page up [↑] and down [↓] function

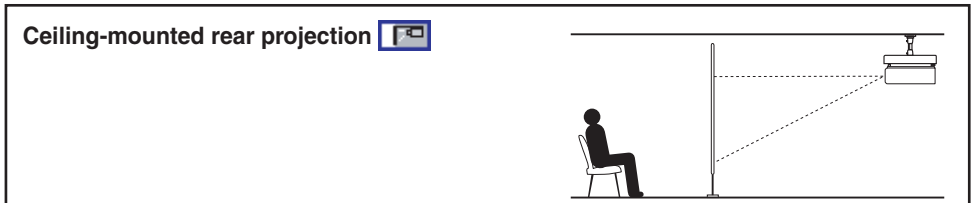
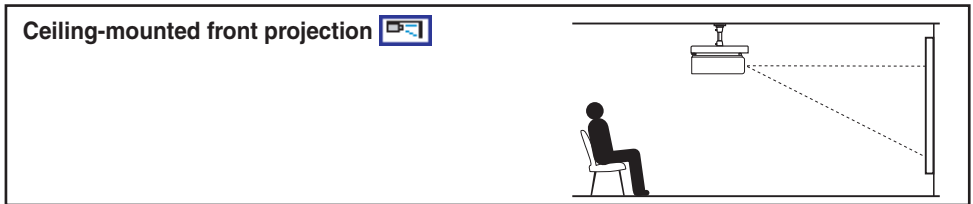
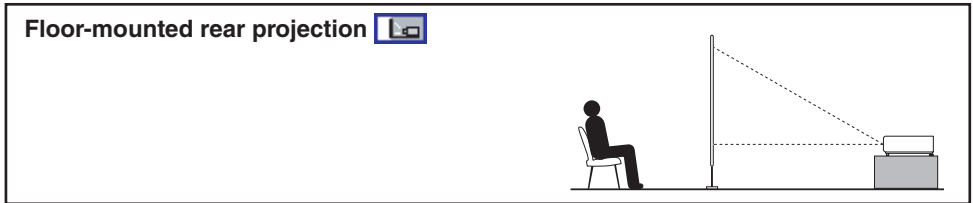
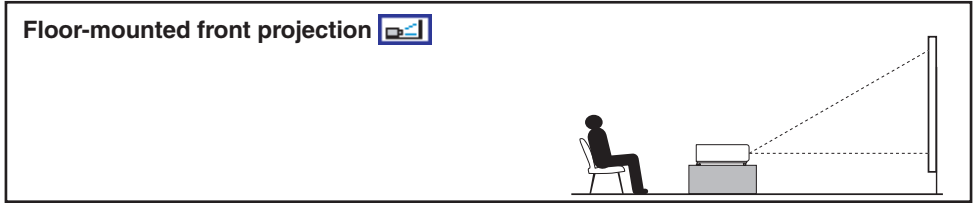
Press the PAGE+ and PAGE- buttons to switch PowerPoint® slides.



Placement

Placement Styles

As shown in the figures below, this device can be placed in 4 different styles. The factory setting is “floor-mounted front projection.” Set the [Projection mode] in the Default setting 2 menu [p.145](#), in accordance with your needs.



WARNING

- **Always obey the instructions listed in IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS when placing the unit.** Attempting to clean and replace the lamp in a high location by yourself may cause you to fall, resulting in injury.
- **If you wish to mount the projector on the ceiling, be sure to ask your sales representative before doing so.** Mounting the projector on a ceiling requires special ceiling brackets (sold separately) and specialized knowledge. Improper mounting could cause the projector to fall, possibly resulting in injury and damage, to the unit.
- **If the projector is ceiling-mounted, install the breaker for turning off the power in case of anomaly.** Let everyone involved with the use of the projector know that fact.

Placement (Continued)

Projection Distance and Size

Use the figures, tables, and formulas below to determine the projection size and projection distance. (Projection sizes are approximate values for full-size picture with no keystone adjustment.)

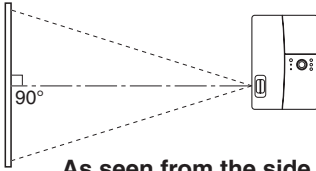
PJ X3241N

$$a \text{ (min length)} = \frac{\text{Projection size (inches)} - 0.890}{32.863}$$

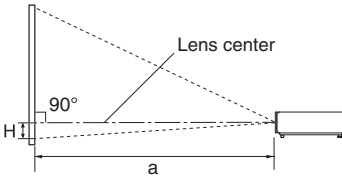
$$a \text{ (max length)} = \frac{\text{Projection size (inches)} - 0.748}{27.363}$$

Screen

As seen from above



As seen from the side



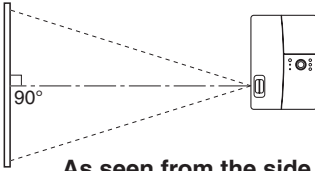
Projection size	Projection distance a		Height (H)
	min length (zooming max)	max length (zooming min)	
30 inches	0.89 m (2.92 ft.)	1.07 m (3.51 ft.)	6.50 cm (0.21 ft.)
40 inches	1.19 m (3.90 ft.)	1.44 m (4.72 ft.)	8.70 cm (0.29 ft.)
50 inches	1.49 m (4.89 ft.)	1.80 m (5.91 ft.)	10.90 cm (0.36 ft.)
60 inches	1.80 m (5.91 ft.)	2.17 m (7.12 ft.)	13.10 cm (0.43 ft.)
70 inches	2.10 m (6.89 ft.)	2.53 m (8.30 ft.)	15.20 cm (0.50 ft.)
80 inches	2.41 m (7.91 ft.)	2.90 m (9.51 ft.)	17.40 cm (0.57 ft.)
90 inches	2.71 m (8.89 ft.)	3.26 m (10.70 ft.)	19.60 cm (0.64 ft.)
100 inches	3.02 m (9.91 ft.)	3.63 m (11.91 ft.)	21.80 cm (0.72 ft.)
120 inches	3.62 m (11.88 ft.)	4.36 m (14.30 ft.)	26.10 cm (0.86 ft.)
150 inches	4.54 m (14.90 ft.)	5.46 m (17.91 ft.)	32.70 cm (1.07 ft.)
200 inches	6.06 m (19.88 ft.)	7.28 m (23.88 ft.)	43.50 cm (1.43 ft.)
250 inches	7.58 m (24.87 ft.)	9.11 m (29.89 ft.)	54.40 cm (1.78 ft.)
300 inches	9.10 m (29.86 ft.)	10.94 m (35.89 ft.)	65.30 cm (2.14 ft.)

a is the distance (m, feet) between the lens and the screen, and corresponds to a range of 0.89 m (2.92 ft.) to 10.94 m (35.89 ft.). **H** is the height from the image bottom to the center of the lens.

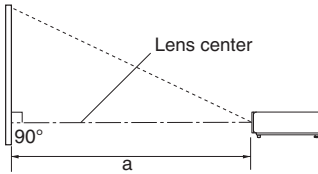
PJ WX3231N

Screen

As seen from above



As seen from the side



$$a \text{ (min length)} = \frac{\text{Projection size (inches)} - 0.758}{31.022}$$

$$a \text{ (max length)} = \frac{\text{Projection size (inches)} - 0.643}{25.845}$$

Projection size	Projection distance a	
	min length (zooming max)	max length (zooming min)
30 inches	0.94 m (3.08 ft.)	1.14 m (3.74 ft.)
40 inches	1.27 m (4.17 ft.)	1.52 m (4.99 ft.)
50 inches	1.59 m (5.22 ft.)	1.91 m (6.27 ft.)
60 inches	1.91 m (6.27 ft.)	2.30 m (7.55 ft.)
70 inches	2.23 m (7.32 ft.)	2.68 m (8.79 ft.)
80 inches	2.55 m (8.37 ft.)	3.07 m (10.07 ft.)
90 inches	2.88 m (9.45 ft.)	3.46 m (11.35 ft.)
100 inches	3.20 m (10.50 ft.)	3.84 m (12.60 ft.)
120 inches	3.84 m (12.60 ft.)	4.62 m (15.16 ft.)
150 inches	4.81 m (15.78 ft.)	5.78 m (18.96 ft.)
200 inches	6.42 m (21.06 ft.)	7.71 m (25.30 ft.)
250 inches	8.03 m (26.35 ft.)	9.65 m (31.66 ft.)
300 inches	9.65 m (31.66 ft.)	11.58 m (37.99 ft.)

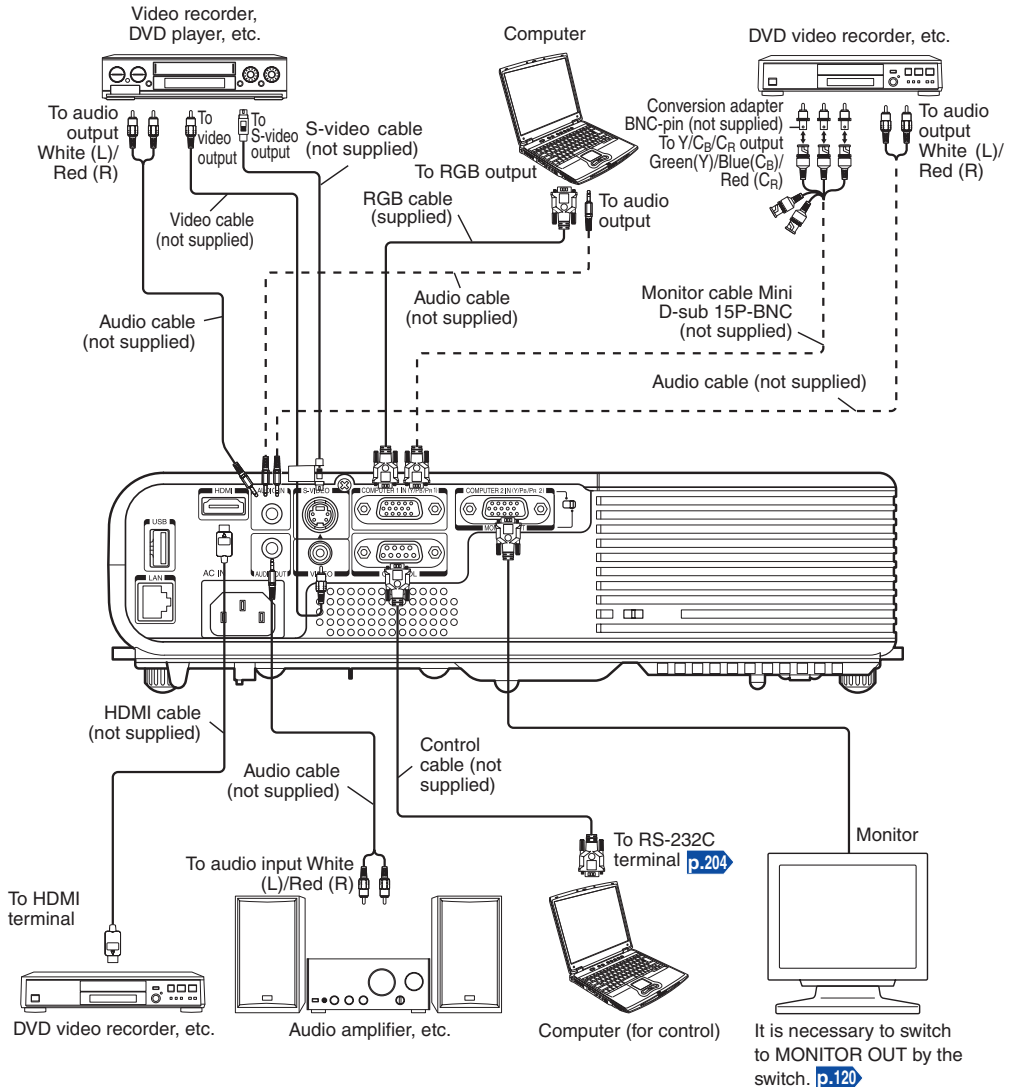
a is the distance (m, feet) between the lens and the screen, and corresponds to a range of 0.94 m (3.08 ft.) to 11.58 m (37.99 ft.).

The lens center is in the same level with an image bottom.

Connection

Before connection

- Read the owner's manual of the device you are connecting to the projector.
- Some computers cannot be used with or connected to this projector.
Check for an RGB and an HDMI output terminal, supported signal [p.202](#) [p.203](#), etc.
- Turn off the power of both devices before connecting.
- The figure below shows sample connections. This does not mean that all of these devices can or must be connected simultaneously. (Dotted lines mean items can be exchanged.)



* The connection for COMPUTER 1 IN terminal described here is also applicable for COMPUTER 2 IN terminal.

Notes

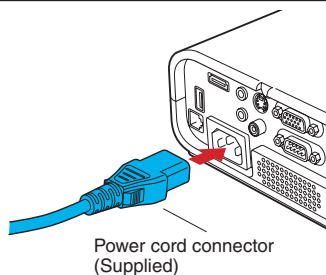
- When COMPUTER 2 IN terminal is used as MONITOR OUT terminal, the signal which is input to COMPUTER 1 IN terminal is output.
- Signals are output from MONITOR OUT terminal even in standby mode. However, from AUDIO OUT terminal, no audio signal is output.
- A computer monitor cannot accept Y/P_B/P_R signals correctly.
- The AUDIO IN terminal can be used for devices connected to COMPUTER 1 IN terminal, COMPUTER 2 IN terminal, VIDEO terminal and S-VIDEO terminal.
- When an AUDIO OUT terminal is connected, sound is not output from the projector speaker.
- Output volume of AUDIO OUT terminal can be adjusted by the **VOL** button.
- Some devices may not operate properly when connecting with HDMI.
- For optimal performance, it is recommended that you use an HDMI cable with the HDMI Logo. To display a 1080p signal format, you will need a High Speed HDMI cable. A conventional HDMI cable may not work properly.
- When connecting a network cable, use a shielded cable.

Turning the power on and off

■ Connect the power cord

- 1 Insert the power cord connector into the AC IN socket of the projector.
- 2 Insert the power cord plug into a wall or other power outlet.

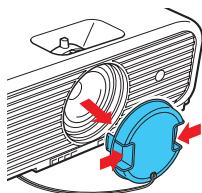
The ON/STANDBY indicator flashes green and the projector enters standby mode.
When [Network standby] is set to [On], the ON/STANDBY indicator lights orange.



■ Turn the power on

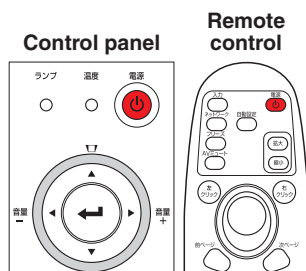
- 1 Remove the lens cap.

Be sure to remove the lens cap when the power is turned on. If the cap is left on the projector, it could become deformed due to heat.



- 2 Press the ON/STANDBY button.

The power turns on with a beep sound (if the beep sound is set to [On]), and the ON/STANDBY indicator flashes orange, and then flashes green. When [Network standby] is set to [On], the ON/STANDBY indicator flashes green. After a moment, the start-up screen appears.



⚠ CAUTION

- Do not look into the lens while the lamp is on. The strong light from the lamp may cause damage to your eyesight.
- Do not block the air intake or exhaust. Doing so could cause a fire due to internal overheating.
- Do not place your hands, face, or other objects near the air exhaust, the lamp cover or the bottom of the unit. Doing so could result in injury and/or damage the object.

■ Notes

- The start-up screen will disappear after a moment. You can also configure the system to prevent the start-up screen from appearing. To do this, use the **Display setting** menu [p.141](#).
- The first time you use the projector after purchase, after the start-up screen disappears, the start menu is displayed [p.130](#).
- You can disable the beep sound in the **Default setting 1** menu [p.144](#).
- When [Key lock] is [On], the operation buttons of the projector do not work [p.145](#).
- When [Password] is [On], enter password then the start-up screen is displayed after the Password entry screen disappears [p.137](#).
- Do not touch the lens directly with your hand.
If fingerprints or stains are left on the projection lens surface, they may interfere with the projector's ability to project images on the screen.

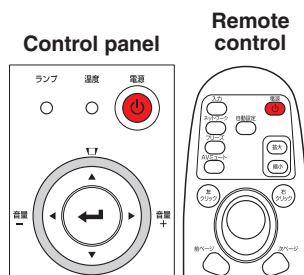
■ Turn the power off

① Press the ON/STANDBY button.

When the beep sound setting is [On], the projector beeps, and a message appears, confirming that you wish to shut off the power. To shut off the power, press the ON/STANDBY button again. If you do not wish to shut off the power, wait for a while without conducting any operations. The message will disappear after a moment and the operation will no longer be valid.

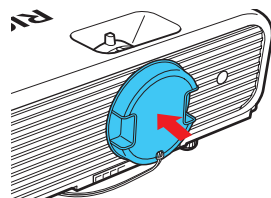
② Press the ON/STANDBY button again.

When the beep sound setting is [On], the projector beeps, and the screen disappears, but the internal cooling fan continues to operate. The projector will then go into standby mode. During cooling, the ON/STANDBY indicator flashes. While the indicator is flashing, the power cannot be turned back on. There is no problem with unplugging the power cord in this state.



③ Replace the lens cap.

After use, replace the lens cap.



■ Note

- The projector consumes about 4.5 W of power in standby. We recommend that you unplug the power cord if you will not be using the projector for an extended period. When [Network standby] is [On], it consumes about 8 W during standby.

■ Precautions

- If you wish to restart the projector again right after turning off the power, give the lamp time (about 5 minutes) to cool before plugging it back in. If the lamp overheats, it may fail to light.
- Right after turning off the power, the unit may become very hot, especially the air exhaust, lamp cover or bottom of the unit. Please handle with care to avoid burn injuries.

Basic operations

1 Turn on the power.

Turn on the power by following the instructions in “Turn the power on” [p.128](#).

2 Select the language and the lamp power during initial startup.

When the projector is used for the first time after purchase, the start menu for language selection, lamp power selection and configuration is displayed in Japanese. (If the screen is out of focus, adjust it according to the step [6](#).)

1 Use the , , or button to select the desired language and then press the button.


English	English
Français	French
Deutsch	German
Italiano	Italian
Español	Spanish
Português	Portuguese
Русский	Russian
Svenska	Swedish
Türkçe	Turkish

Polski	Polish
Norsk	Norwegian
Suomi	Finnish
Čeština	Czech
Magyar	Hungarian
Ελληνικά	Greek
Dansk	Danish
Nederlands	Dutch
Română	Rumanian

日本語	Japanese
中文(简体字)	Chinese (simplified)
中文(繁體字)	Chinese (traditional)
한국어	Korean
Indonesia	Indonesian
ภาษาไทย	Thai
العربية اللغة	Arabic

The message for setup confirmation is displayed in the selected language. Then, the menu for lamp power selection and configuration is displayed. It is automatically set as Standard. To change the setting, follow the step [2](#).

2 Use the , button to select the lamp power and press the button.

The lamp power, if selected, will be toggled without pressing the  button. The display automatically disappears in a few seconds.

Notes

- When the projector is turned on the next time, the start menu will not appear upon startup. However, if [**Reset all**] is executed from the **Default setting 2** menu [p.145](#), the start menu will be displayed the next time the power is turned on.
- The language can also be set via the **Display setting** menu [p.141](#) and Lamp power via the **Default setting 1** menu [p.144](#).
- This owner's manual assumes that English has been selected.

3 Activate the connected device.

Turn on and start the connected device such as a computer.

4 Press the INPUT button.

An image of the connected equipment is projected. Each time you press the **INPUT** button, it switches to the input of the connected equipment that is outputting video signals.

Notes

- When [Auto input search] is set to [Off] in the **Default setting 1** menu [p.144](#), the **Input select** menu appears if you press the **INPUT** button. The factory default setting is [On].
- If the projector is in network input mode and no image is projected after you press the **INPUT** button, check that the connected equipment is working, and press the **INPUT** button again.
- If no signal is being output from the connected equipment, pressing the **INPUT** button does not change the input and “**There is no other input signal.**” message will appear.

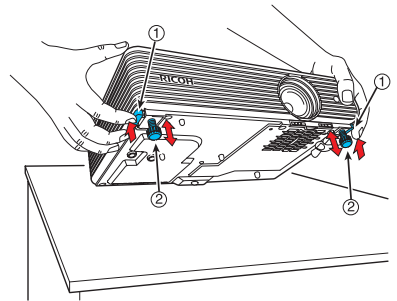
5 Adjust projector placement angle.

You can adjust the placement angle and the height of the projected image using the foot adjuster.

- 1 **Lift up the front of the projector to the desired angle, then press the foot adjuster release button upward.**
The foot adjuster extends. Release the button to lock the position.

- 2 **To fine adjust the angle, twist the foot adjuster.**

- To stow the foot adjuster, hold up the projector while pressing the foot adjuster release button, then slowly lower the projector.

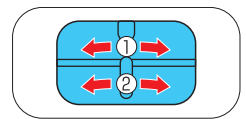


Note

- When [Auto keystone] is set to [On] in the **Default setting 1** menu, the keystone distortion will automatically be corrected based on the projector placement angle. If you do not desire the automatic keystone correction, set [Auto keystone] to [Off].

6 Adjust the screen size and focus.

- 1 **Use the zooming lever to adjust the screen size.**
- 2 **Use the focusing lever to adjust the focus.**



Front

7 Adjust the volume with the ◀ ▶ buttons.


The speaker volume can be adjusted when an audio signal is being input.

Basic operations (Continued)

■ Precautions

- Lamp characteristics may rarely cause the brightness to fluctuate slightly.
- The LCD panel is manufactured using high precision technology. There may be black spots (pixels that do not light) or bright spots (pixels that are constantly lit) on the panel. These are intrinsic characteristics of the manufacturing technology and are not malfunctions.

■ Notes

- A lamp is a consumable item. If used for extended periods, images will appear dark, and the lamp could burn out. This is characteristic of a lamp, and is not malfunction. The lifetime of the lamp depends on conditions of use.
- Although this projector supports a wide range of RGB signals [p.202](#), any resolutions not supported by this projector (XGA for X3241N, WXGA for WX3231N) will be expanded or shrunk, which will slightly affect image quality. To view high-quality images, set the computer's external output to XGA for X3241N, WXGA for WX3231N.
- With some computer models having LCD or similar displays, displaying images simultaneously on the projector and the monitor's display may prevent the images from displaying properly. If this happens, turn off the computer's LCD display. For information on how to turn off the LCD display, see the computer's owner's manual.
- A **"No signal"** message will appear if no signal is being input from the connected equipment or if signal input is stopped while projecting.
- If a signal not supported by the projector is input, the **"Unsupported signal"** message will appear.
- If an unavailable operation button is pressed, the  icon will appear with a beep sound (if the beep sound is set to **[On]**).
- Moving pictures played back on computers using DVD software may appear unnatural when projected with this projector. However, it is not a malfunction of the projector.

■ LCD Panels

LCD panels wear out. In order to prolong the lifetime of your LCD panel, take the following precautions:

- To extend the lifetime of the LCD panel, always turn off the power when it is not in use, and make sure that the lamp is off. Keeping the lamp off will also save electricity.
- If the air filter becomes dirty and clogged, the projector's internal temperature will rise, shortening the lifetime of the LCD panel and causing malfunctions. We recommend regular and thorough cleaning of the air filter [p.196](#).
- If the air filter becomes damaged, replace it. Contact your sales representative for a new filter. If you continue to use the projector when its filter is damaged, dust and dirt will enter the interior and this could cause the projector to stop working or break down.

Using handy features

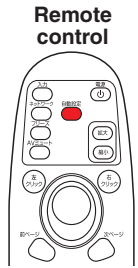
■ Using auto setting (For computer input only)

This function automatically sets up the projector to the optimum state. It sets up the sampling phase, frequency and screen position, etc., for each type of input signal through a simple operation.

● Press the remote control's AUTO SET button.

The  icon will appear during processing.

You can also set it by selecting **[Auto setting]** in the **Image adjustment** menu [p.139](#).



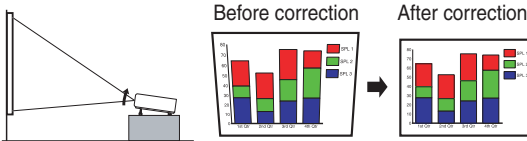
■ Notes

- The image may not be projected or auto adjustment/setting may not be performed correctly for input signals other than those supported by the projector [p.202](#), [p.203](#).
- If auto setting fails adjustment, adjust it manually with **[Position]** in the **Image adjustment** menu [p.140](#).



■ Correcting the keystone distortion

When the projector placement angle toward the screen is changed while projecting the image, the picture will undergo keystone (trapezoidal) distortion.

This projector is capable of automatically correcting this keystone distortion based on the projector's placement angle.



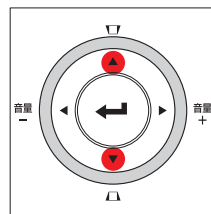
● Adjusting Keystone distortion Manually

Use the   buttons for manual keystone adjustment.

■ Notes

- Depending on the amount of keystone adjustment needed and the image content, some information may be lost, or the picture quality may suffer.
- Even if **[Auto keystone]** is set to **[On]**, keystone distortion can be adjusted manually. Note that if you change the position or angle of the projector, automatic keystone correction will be performed again.
- When **[Auto keystone]** is set to **[On]**, the automatic keystone correction will be performed each time the power is turned on.
- Since keystone correction settings are memorized after the power has been turned off, it is recommended that you first set **[Auto keystone]** to **[Off]**. Then if the projector placement angle against the screen remains unchanged, the keystone adjustment will also remain unchanged.

Control panel



Remote control



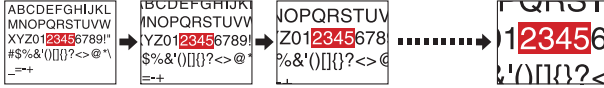
Using handy features (Continued)

■ Resizing image

The projected image can be resized (zoomed in/out).

① Press the remote control's ZOOM IN button.

Each time you press the ZOOM IN button, zoom ratio is up. You can keep pressing it to enlarge the image further.



② To zoom out, press the remote control's ZOOM OUT button.

Each time you press the ZOOM OUT button, zoom ratio is down. You can keep pressing it to reduce the image further. (However, the image cannot be smaller than the original size.)



③ To move the area to zoom in, use the buttons.


You can keep pressing the button until reaching the desired area.

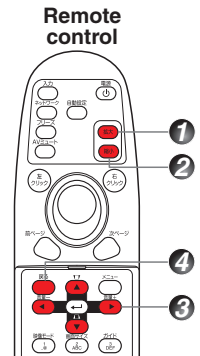


④ When the image returns to the original size by pressing ZOOM OUT button several times, the zoom will be reset.

Pressing the RETURN button during resizing also resets the zoom.

■ Notes

- The  icon appears while resizing.
- Operating a function other than Mute will release resizing.
- As zooming is processed digitally, the image quality is degraded in larger zoom ratio.
- During resizing or moving the zooming area, the image may be distorted.



■ Cutting off the picture and sound temporarily (Mute)

When you want to project the images of another projector or overhead projector temporarily, this projector's images and sound can be turned off using the **MUTE** button.


- Press the remote control's **MUTE** button or the **RETURN/MUTE** button on the projector control panel.

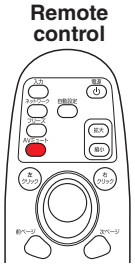
The picture and sound are cut off. (Pressing the **MUTE** button or the **RETURN/MUTE** button again cancels the Mute function and restores the picture and sound.)

The **RETURN/MUTE** button on the control panel cannot be used for muting in the following situations:

- The projected image is resized.
- A menu is displayed.
- USB memory-input is selected.
- Network input mode is selected and no signal is input through the network.

■ Notes

- The  icon will appear while mute is in effect.
- Operating any other function will also cancel the muting.



■ Changing picture mode

The projected image mode can be selected using the **PICTURE** button.

- Press the remote control's **PICTURE** button and select with the **▲** **▼** buttons.

After selection, apply it by pressing the **⏏** button.

- For computer, HDMI, USB memory and Network-input images, the following settings are available.

Dynamic/Standard/Photographic

- For Y/P_B/P_R, Video and S-video-input images, the following settings are available.

Vivid/Standard/Cinema

■ Note

- You can also change the picture mode using **[Picture mode]** of the **Image adjustment** menu [p.139](#).



■ Changing screen size

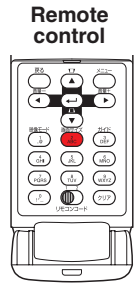
The screen size for the projected image can be changed using the **SCREEN SIZE** button.

- Press the remote control's **SCREEN SIZE** button.

Pressing the button switches in turn as follows:

X3241N : Normal/Full/Thru/Wide

WX3231N : Normal/Full/Thru/4:3 zoom



Using handy features (Continued)

■ Notes

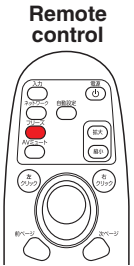
- Thru display is available for Computer (including HDMI-input images) and Network-input images.
- Wide or 4:3 zoom display is available for Y/PB/PR (including HDMI-input images), Video and S-video-input images.
- [Screen size] of the **Display setting** menu has the same function [p.141](#) [p.142](#).
- Using this function on commercial video software, broadcast or cable-broadcasting except for the purpose of your private viewing and listening may infringe the copyright protected by the copyright laws.

■ Freezing the image (Freeze)


This function is used to pause or freeze a video during a presentation.

● Press the remote control's FREEZE button.

The picture will pause. To release the freeze function, press the **FREEZE** button again.






■ Notes

- The  icon will appear while the freeze function is in effect.
- Other operations will also release the freeze function.
- Even if an image is frozen on the projector, the pictures are running on the video or other equipment.
- Using this function on commercial video software, broadcast or cable-broadcasting except for the purpose of your private viewing and listening may infringe the copyright protected by the copyright laws.

■ Setting the password

● How to change password






The default password is 000000.

- 1 Select [Password] in the Default setting 2 menu and press the  or  button.
- 2 Select [Password registration] and press the  button.
The password entry screen is displayed.
- 3 Enter the current password (6-digit number) using numeric keys of the remote control.
 - Enter [000000] (6 zeros) for the first change.
 - The password is not displayed. Instead it appears as [*****].
- 4 Enter a new password (6-digit number).
- 5 Re-enter the new password for confirmation.

■ Note

- Please do not forget your password or you will be unable to access the unit. If that happens, you will need to contact your sales representative.

● How to set password (from [Off] to [On])

- 1 Select [Password] in the Default setting 2 menu and press the  or  button.
- 2 Select [Password setting] and press the  or  button.
- 3 Select [On].
- 4 Select [OK] and press the  button.
The password entry screen is displayed.
- 5 Enter the password using the numeric keys of the remote control.
- 6 The password setting will be set as [On].






● How to operate when password is [On]

- 1 Turn on the power.
- 2 The lamp lights and the password entry screen appears.
- 3 Enter the password using the numeric keys of the remote control.
If the entered password is correct, the start-up screen appears and the projector goes into normal operation. If the password is incorrect, a message will appear prompting you to re-enter the password, and the password entry screen is displayed again. If you enter an incorrect password more than 5 times, the projector will automatically power off and enter standby mode.

■ Note

- When the password setting is [On], the password function will be enabled only when the projector is restarted after the power cord has been unplugged. The password that you set will not be enabled when restarting from standby mode without unplugging the power cord.

● How to set password (from [On] to [Off])

- 1 Select [Password] in the Default setting 2 menu and press the  or  button.
The password entry screen is displayed.
- 2 Enter the password using the numeric keys of the remote control.
- 3 Select [Password setting] and press the  or  button.
- 4 Select [OFF].
- 5 Select [OK] and press the  button.


Using the menus 1

You can call up on-screen menus, and conduct a number of adjustments and settings using the **MENU** button [p.118](#) on the control panel of the main unit and remote control.






■ Setup using the Setting display

The menu shown below is for operation instructions purposes and might differ from the actual display.

1. Press the **MENU** button This will display the **Setting display** menu.
2. Select a Category

Select a category by using .

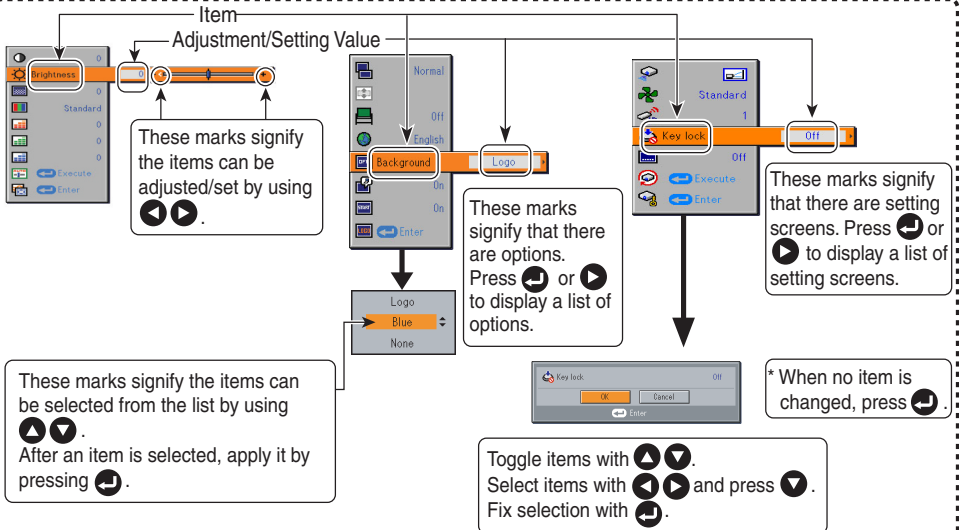
There are 5 categories:

-  **Image adjustment menu** [p.139](#)
-  **Display setting menu** [p.141](#)
-  **Default setting 1 menu** [p.144](#)
-  **Default setting 2 menu** [p.145](#)
-  **Status display menu** [p.147](#)



Displays the current adjustments and settings of the selected category. Items shown in gray cannot be adjusted with the current input source.

3. Adjustments & Settings Press or to open the menu.



- The figure shows displays given for operation instructions purposes. As the display may differ depending on the item, refer to the following applicable pages for the menu item you desire.
- To return to previous item, press the RETURN button.
- When Network or USB memory input is selected, pressing the MENU button twice displays the Setting display (2) menu.

4. End Press the MENU button once more.

(The menu will disappear automatically after 30 seconds, if no operation is conducted.)

Note















- Menu adjustments and settings will not be saved, if the power cable is disconnected or the power goes out before the adjustments and settings have been completed and the menu display has been closed.

The image adjustment menu

Use this menu to set or adjust image related items. Items that can be set or adjusted are marked “Yes”, and those that cannot are marked “No”. (When an item is masked, it indicates that you cannot select it using the current input.)

Item ▲ ▼	Description	Computer	Y/Pb/Pr	HDMI	Video	S-video	Network	USB memory
 Contrast	Adjust the image contrast. Lower ◀ ▶ Higher	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
 Brightness	Adjust the brightness of the image. Darker ◀ ▶ Brighter	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
 Color	Adjust the color of the image. Lighter ◀ ▶ Deeper	No	Yes	No	Yes	Yes	No	No
 Sharpness	Adjust the sharpness of the image. Softer ◀ ▶ Sharper	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
 Noise reduction^{*1}	Set the function to reduce screen noise. On (Enable) ◀ ▶ Off (Disable)	No	Yes	No	Yes	Yes	No	No
 Picture mode	Switches the picture mode. Press  . Toggle the picture mode with ▲ ▼. See p.135 for details.	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
 R-level	Adjust red of the image color. Less red ◀ ▶ More red	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
 G-level	Adjust green of the image color. Less green ◀ ▶ More green	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
 B-level	Adjust blue of the image color. Less blue ◀ ▶ More blue	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
 NTSC mode^{*2}	Set the black level with ◀ ▶. US : NTSC (US) mode JAPAN : NTSC (JAPAN) mode	No	No	No	Yes	Yes	No	No
 RGB input range^{*3}	Set the RGB input range with ◀ ▶. Standard : When black color becomes lighter. Full : When dark area becomes too dark.	No	No	Yes	No	No	No	No
 Auto setting	Automatically adjusts items such as the sampling phase depending on the type of input signal.	Yes	No	No	No	No	No	No
 Equalizer	Reduce noise on the screen. Adjust with ◀ ▶.	No	No	Yes	No	No	No	No

Using the menus 1 (Continued)

Item  	Description	Computer	Y/Pb/Pr	HDMI	Video	S-video	Network	USB memory
 Position	Press  then change mode using   and adjust with  	Yes	No	No	No	No	No	No
 Phase	Adjust to eliminate flicker.	Yes	No	No	No	No	No	No
 Frequency	Adjust to eliminate periodic patterns and flickering when many fine vertical lines appear on the screen.	Yes	No	No	No	No	No	No
 H-position	Adjust the horizontal position of the image.	Yes	No	No	No	No	No	No
 V-position	Adjust the vertical position of the image.	Yes	No	No	No	No	No	No
 Clamp 1	Adjusts the clamp pulse position.	Yes	No	No	No	No	No	No
 Clamp 2	Adjusts the clamp pulse width.	Yes	No	No	No	No	No	No

*1: **[Noise reduction]** may not work depending on signal type.















*2: **[NTSC mode]** can be displayed and adjusted only when the video signal is set to **[NTSC]** or **[NTSC4.43]**. NTSC mode is set to JAPAN when the language is set to Japanese. It is set to US for other languages.

*3: **[RGB input range]** can only be set with RGB signals via an HDMI cable.

■ The display setting menu

Use this menu to set screen display related items.

(The items in gray color cannot be set with the current input selection.)

Item ▲ ▼	Description
 Screen size	Screen size setting [Left] or [Right]: Enter setting] → [▲ ▼: Selection] → [Enter: ↵] X3241N : Normal/Full/Thru/Wide WX3231N : Normal/Full/Thru/4:3 zoom
 Up/down shift	Allows the projected images to shift vertically when the screen size setting is selected Wide for X3241N (within the range of 1024 x 768) and 4:3 zoom for WX3231N (within the range of 1280 x 800). Lower the image ◀▶ Raise the image
 Blackboard mode	When projecting on a non-screen surface, select a color in accordance with the projecting surface. Press [Left] and switch with [▲] and [▼]. Off/Green/Black/Brown/Blue/Beige
 Language	Select one of the languages below to use for displaying the menu and messages [Left] or [Right]: Enter setting] → [▲ ▼ ◀ ▶: Selection] → [Enter: ↵] English / Français / Deutsch / Italiano / Español / Português / Русский / Svenska / Türkçe / Polski / Norsk / Suomi / Čeština / Magyar / Ελληνικά / Dansk / Nederlands / Română / 日本語 / 中文(简体字) / 中文(繁體字) / 한국어 / Indonesia / العربية اللغة / العربية اللغة
 Background	Screen to display when there is no input signal [Left] or [Right]: Enter setting] → [▲ ▼: Selection] → [Enter: ↵] Logo/Blue/None
 Icon	Display icons as function guides On ◀▶ Off
 Start-up screen	Display start-up screen when power is turned on On ◀▶ Off
 User logo	Display a logo customized by the user for the start-up screen or when there is no input signal. [Left] or [Right]: Enter setting] → [▲ ▼: Selection]
 Logo registration	Press [Left] to display the registration menu.
 Display style	
 Background	Black ◀▶ Blue ◀▶ White
 Logo confirmation	Press [Left].
 Reset logo	Yes ◀▶ No

Using the menus 1 (Continued)

● Detailed description

[Screen size]

- **Normal** : Enlarges an input image to fit the screen without changing the aspect ratio of video signals.
- **Full** : Displays an input image in 1024 × 768 dot resolution by enlarging it to fill the entire screen. (X3241N)
Displays an input image in 1280 × 800 dot resolution by enlarging it to fill the entire screen. (WX3231N)
- **Thru** : Displays an input image in the native resolution of the video signals. Thru display is not available for Y/Pb/Pr, HDMI (Y/Pb/Pr signal), Video and S-Video-input images. The larger image than the screen size will be displayed over the screen. The input image may appear vertically long with some frequencies of video signals.
- **Wide (X3241N)** : Displays an input image in the center of the screen with a 16:9 aspect ratio by enlarging it to fit the width of the screen. The upper and lower portions of the image will be compressed.
Wide display is not available for Computer, HDMI (RGB signal) and Network-input images.
- **4:3 zoom (WX3231N)** : Displays an input image with a 4:3 aspect ratio by enlarging it vertically.
The enlarged image will be displayed over the screen. 4:3 zoom display is not available for Computer, HDMI (RGB signal) and Network-input images.
- For Y/Pb/Pr and HDMI (Y/Pb/Pr signal) input, screen size setting function is not available for the video signals with a 16:9 aspect ratio.
- For the Network-input images, the size can be set only when the image is displayed.
- The size setting is not available when the projector is connected to your computer using the Network Projector (Windows Vista®, Windows® 7) function. It may fail to display the image to fill the entire screen with some input image sizes.
- For the USB memory-input images, the size cannot be set.

■ Note

- Using the screen size setting function on commercial video software, broadcast or cable-broadcasting programs to display images with the varying aspect ratio except for the purpose of your private viewing and listening may infringe the copyright protected by the copyright laws.

[Up/down shift]

Shifts the projected image vertically when [Screen size] is set to [Wide] for X3241N.

Shifts the projected image vertically when [Screen size] is set to [4:3 zoom] for WX3231N.

[Blackboard mode]

Projects the image in colors similar to projecting on a screen.

■ Precaution

- The projected image may differ depending on the type, color, and material of the blackboard and wall even if the selected color is the same as the projected screens.

[Background]

- RICOH is set for [Logo] by factory setting.
- If user's logo has been registered, it is displayed when [Logo] is set for background.

[Start-up screen]






If user's logo has been registered and this setting is [On], the logo is displayed at start-up.

[User logo]

Part of the image that is input from a computer is registered as a stationary picture and is displayed it as a logo at start-up and when no signal is input.

<Logo registration>

● How to register user logo

- ① Project a picture to register.
- ② Select [User logo] in the Display setting menu, and press the  or  button.
- ③ Select <Logo registration> from the displayed menu list and press the  button.
- ④ The registration area is displayed for confirmation. Select [OK] and press the  button.
 - If the picture does not fall within the display area, use the computer to scroll the screen.
- ⑤ Select [Yes] to register and press the  button.
- ⑥ Registration starts.
 - A message is displayed while registration is in process.


■ Notes

- You can register a logo when the input is set to Computer, HDMI (RGB signal), Network or USB memory.
- For the Network-input, a logo can be registered only when the image is displayed.
- For the USB memory-input, a logo cannot be registered when a thumbnail list is displayed.
- The area that can be registered is 512 x 384 dots for X3241N and 640 x 400 dots for WX3231N at the center of the screen. To register a company logo, modify the image within that space.
- Only one logo can be registered. When a new image is registered, the old one is deleted.
- The time needed to register or display the image varies depending on the data size.
- Using this function on commercial video software, broadcast or cable-broadcasting except for the purpose of your private viewing and listening may infringe the copyright protected by the copyright laws.

<Display style>

Select the size of the registered logo.

 : Displays the registered image in the original size at center of the screen.

 : Displays the registered image by enlarging it fully within the screen.
(As processed digitally, the image quality is degraded.)

<Background>

Sets background color when [Center] is selected for the logo [Display style].

<Logo confirmation>

You can preview the registered logo.

<Reset logo>

You can reset the registered logo, display style and background to the factory setting. (The logo set for the start-up screen and background is reset.)

Using the menus 1 (Continued)

■ The default setting menu

This menu shows placement status and other settings.

Default setting 1 menu

Item ▲ ▼	Description
Auto keystone	Always corrects keystone distortion automatically. On ◀ ▶ Off
No signal power off	Sets the time to wait for the power to be turned off after the last operation is made with no input signal. Off (not turned off) ◀ ▶ 30 min.
Auto input search	Sets whether the input with signals is only selected or not. On ◀ ▶ Off
Network input detection	Sets how to detect the Network input when Auto input search is [On]. Always ◀ ▶ Normal
Beep	Beeps when operation is made. On ◀ ▶ Off
Voice guide	Informs the operation status and abnormal conditions. Off ◀ ▶ Small ◀ ▶ Loud
Power on	Sets whether to turn on the power when the ON/STANDBY button is pressed (Manual), or when the power cord is plugged in (Auto). Manual ◀ ▶ Auto
Network standby	Switches on/off the network while the projector is in standby. On ◀ ▶ Off
Lamp power	Sets the lamp power. Low ◀ ▶ Standard

● Detailed description

[Auto input search]

[On]: Automatically searches the signals that can be projected, and switches input from the connected device that outputs the video signals each time the **INPUT** button is pressed. Input from a connected device that outputs no video signals is skipped.

[Off]: Displays the **Input select** menu.
Toggle with ▼ ▲ buttons and press ◀ button.
(The input without signals can be also selected.)

■ Note

- In normal operation, set [**Auto input search**] to [On]. Set to [Off] when you want to select the input source from Input select menu, or if the image does not appear properly.

[Network input detection]

If [**Always**] is set, even while no images are being sent to the projector through the Network input, the Network input will be selected when the **Auto input search** is [On].

If [**Normal**] is set, the Network input is selected only while images are being sent to the projector through the Network input.

■ Note

- It is recommend that you set the [**Network input detection**] to [**Normal**] as long as you do not use the Network input.
- When the projector is in network input mode and [**Network input detection**] is set to [**Always**], the projector does not switch to another input signal automatically even if [**Auto input search**] is set to [On]. Press the **INPUT** button to switch to another input signal.

Input select menu

Input select	
●	Computer 1
○	Y/Pb/Pr 1
●	Computer 2
○	Y/Pb/Pr 2
●	HDMI
●	Video
○	S-video
●	Network
●	USB memory

●/○ shows whether signal is input or not.

[Voice guide]

Even when you set the [Voice guide] to [Off], it still informs you of the abnormal conditions.

[Power on]

If [Power on] is set to [Auto] and there is a power outage, the projector will come on once power is restored.












[Network standby]

When [Network standby] is set to [On], the network is switched to the standby state as the projector enters standby. While the network is in standby, the projector can be powered on using the remote control function of the Network Utility. When [Network standby] is set to [Off], the projector cannot be powered on with the remote control function of the Network Utility.

[Lamp power]

When [Lamp power] is set to [Low], the screen becomes a little darker, but the cooling fan noise gets quieter.

Default setting 2 menu

Item ▲ ▼	Description
 Projection mode	Sets projection mode in accordance with Placement Style. p.123  (Standard) ◀ ▶  (Rear) ◀ ▶  (Ceiling) ◀ ▶  (Rear ceiling)
 Fan mode	Sets the cooling fan speed. Standard ◀ ▶ High
 Remote control	When 2 projectors are used and controlled by the remote control respectively, this menu sets the code for the projector and the remote control. [▲] or [▶]: Enter setting → [●] [●]: Select from 1, 2 → [▼]: Confirm → [●] [●]: Select OK to end Press [Cancel] to return.
 Key lock	Lock the control panel buttons. [▲] or [▶]: Enter setting → [●] [●]: Select On/Off → [▼]: Confirm → [●] [●]: Select OK to end Press [Cancel] to return.
 Closed Caption	Closed Caption settings. Press [▲] or [▶] and switch with [▲] and [▼]. Off/ CC1/ CC2/CC3/CC4/T1/T2/T3/T4
 Reset all	Press [●]. (The password and user logo are not reset.) Resets all adjustments and settings to their factory settings. Yes ◀ ▶ No
 Password	Password setting p.136 Press [●]. → Password registration/Password setting

● Detailed description

[Fan mode]

Setting [Fan mode] to [High] increases the cooling fan speed. (The cooling fan noise increases.) Set this option to use the projector at high altitude (over 1,500 meters above sea level).

- Do not set Fan mode to [High] when using the projector at a lower altitude.

Using the menus 1 (Continued)

[Remote control]

Sets a remote control code from 2 types. You can set each code respectively for up to 2 projectors. The factory setting is [1].

To switch codes, set the same code for the projector and the remote control.

A remote control code is applied after the setting is done.

- You cannot operate the remote control if the codes of the projector and the remote control do not match.

Remote control code setting for remote control

Set the same **remote control code switch** as the projector. [p.118](#) [p.119](#)



[Key lock]

Avoid operating errors by locking the projector's control panel buttons. (The remote control operations are still available.)

Control panel operations are locked after the setting is done, and operations using the control panel buttons are disabled.

- To release the key lock, set the **[Key lock]** to **[Off]** using the remote control. You can also set the **[Key lock]** to **[Off]** by pressing the **[RETURN/MUTE]** button on the projector for 10 seconds. (When operating the main unit, the LAMP and TEMP indicators will glow orange for 3 seconds, and the projector will beep.) Note that when Network or USB memory input is selected, the **[Key lock]** cannot be set to **[Off]** with the **[RETURN/MUTE]** button on the projector.

[Closed Caption]

- **Off** : Closed Caption is not displayed.
- **CC1-CC4** : Displays the dialogue and narration of TV programs and videos that are **(Caption)** closed captioned.
- **T1-T4** : Displays information not related to the current program, such as weather, **(Text)** stock data or the like, when it is provided by individual station.

Note

- This projector supports a special feature called closed captioning which allows subtitles to be displayed at the bottom of the picture. This is pursuant to the Regulations set forth by the US Federal Communications Commission (FCC). Due to the different broadcasting or signaling system, it may not operate correctly in other regions or countries where TV programs do not support closed captioning.
- Closed Caption may not appear correctly depending on the signal conditions or the recording conditions of videotapes.
- If the **Text** is not available, only a black rectangle background may appear on screen. To prevent this from appearing, set the Closed Caption to **[Off]**.
- When you switch channels of broadcasting programs or play a videotape using "trick play" functions such as rewind or fast-forward, the operations in the connected device may cause the **Caption** or **Text** to remain on the screen for a while.
- Closed Caption is available for Video and S-Video input images.

■ Displaying Information (Status display)

This displays information about the input signal, lamp use time, etc.

“Yes”: displayed, “No”: not displayed

Item	Description	Computer	Y/Pb/Pr	HDMI	Video	S-video	Network	USB memory
Input	Input source name	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
Mode name	RGB or HDMI signal mode ^[Note 1]	Yes	No	Yes	No	No	No	No
Resolution	Resolution (in dots)	Yes	No	Yes	No	No	No	No
Frequency	Sync frequency	Yes	No	Yes	No	No	No	No
Sync	Sync signal polarity ^[Note 2]	Yes	No	No	No	No	No	No
Signal format	Y/Pb/Pr signal format	No	Yes	No	No	No	No	No
Video mode	Color method of video signal	No	No	No	Yes	Yes	No	No
Lamp time	Time of lamp use ^[Note 3]	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
Lamp reset count	The count for lamp replacement	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
Total time	The total time that this projector is used.	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
Version	Firmware version ^[Note 4]	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes

Notes

- 1: The mode of supported RGB signals [p.202](#) and HDMI signals [p.203](#) are shown.
- 2: Sync signal polarity shown as P (positive) or N (negative) for [H/V].
- 3: Displays [**Lamp time**] as an estimated measure of when the lamp should be replaced. (Cannot be used as a counter of guaranteed lamp time.)
- 4: [**Version**] shows the version of the projector's internal control program. This version will be requested for customer service purposes.

■ Note

- The displayed information will not be refreshed if the status changes. To refresh the information, dismiss the display, then display it again.

Before connecting via a network

Check your computer's Operating System before you connect a projector with your computer via a network.

This projector supports the **Network Projector** function of **Windows Vista®** and **Windows® 7** features.

- If your computer's Operating System is **Windows Vista®** or **Windows® 7**, and you intend to use the **Network Projector** function for network connection, see “**Connection using the Network Projector (Windows Vista® or Windows® 7)**” [p.148](#), “**Setting up the Network Projector/Network Utility**” [p.153](#) and “**Using the Network Projector**” [p.163](#).
- If your computer's Operating System is **Windows® 2000** or **Windows® XP**, see “**Connection using the Network Utility**” [p.148](#), “**Setting up the Network Projector/Network Utility**” [p.153](#) and “**Using the Network Utility**” [p.166](#).

■ Connection using the Network Projector (Windows Vista® or Windows® 7)*

* Now referred to as “Network Projector.”

● Functions

By using the **Connect to a Network Projector wizard**, you can connect to any projectors which support the **Network Projector** function over a wireless or a wired network.

You can make a presentation without any connection setting issues.

■ Notes

- This function's operation has been verified on the **Ultimate** and **Business** editions of **Windows Vista®**, **Professional** and **Ultimate** editions of **Windows® 7**.
- To communicate in Ad hoc mode with a computer over wireless LAN also requires IP address settings.
- In case the resolution of your computer is higher than that of the projector, your computer must be set at lower resolution.
- Transferring video images and audio sound is not available.
- This function does not work while the projector is connected to your computer using the **Network Utility** software.

■ Connection using the Network Utility

● Functions

The following functions are available with the wired LAN, or via wireless LAN when the LAN dedicated application software: **[Network Utility]** [p.166](#) included with this projector is used.

1) Displaying a computer's screen via the projector

The computer's desktop screen can be sent, as well as the screens of a variety of software applications, to the projector for display. Likewise, the sound being played on a computer can also be sent to the projector. Using the Network Mouse Controller function, you can operate your computer with the projector's remote control.

2) Displaying a JPEG file saved on a computer via the projector

JPEG files can be sent to the projector for display.

3) Displaying a video image saved on a computer via the projector

Video files can be sent to the projector for image display. As well, the sound stored in the video file is sent to the projector.

4) Displaying computer's screens via projectors using the Multiscreen function

This function allows users to display multiple screens by sending data to different projectors from a single computer by setting up the virtual displays on the computer. You can also send only the screens that you specify to the projector for display.

5) Operating the projector by means of a computer

Some of the same functions available from the remote control can be performed.

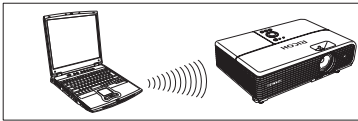
Note

- Network Utility is also operable with Windows Vista® or Windows® 7.

Communication mode

The wireless LAN of this projector supports both Ad hoc and Infrastructure Communication modes.

◆ Ad hoc communication mode



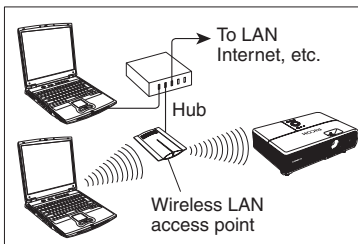
This is the transmission mode to communicate between wireless LAN equipment.

This mode is applicable, for example, to a presentation in the conference room, as it requires no other facilities. This function can only be used if

the projector is in range of the computer's wireless signals.

Ricoh does not guarantee the coverage of the radio wave in the form of figures. The coverage varies depending on the performance of each wireless LAN equipment, existence of obstacles or other wireless LAN equipment used by nearby working groups, etc. The coverage is generally estimated on the assumption that wireless LAN equipment be used in an unobstructed office or conference room.

◆ Infrastructure communication mode



A mixed wireless and wired LAN can be created via wireless LAN access points. (Communications between wireless LAN devices are also allowed.) Connecting to the rest of the world via a wired LAN or the Internet generally requires a high level of security.

Use the appropriate transmission mode for your network environment.

Caution when using the wireless LAN functions

The Wireless LAN in this unit uses the 2.4 GHz waveband. If there is a similar wireless LAN in the area, or a wireless device using the 2.4 GHz waveband, or a microwave oven, the communication efficiency of this apparatus will be reduced, and may become unusable, but it is not a fault. If this happens, check an area away from the current location that will not cause radio interference to medical, industrial and public equipment, and change to it, or stop using the unit.

How to use the USB terminal

This projector can connect to a commercial USB memory device and a USB memory card reader/writer that are USB2.0 compliant, a digital camera or the like and display the JPEG and MPEG files saved in those devices. [p.151](#)

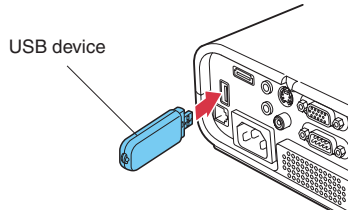
(Ricoh does not guarantee the operation of all USB 2.0-compliant devices.)

To connect or disconnect a USB device, use the following procedure:

■ Connecting USB device

Plug in the USB device.

Make sure the orientation is correct then plug in the USB device until it is secure.



■ Disconnecting USB device

- ① **Switch the input to USB memory and press the MENU button twice to display the Setting display (2), then select and run [Unplug device] in the Slideshow setting menu.**
The process for disconnecting a USB device starts.
- ② **The message “This USB device can be unplugged safely” appears on the screen.**
- ③ **Unplug the USB device.**

CAUTION

- **Be sure to perform the above steps. Disconnecting a USB during operation may cause a system malfunction or data corruption.**

■ Notes

- A USB device can be plugged in even when the power is on.
- The projector may not recognize a supported USB device. If that happens, unplug the USB device then plug it in again.
- The USB terminal does not support the supplied mouse remote control receiver or a commercial mouse controller.
- A USB hub is not supported.

■ Precaution

- Disconnecting the power plug while the USB device is operating may cause a malfunction or data corruption.

■ USB memory devices

This projector can read JPEG, MPEG1, and MPEG2 (PS) files stored in a USB memory device and display them on the screen.

This allows you to give presentations without a computer, create an advertising screen board using the slideshow function, and more. (The projector cannot reproduce animation effects such as those produced by Microsoft® PowerPoint®.)

● The USB terminal

The USB terminal of the projector is USB2.0 compliant and can connect with a USB memory device, a USB memory card reader/writer, a digital camera and other similar devices. For USB devices whose operation has been verified, please contact your sales representative.

Note that this projector does not support all USB memory devices, USB card readers/writers, and digital cameras.

■ Backing up data

Ricoh recommends that you back up the data saved in the USB memory device onto your computer or storage device before use. Ricoh assumes no liability for losses incurred by data lost through the use of this projector.

■ Supported files

- (1) Supported file extensions are .jpg, .JPG, .jpeg, .JPEG, .mpg, .MPG, .mpeg, and .MPEG.
- (2) The folder name and the file name cannot display Japanese. Please use the alphanumeric character.
- (3) The maximum number including both folders and files is 512.
- (4) Some JPEG and MPEG files are not supported by this projector.

Regarding JPEG files, the limitations in (4) above can be alleviated by converting the JPEG file with the supplied **JPEG Conversion Tool** [p.185](#) software application.

Using the menus 2

■ Setup using the Setting display (2)

● Projector settings (Be sure to read this subsection.)



Using the factory settings as-is may suffer security damage, so be sure to change the projector settings.

1. Press the MENU button twice






2. Select a Category

The Setting display (2) is displayed.

* Appears only when Network or USB memory input is selected.

Select a category by using  .

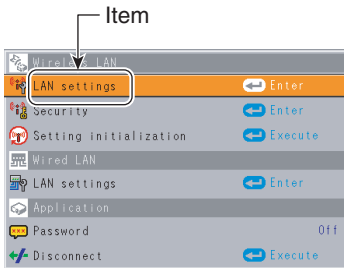
The following 5 categories are available:




-  **Network Projector setup** p.153
-  **Network utility setup** p.153
-  **Control setting** p.159
-  **Slideshow setup** p.160
-  **Status display** p.162



Displays the current settings of selected category. Item shown in gray cannot be set with the currently set conditions of the projector.

3. Make settings Press or to open the menu.



These marks signify the items can be selected from the list by using  . After an item is selected, apply it by pressing .

The figure shows a typical example. As the display may differ depending on the item, use the following pages as a reference.

While the video file transfer function of Network Utility or the slideshow function is in use, the background image of the Setting display (2) does not appear.




















4. Back RETURN button

5. End Press the MENU button or RETURN button.

(The menu disappears 30 seconds after the last operation is conducted.)

■ Setting up the Network Projector/Network Utility

If you select **Network Utility**, the following items can be set.

Category	Item ▲ ▼	Description
Wireless LAN	 Easy Connect (USB memory)	[Yes ◀ ▶ No] → [Enter: ⏎]
	 LAN settings	 Mode: Ad hoc ◀ ▶ Infrastructure
		 SSID: Specify a desired character string (1 to 32 characters). [◀ ▶]: Move left or right one character. ↔ [(0) to (wxyz)]: Set a character.]
		 DHCP: Use ◀ ▶ Not use
		 IP address: Enter using the numeric keys of the remote control. [◀ ▶]: Move left or right one character. ↔ [(0) to (wxyz)]: Set a character.]
		 Subnet mask: Enter using the numeric keys of the remote control. [◀ ▶]: Move left or right one character. ↔ [(0) to (wxyz)]: Set a character.]
		 Gateway: Enter using the numeric keys of the remote control. [◀ ▶]: Move left or right one character. ↔ [(0) to (wxyz)]: Set a character.]
		Confirm: [OK] ◀ ▶ [Cancel] → [Enter: ⏎]
	 Security	 Network authentication: Network Authentication Setting [◀ ▶] or [▶ ▶]: Enter setting → [▲ ▼]: Selection → [Enter: ⏎] None/Open/Shared/WPA-PSK/WPA2-PSK
		 Encryption: Select an encryption type using the ◀ ▶ button. Off/WEP/TKIP/AES
 Key index: Select a desired number (1 to 4) using the ◀ ▶ buttons.		
 Network key: Specify a desired character string. (WEP: 5 to 13 characters, or 10 to 26 digits in hexadecimal notation) (TKIP/AES: 8 to 63 characters, or 64 digits in hexadecimal notation) [◀ ▶]: Move left or right one character. ↔ [(0) to (wxyz)]: Set a character.]		
Confirm: [OK] ◀ ▶ [Cancel] → [Enter: ⏎]		
 Setting Initialization	Reset all the wireless LAN settings. Confirm: [Yes] ◀ ▶ [No] → [Enter: ⏎]	
Wired LAN	 LAN settings	 DHCP: Use ◀ ▶ Not use
		 IP address: Enter using the numeric keys of the remote control. [◀ ▶]: Move left or right one character. ↔ [(0) to (wxyz)]: Set a character.]
		 Subnet mask: Enter using the numeric keys of the remote control. [◀ ▶]: Move left or right one character. ↔ [(0) to (wxyz)]: Set a character.]
		 Gateway: Enter using the numeric keys of the remote control. [◀ ▶]: Move left or right one character. ↔ [(0) to (wxyz)]: Set a character.]
	Confirm: [OK] ◀ ▶ [Cancel] → [Enter: ⏎]	

* To enter characters, use the numeric keypad on the remote control.

Using the menus 2 (Continued)

Category	Item ▲ ▼	Description
Application	Remote control	Specify whether to allow the remote control of the projector from a computer. Allowed ◀ ▶ Presentation ◀ ▶ Forbidden Allowed: The projector always accepts remote commands from a computer. Presentation: Accepts only the remote commands from the computer by which an image is projected on the projector (Update automatically) using Network Utility. Forbidden: Always ignores any remote commands from a computer.
	WEB browser	Browser authentication: Switch on/off the password authentication for access to the setting screen using the Projector Configuration Tool. On ◀ ▶ Off
		Password: Enter the password used to access the setting screen when the Browser authentication is set to On . A character string (1 to 8 characters) can be specified as desired. ◀ ▶ : Move left or right one character. ↔ [P] to [wxyz] : Set a character. Confirm: [OK] ◀ ▶ [Cancel] → [Enter:]

* To enter characters, use the numeric keypad on the remote control.

● Character entry

Enter characters using numeric keys of the remote control. The character is entered with a beep sound if the beep sound is set to [On].

Remote control button	Character entry mode	
	Items using characters, numbers, and symbols (e.g., projector name and destination address)	Number only
1 .@	"1" " " " " " " " " " "	"1"
2 ABC	"2" "A" "B" "C" "a" "b" "c"	"2"
3 DEF	"3" "D" "E" "F" "d" "e" "f"	"3"
4 GHI	"4" "G" "H" "I" "g" "h" "i"	"4"
5 JKL	"5" "J" "K" "L" "j" "k" "l"	"5"
6 MNO	"6" "M" "N" "O" "m" "n" "o"	"6"
7 PQRS	"7" "P" "Q" "R" "S" "p" "q" "r" "s"	"7"
8 TUV	"8" "T" "U" "V" "t" "u" "v"	"8"
9 WXYZ	"9" "W" "X" "Y" "Z" "w" "x" "y" "z"	"9"
0 _	"0" "space!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{ }~"	"0"
△▽	Deletes one character.	Deletes one character.

● Details on individual items

• [Wireless LAN settings]

<Easy Connect (USB memory)>

This feature allows users to easily connect the projector to a computer over a network, without making **Wireless LAN settings** using **Network Utility**.

<Mode>

Your projector is set to **Ad hoc** in the factory. Change the setting if you want to use the projector in **Infrastructure** mode.

<SSID>

This is an ID code for connecting to specific individuals over a wireless LAN. This may also be called "**Network group**" or "**Network name**". Please read the following carefully.

Note: When you use Ad hoc communication mode, if there is a similar **SSID** network group (for example, RDPJ1, RDPJ2, etc.) in the possible communication area, it is possible that your projector name will not be displayed in the **Network Utility** projector list column. If this is the case, set **SSID** to a completely different character string.

Set the following items if you have set the communication mode to Infrastructure. If you have set the communication mode to Ad hoc for Network Projector setting, the following items should also be set.

<DHCP>

If you set **DHCP** to **Use**, the IP address of the projector is assigned automatically by the DHCP server. If your network environment does not assign IP addresses automatically, set **DHCP** to **Not use**, then set the following items **IP address**, **Subnet mask** and **Gateway** manually.

<IP address>

When **DHCP** is set to **Not use**, consult with your network administrator for the settings below and set the **IP address** manually.

An IP address is a unique number assigned to a terminal. The format is a string of four dot-separated three-digit numbers. (Example: 111.112.xxx.xxx)

Note: If you set the same IP address for wireless LAN with the one for wired LAN, network function may fail to operate properly.

<Subnet mask>

A subnet mask is used to determine what subnet the IP address assigned to a terminal belongs to. (Example: 255.255.xxx.xxx)

Note: If you set the same subnet work for wireless LAN with the one for wired LAN, network function may fail to operate properly.

<Gateway>

This value specifies the IP address of the device, such as a router, to be used to access servers outside the network. (Example: 111.112.xxx.xxx)

Using the menus 2 (Continued)

- **[Security for wireless LAN settings]**

<Network authentication>

Set the authentication to enhance network security. Select a method identical to that of the wireless LAN terminal to be connected with.

<Encryption>

Set **Encryption** according to the setting you made for **Network authentication**, as follows.

When you have set **Network authentication** to **Open** or **Shared**, select **WEP** for **Encryption**.

When you have set **Network authentication** to **WPA-PSK/WPA2-PSK**, select **TKIP** or **AES** for **Encryption**.

Note: **Network authentication** is factory-set to **None**. If you use the projector with this setting left unchanged, security may be compromised due to access by a third party within the projector's coverage.

<Key index>

When you have set **Encryption** to **WEP**, Key index must be set. By default, "1" is selected. Select a key index identical to that of the wireless LAN terminal to be connected with.

Note: Since the range of key index varies by product type (1 to 4 or 0 to 3), make settings with attention.

<Network key>

When you have set Encryption to [WEP]:

- For use at an encryption level of 64-bit, specify a string of 5 arbitrary characters or a string of 10 characters in hexadecimal notation.
- For use at the 128-bit level, specify a string of 13 arbitrary characters or a string of 26 characters in hexadecimal notation.

When you have set Encryption to [TKIP]/[AES]:

Specify a string of 8 to 63 arbitrary characters or a string of 64 characters in hexadecimal notation.

Note 1: Alphabetic characters (A to F, a to f) used in hexadecimal notation are not case sensitive; the uppercase characters and their lowercase equivalents are handled to be identical.

Note 2: The longer the strings of characters set for the Network key, the stronger the encryption becomes, and hence the harder it will be for a third party to decipher your communications. However, the setting of larger encryption may slow down communication speed.

Note 3: To set a higher security level, specify a longer string of characters. For higher security, avoid using a word found in a dictionary and change the key sometimes.

<Setting initialization>

This item resets the wireless LAN settings to their factory defaults.

- **[Wired LAN settings]**

- <**DHCP**>

- If you set **DHCP** to **Use**, the IP address of the projector is assigned automatically by the DHCP server. If your network environment does not assign IP addresses automatically, set **DHCP** to **Not use**, then set the following items **IP address**, **Subnet mask** and **Gateway** manually.

- <**IP address**>

- When **DHCP** is set to **Not use**, consult with your network administrator for the settings below and set the **IP address** manually.

- An IP address is a unique number assigned to a terminal. The format is a string of four dot-separated three-digit numbers. (Example: 111.112.xxx.xxx)

- Note: If you set the same IP address for wired LAN with the one for wireless LAN, network function may fail to operate properly.

- <**Subnet mask**>

- A subnet mask is used to determine what subnet the IP address assigned to a terminal belongs to. (Example: 255.255.xxx.xxx)

- Note: If you set the same subnet work for wired LAN with the one for wireless LAN, network function may fail to operate properly.

- <**Gateway**>

- This value specifies the IP address of the device, such as a router, to be used to access servers outside the network. (Example: 111.112.xxx.xxx)

- **[Application]**

- <**WEB browser**>

- Browser authentication**

- Browser authentication** and **Password** are factory-set to **Off** and no string, respectively. You should set them as soon as possible.




- Password**

- If you have forgotten your password, set it again using the menu on the main unit.

Using the menus 2 (Continued)

Note

- If you select [Network Projector] in the **Setting display (2)** menu, the same items in [Network Utility] will be displayed except for the following 2 items.
 - [Easy Connect (USB memory)] feature is not available.
 - In the item [Application], [Password] and [Disconnect] are available as follows.

Category	Item ▲ ▼	Description
 Application	 Password	Set password On ◀ ▶ Off
	 Disconnect	Disconnect while transferring an image using Network Projector. [Yes ◀ ▶ No] → [Enter: ⏎]

See “**Setting up the Network Projector/Network Utility**” [p.153](#) to conduct adjustments and settings for Network Projector.

Computer settings

Refer to your computer’s instruction manuals or wireless LAN adapter to perform the following settings.












- Select **Ad hoc** (for some wireless LAN adapters, this is **Peer-to-Peer Group**).
- Set **SSID** (for some types of wireless LAN adapter, use **Network name** instead) as the same as projector’s **SSID** (at factory shipment, this is set to **RDPJ**).
- If **Encryption**, **Network authentication**, **Key index** and **Network key** are set on the projector, set to the same values.

Note

- The Easy Connect utility [p.177](#) allows users to easily connect the projector to a computer over wireless networks, without making wireless LAN settings. For Easy Connect support, the computer requires a wireless LAN environment that is NDIS5.1 or higher driver compliant.
Refer to the user’s manual supplied with the wireless LAN adapter or the wireless LAN embedded computer for more information.

■ The control setting menu

This menu sets Projector name, Email function and PJLink function, etc. Select **Control setting** in step 2 in “**Projector settings**” [p.152](#). The following content will be displayed.

Item ▲ ▼	Description
 Projector name	Specify a desired character string (0 to 16 characters). [⏪ or ⏩ : Enter setting.] → [⏪ ⏩ : Move left or right one character.] → [⏪ to  to wxyz : Set a character.] → [✔ : Confirm] → [⏪ ⏩ : Select OK to end] Press [Cancel] to return.
 Email	[⏪ : E-mail setting] → [▲ ▼ : Select item]
 Status notification: On ⏪ ⏩ Off	
 SMTP server:	Enter a character string using numeric keys of the remote control.
 Port number:	Enter a character string using numeric keys of the remote control.
 Destination address:	Enter a character string using numeric keys of the remote control.
	Confirm: [OK ⏪ ⏩ Cancel]
 PJLink	[⏪ : PJLink setting] → [▲ ▼ : Select item]
 PJLink authentication: On ⏪ ⏩ Off	
 Password:	Enter a character string (1 to 32 characters) using numeric keys of the remote control.
	Confirm: [OK ⏪ ⏩ Cancel] → ⏪
 Wireless network	[⏪ or ⏩ : Enter setting.] → [⏪ ⏩ : Select from Enabled, Disabled] → [✔ : Confirm] → [⏪ ⏩ : Select OK to end] Press [Cancel] to return.

● Detailed description

• [Projector name]

This can be used to identify projectors when communicating with multiple projectors, or if there is a possibility that another person who is out of communication range will be using the same projector. It is recommended this is set to prevent incorrect transmission.

• [Email]

<**Status notification**>: Sends alarm information to the specified E-mail address when an error such as lamp failure occurs.

<**SMTP server**>: Set an IP address of the SMTP server.

<**Port number**>: Enter a port number of the SMTP server.

<**Destination address**>: Enter within 60 characters. (Example: xxx@xxx.xxx)

• [PJLink]

<**PJLink authentication**>: Set whether or not to authenticate the user by password when the projector is accessed via the **PJLink**-compliant Software Application. (Set [On] or [Off].)

<**Password**>: Enter a password for confirmation when the above <**PJLink authentication**> is set to [On].

Using the menus 2 (Continued)

■ Precautions

- When purchased, <PJLink authentication> is set to [Off] and <Password> is not set by factory setting. You are recommended to make authentication setting as soon as possible.
- If you forget a password, set it again.
- [Wireless network]
If you set **Wireless network** to **Disabled**, the wireless LAN connection will be unusable. Set **Wireless network** to **Disabled** when you do not wish to use the wireless LAN for network connection.












■ Note

- The Email function does not support transmission to the SMTP server that requires authentication.

■ Setting slideshow options

Slideshow is the function to allow users to display JPEG and MPEG image files saved in a USB memory device.

If you select **Slideshow**, the following items can be set.

Category	Item ▲ ▼	Description
 Still Image	 Auto. demo	On ◀ ▶ Off (Select whether to automatically start a slide show when a USB memory device is plugged.)
	 Interval	Select the slide show display interval. ◀ or ▶ : Begin a slide show. Use the ▲ ▼ buttons to select. 5 sec./10 sec./30 sec./1 min./3 min./5 min./10 min.
	 Display effect	Select the slide show display effect. ◀ or ▶ : Begin a slide show. Use the ▲ ▼ buttons to select. None / Wipe ↑ / Wipe ↓ / Wipe ← / Wipe → / Dissolve / Cover ↑ / Cover ↓ / Cover ← / Cover →
 Movie Image	 Auto. start	On ◀ ▶ Off (When a file is selected, start playing the file automatically.)
	 Repeat	On ◀ ▶ Off (Play repeatedly after the end of playing)
 Common	 Play icon	Standard ◀ ▶ Continuous
	 Thumbnail display	Switch the form of a thumbnail list. All ◀ ▶ File ◀ ▶ Off
	 Unplug device	Run when unplugging a USB device. Yes ◀ ▶ No

● Details on individual items

Still Image

- **[Auto. demo]**

On: A slide show begins automatically when a USB memory device is inserted and input switches to USB memory. At this time, the JPEG files in the root directory of the USB memory device are used in the slide show. If the input has already been switched to USB memory, the slide show begins automatically when the USB memory device is inserted.

- To pause the slide show, press the  button. Pressing this button again allows the slide show to begin. To stop the slide show, press the **RETURN** button.

Off: A list of thumbnails will be displayed when plugging in a USB memory device or other similar devices. Select a desired file from the list.

Notes

- The Auto Demo function does not work when using a USB memory card reader/writer to mount multiple media.
- The Auto Demo function is available for JPEG files only.

- **[Interval]**

You can set the display interval of time (in seconds or minutes) for slide shows to be played automatically.

Note

- It may take time to display slide show with some files.

- **[Display effect]**

When playing a slide show, the projector can give various display effects or transitions to each slide being displayed.

The transitions available are listed below:

- **None**

Displays each slide with no display effects.

- **Wipe**

Displays the next slide with a gradual upward (Wipe ↑), downward (Wipe ↓), to the left (Wipe ←), or to the right (Wipe →), over the current slide.

- **Dissolve**

Displays the next slide gradually in a certain fixed block pattern over the current slide.

- **Cover**

Displays the next slide as sliding upward (Cover ↑), downward (Cover ↓), to the left (Cover ←), or to the right (Cover →), over the current slide.

Movie Image

- **[Auto. start]**

On: Start playing a video file automatically when it is selected.

- **[Repeat]**

On: Repeat automatically from the beginning when the file reaches the end.

Using the menus 2 (Continued)

Common

- **[Play icon]**

The slideshow icon can be displayed.

- **Standard**

The projector handles the slideshow icon as follows depending on the “**On/Off**” setting of **Icon** on the projector’s menu.

Icon On: The projector displays the icon upon the start of playing a slide show and turns it off after a few seconds.

Icon Off: The projector does not display the icon.

- **Continuous**

The projector keeps the icon displayed during the slide show.

- **[Thumbnail display]**

Select the form of a thumbnail list.

All: Displays a thumbnail preview of JPEG files, and if any JPEG files exist in the folder displays the leading thumbnail image.

File: Displays only a thumbnail image of JPEG files. The thumbnail image of the JPEG files in the folder is not displayed.

Off: Displays an icon without displaying thumbnail preview.

Note

- Thumbnail image of MPEG files cannot be displayed.

- **[Unplug device]**

Run when unplugging a USB memory device, a USB memory card reader/writer or a digital camera and other similar devices.

Checking the projector status

Status display

To check the current status of the projector, select **Status display** in step 2 in “**Projector settings**” [p.152](#). The following items of information will then be displayed.

Application	The name of the application currently running on the projector is displayed. (Examples: Slideshow, Network Utility)
Details	<ul style="list-style-type: none">• When inputting from USB memory device “Free space/Status” are displayed.• When inputting from network For wireless LAN, “MAC address/Mode/Channel/SSID/Encryption/IP address/Subnet mask/Gateway” are displayed. For wired LAN, “Connection status/MAC address/IP address/Subnet mask/Gateway” are displayed.• PJLink class is displayed.
Version	The firmware version number of the network feature and the USB memory device feature is displayed.

Using the Network Projector

■ Setting up the projector

① Turn the projector power on.

② Switch the input to Network.

Make sure to set the projector's input to Network. If the other inputs are selected, the projector will not be recognized by the computer.

③ A password will be displayed.

A password will be displayed only when [Password] is set to [On] in the **Application** category of the **Network Projector settings**.

④ By referring to “Using the menus 2”, make the wireless LAN or wired LAN settings.

■ Setting up the computer

⑤ Make the wireless LAN or wired LAN settings. Please see the help function of your computer for details.

⑥ Open the [Connect to a Network Projector] wizard by clicking the [Start] button, by clicking [All Programs], then clicking [Accessories], finally clicking [Connect to a Network Projector].

⑦ Select the desired projector from the list or enter the projector address.

⑧ When the password is displayed in step ③, enter the password.

■ Precaution

- Before connection, be sure that either setting described below has been applied to your computer.
 - 1) The screen resolution of your computer is set in the following resolution depending on the projector you are using.
 - X3241N : XGA (1024 x 768 dots) or lower
 - WX3231N : WXGA (1280 x 800 dots) or lower
 - 2) Windows Vista® SP 1 (Service Pack 1) has been installed on your computer or your computer's operating system is Windows® 7.
 - For users of PJ WX3231N
 - If you are unable to set the screen resolution to 1280 x 800 with your computer whose resolution is higher than 1280 x 800, set it to lower than 1280 x 800 resolution.

Installing the applications

If you want to use the projector's internal wireless LAN function, install the Network Utility on the supplied CD-ROM onto your computer.

■ System Requirements

Supported Operating System: Windows® 2000, Windows® XP, Windows Vista® (Ultimate, Business), Windows® 7 (Professional, Ultimate)
CPU: Pentium M 1 GHz or higher recommended
RAM: 256 MB or more recommended
Screen area (resolution): 1024 by 768 dots recommended (X3241N)
1280 by 800 dots recommended (WX3231N)

* The system requirements may vary depending on the conditions of use.

■ Notes

- The Windows® XP, Windows Vista® and Windows® 7 64-bit versions are not supported.
- Some functions of applications may not be operational with Windows Vista® and Windows® 7.

■ Application Types and Major Functions

Network Utility

This application is used for network connections. Use it to send the images from the computer's screen to your projector, and display on the screen. In addition, also use it to transmit the sound being played on a computer to the projector.

JPEG Conversion Tool

Use to convert JPEG and other files into a format that can be displayed as a slide show using a USB memory device.

■ How to install

Insert the CD-ROM in the CD-ROM drive of your computer. On the installation screen, click the application you want to install.

If the installation screen does not appear, open the **Network Utility** folder or the **Jpeg Conversion Tool** folder in the CD-ROM, and then double-click **setup.exe**.

If a message appears during installation, please respond to it to continue the installation process.

When installation is finished, the following shortcuts will appear on your computer's desktop:

If a message reporting a firewall block appears, select "**Allow access**".

Network Utility →



Operations [p.166](#)

JPEG Conversion Tool →



Operations [p.185](#)

■ How to uninstall

Uninstall [**RICOH Network Utility**] and [**RICOH JPEG Conversion Tool**] programs by using a program removal utility found in the [**Control Panel**] on your computer.

■ Notes


- Your computer screen may temporarily go out during installation, but it is not an error.
- Before beginning installation or uninstallation, you need to log on as Administrator.
- For Windows Vista® and Windows® 7, an error message may appear at the end of uninstallation when “automatic restart” is selected. However, this is not an error so that the computer will restart itself and uninstallation process will be completed.
- When using the **Network Utility** under Windows Vista® or Windows® 7, you must login as an administrator, or enter the password used at start up by a user with administrator’s permissions.

Using the Network Utility

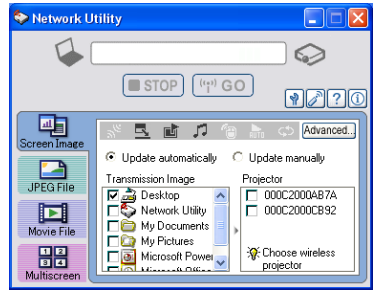
■ Displaying a computer's screen via the projector

1 Launch the Network Utility software application.

When the **Network Utility** launches, the **Screen Image** transmission mode window appears on the computer screen.

To switch to the **Screen Image** transmission mode window from another mode, click the **Screen Image** icon .

If a message reporting a firewall block appears, select **“Allow access”**.



2 Select Transmission mode.

Click **Update automatically** or **Update manually**. See step 6 for the descriptions of **Update automatically** and **Update manually**.

3 Click the Advanced button.

The **Screen Image: Advanced Settings** dialog appears. Set the dialog as shown below, as necessary.

● Interruption

Check the **No Interruptions** checkbox to prevent other computers from interrupting the projector, for example, during a presentation.

● Window Display

Select the **Place in Tasktray at the start of transmission** checkbox to iconify the **Network Utility** and place it in the computer's tasktray when transmission initiated.

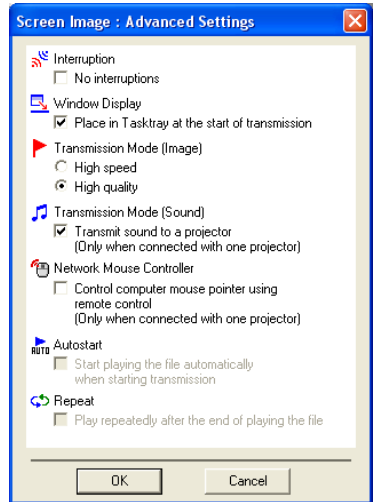
To display the window, double click this icon, or right click and select **Open** from the popup menu. Even with the **Network Utility** window minimized, you can use the pop-up menu to stop or resume transmission as described in step 4 and later.

● Transmission Mode (Image)

Selecting **High quality** improves the quality of the projected image, but lowers communication speed. Selecting **High speed** has the opposite effect.

● Transmission Mode (Sound)

Check the **Transmit sound to a projector (Only when connected with one projector)** checkbox to transmit the sound being played on a computer to the projector. Note: The sound can be sent when only one projector is connected.



- **Network Mouse Controller**

Check the **Control computer mouse pointer using remote control (Only when connected with one projector)** checkbox to control computer mouse pointer with **Mouse control** button, **PAGE+** button, **PAGE -** button, **L-CLICK** button and **R-CLICK** button of the projector's remote control.

Note 1: This function is available when only one projector is connected to computer.

Note 2: When you use the Network Mouse Controller function, do not connect the mouse remote control receiver to your computer. The function will fail to operate properly.

4 Select the Transmission Image you wish the projector to display.

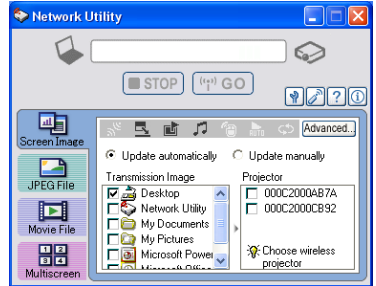
Select Desktop

The computer screen image is transmitted as-is.


Select application window

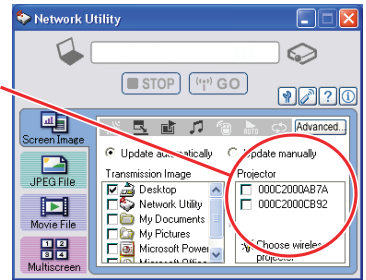
Select a running application (e.g. Microsoft® PowerPoint®), and send that application's window only.

The desktop and a list of running applications are displayed. Select the desired application from this list. (If the desired application is not on the list, launch it. Note that if too many applications are running, it will consume the computer's resources, which could slow communication speed.)



5 Select the projector to be transmitted.


A list of the names of the projectors you can use will appear. (If a projector's name is not specified, its ID will be displayed instead.) Select the checkbox of the projector you wish to transmit to from this list. Then icon  is displayed on the projector's screen for a few seconds. It is possible to select up to four projectors.




Network/
USB memory

6 Click the button.

When "Update automatically" is selected in step 2

Screen images are sent consecutively after the  button is clicked. Besides, the sound being played on a computer can be sent to the projector.

When "Update manually" is selected in step 2


A single screen image is sent when the  button is clicked.

7 To halt transmission from Update automatically, click the button.

If the **Network Utility** icon has been placed in the tasktray, double click the icon to display the window, then halt transmission, or right click the icon, and halt transmission.

Using the Network Utility (Continued)

Notes

- It may not be possible to transmit the images from a movie player or other video applications.
- When using “**Update automatically**”, the transmitted image refresh rate depends on the performance of the computer you are using and the surrounding radio wave environment.
- The projector screen may have a few differences from the computer screen.
- If you selected application window in step ④, if that application is not active (in use), the image may not be correctly displayed by the projector.
- The projector ID is the MAC address of the wired LAN inserted into the projector.
- Playing contents protected by copyright is not supported.
- To transmit sound, press the  button then launch the application that plays the contents including the sound. When you operate the projector using Windows Vista® or Windows® 7, “**Switching audio play device**” window may be displayed after pressing the start button of Network Utility. If this window is displayed, follow the instruction to switch the audio play device, and then launch the application that plays the contents including sounds.
- If no sound can be heard from the computer though the connection is stopped, re-launch the application that plays the contents including the sound.
- Transmission may not be available depending on the sound type.
- Sound cannot be transmitted if multiple projectors are selected.
- The audio signals transmitted by a computer become mono.
- **Network Mouse Controller** function may not work properly depending on the network condition.

■ Displaying a JPEG image saved on a computer via the projector

① Launch the Network Utility software application.

The **Screen Image** transmission mode window appears on the computer’s screen.

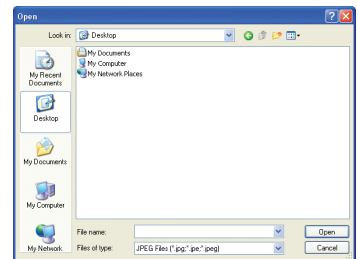
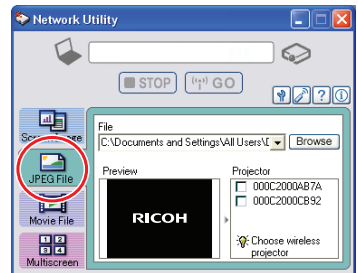
② Click the JPEG File icon .

The Network Utility window changes to **JPEG File** transmission mode.


③ Click the Browse button, and select the file to send.

Clicking the **Browse** button displays the **Open** dialog box. Select the file to send, then click the **Open** button.

The selected file is added to the pull-down list in the **Network Utility’s Transmission File** field.



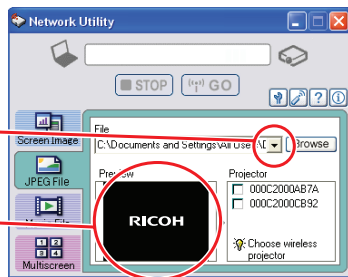
4 Select the file to be sent from the pull-down list of the Transmission File field.

Click the **Transmission File** field's  button to display the pull-down list. Select the file to be sent from this list.


A thumbnail of the selected file appears in the **Preview** box. The file displayed here will be transmitted.

Step 3 can be skipped.

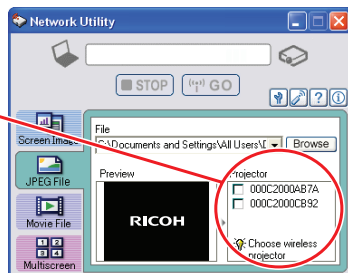
The way that drag and drop the file to be sent from the desktop or Windows Explorer into the **Preview** box is also available. In this case as well, the selected file is added to the file pull-down list **Transmission File** field's.



5 Select the projector to be transmitted.

A list of the names of the projectors you can use will appear. (If a projector's name is not specified, its ID will be displayed instead.) Select the checkbox of the projector to be transmitted to from this list. Then icon  is displayed on the projector's screen for a few seconds.

It is possible to select up-to four projectors.



6 Click the button.

The selected file's image is displayed by the projector.

Notes

- Only one file can be sent at a time. To send another file, repeat steps 4 and 6.
- Selecting a file by drag and drop may not be available with Windows Vista® and Windows® 7.

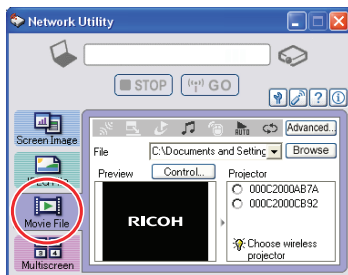
■ Displaying a video file saved on a computer via the projector

1 Launch the Network Utility software application.

The **Screen Image** transmission mode window appears on the computer's screen.

2 Click **Movie File** icon .

The **Network Utility** window changes to **Movie File** transmission mode.



Using the Network Utility (Continued)

3 Click the Advanced button.

The **Movie file: Advanced Settings** dialog appears. Set the dialog as shown below, as necessary.

- **Interruption**

Check the **No Interruptions** checkbox to prevent other computers from interrupting the projector, for example, during a presentation.

- **Transmission Mode (Sound)**

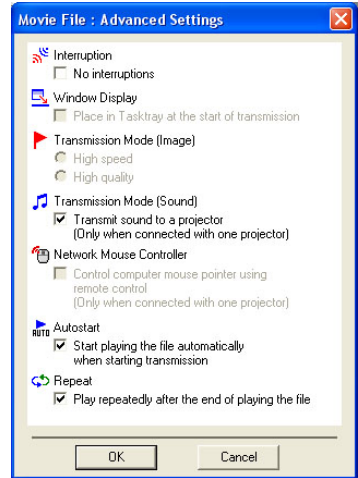
Check the **Transmit sound to a projector (Only when connected with one projector)** checkbox to transmit the sound being played on a computer to the projector.

- **Autostart**

Check the **Start playing the file automatically when starting transmission** checkbox to automatically start playing the video file when connecting to the projector.

- **Repeat**

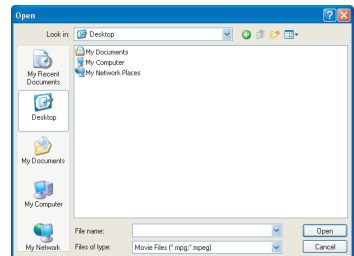
Check the **Play repeatedly after the end of playing** checkbox to automatically repeat from the beginning when the file reaches the end.



4 Click the Browse button and select the file to send.

Clicking on the **Browse** button displays the **Open** dialog box. Select the file to send then click the **Open** button.

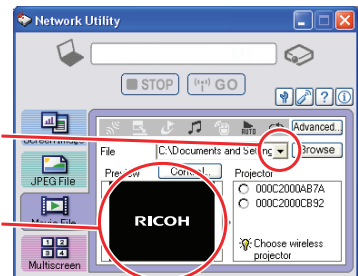
The selected file is added to the pull-down list in the **Network Utility's Select file** field.



5 Select the file to send from the pull-down list of the Transmission File field.

Click the **Transmission File** field's button to display the pull-down list. Select the file to send from this list.

A thumbnail of the selected file appears in the **Preview** box. The file displayed here will be transmitted.




Step 4 can be skipped.

The way that drag and drop the file to send from the desktop or Windows Explorer into the **Preview** box is also available. In this case as well, the selected file is added to the pull-down list.

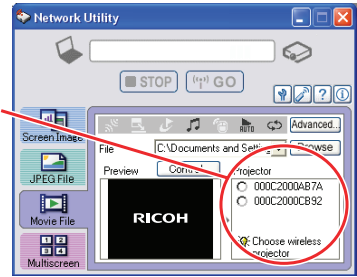
Note

- You may not select a file by drag and drop with Windows Vista® and Windows® 7.

6 Select the projector to transmit to.

A list of the names of the projectors you can use will appear. (If a projector's name is not specified, its ID will be displayed instead.) Select the checkbox of the projector to be transmitted to from this list. Then icon  is displayed on the projector's screen for a few seconds.

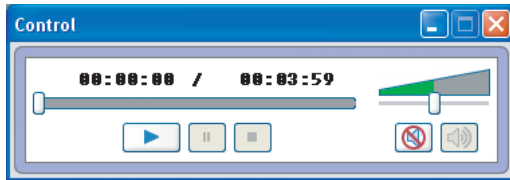
It is possible to select only one projector.










7 Click the GO button.

The selected file's image is displayed by the projector and the Control window appears as well.

8 Play the video file via the Control window.



The function of each button and box is as follows:

- | | | |
|---|----------------------------|--|
|  | (Current position): | Indicates the playing position. Dragging the slider can move the playing position. |
|  | (Play): | Starts playing the video file. |
|  | (Freeze): | The picture is paused. |
|  | (Stop): | Stops playing the video file. |
|  | (Volume): | Adjusts sound volume contained in the video file. |
|  | (Mute): | Cuts off picture and sound contained in the video file. |
|  | (Release mute): | Restores picture and sound contained in the video file. |

Notes

- Only one file can be sent at a time. To send another file, repeat steps 5 and 7.
- MPEG/AVI/ASF/WMV files can be transmitted.
- Additional software may be required to play MPEG2 or ASF files.
- The update speed of the transmitted file depends on your computer's performance and the surrounding radio environment.
- The projector ID is the MAC address of the wired LAN mounted on the projector.
- The audio signals transmitted by a computer become mono.
- Playing contents protected by copyright is not supported.

Using the Network Utility (Continued)

■ Displaying computer's screens via projectors using the Multiscreen function

1 Launch the Network Utility software application.

The **Screen Image** transmission mode window appears on the computer's screen.

2 Click the Multiscreen icon

The **Network Utility** window changes to **Multiscreen** transmission mode.

3 Select Transmission mode.

Click **Update automatically** or **Update manually**. See step 7 for the descriptions of **Update automatically** and **Update manually**.

4 Click the Advanced button.

The **Multiscreen: Advanced Settings** dialog appears. Set the dialog as shown below, as necessary.

• Window Display

Select the **Place in Tasktray at the start of transmission** checkbox to iconify the **Network Utility** and place it in the computer's tasktray when transmission initiated.

To display the window, double click this icon, or right click and select **Open** from the pop-up menu. Even with the **Network Utility** window minimized, you can use the pop-up menu to stop or resume transmission.

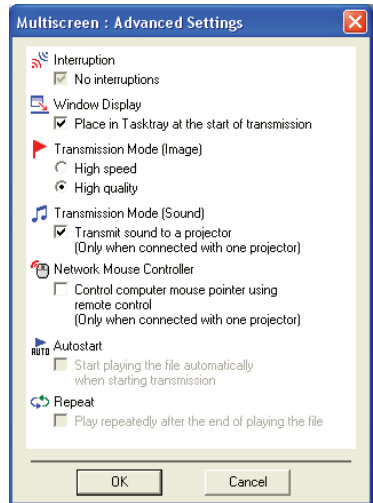
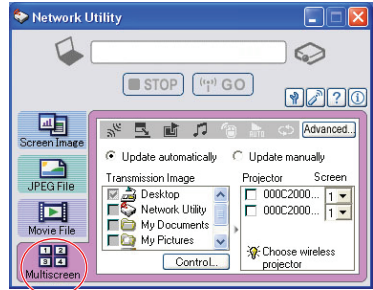
• Transmission Mode (Image)

Selecting **High quality** improves the quality of the projected image, but lowers communication speed. Selecting **High speed** has the opposite effect.

• Transmission Mode (Sound)

Check the **Transmit sound to a projector (Only when connected with one projector)** checkbox to transmit the sound being played on a computer to the projector.

Note: The sound can be sent when only one projector is connected.



■ Note

- The multi screen function cannot be used with Windows 7.

- **Network Mouse Controller**

Check the **Control computer mouse pointer using remote control (Only when connected with one projector)** checkbox to control computer mouse pointer with **Mouse control** button, **PAGE+** button, **PAGE -** button, **L-CLICK** button and **R-CLICK** button of the computer's remote control.

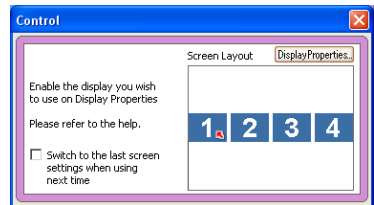
Note 1: This function is available when only one projector is connected to computer.

Note 2: When you use the Network Mouse Controller function, do not connect the mouse remote control receiver to your computer. The function will fail to operate properly.

5 Arrange the virtual display layout.


- ① Clicking the **Display Properties** button in the Control window displays the window for screen display settings.
- ② Right click the desired virtual display (Ricoh DPJ Secondary Display Driver) and select **Attached** from the popup menu.
- ③ Allocate screen displays by drag and drop of monitor icons.
- ④ Click **OK** button in the window for screen display settings, then the **Screen Layout** in the Control window will be updated accordingly.

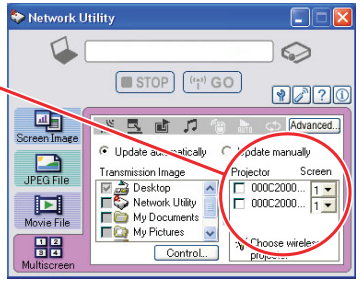
When you check **Switch to the last screen settings when using next time** the virtual display layout that has been set will be memorized upon exit from **Network Utility** and it will switch to the screen settings the next time you use the Multiscreen feature.



Using the Network Utility (Continued)


6 Select the projector to transmit to.

A list of the names of the projectors you can use will appear. (If a projector's name is not specified, its ID will be displayed instead.) Check the checkbox of the projector you wish to transmit to from this list. And select the virtual display number that you wish to transmit to from the pull-down list in the **Screen** box. Then  icon marked with a number (corresponding to the screen number) is displayed on the selected projector's screen for a few seconds. Up-to four projectors are available to select.




7 Click the button.

When "Update automatically" is selected in step 3

Screen images are sent consecutively after the  button is clicked. Besides, the sound being played on a computer can be sent to the projector.

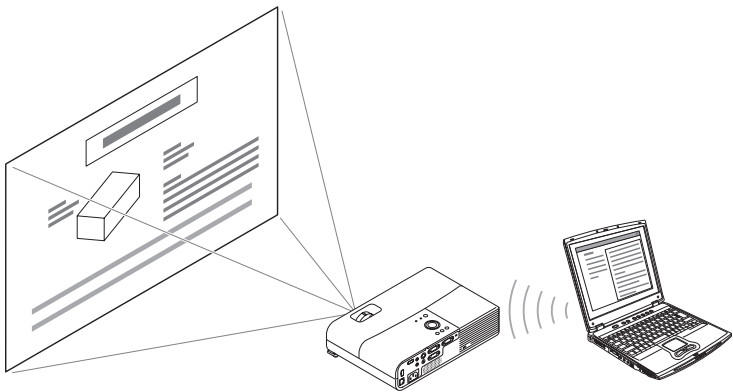
When "Update manually" is selected in step 3

A single screen image is sent when the  button is clicked.

● Multiscreen Usage Examples

Example 1)

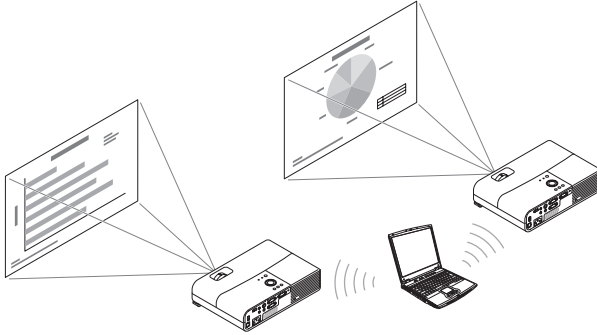
While projecting image data sent from your computer on a screen, you can also display the other image data such as a presenter script on your computer so that you can give a presentation without showing any image data which you do not wish to let other participants see.



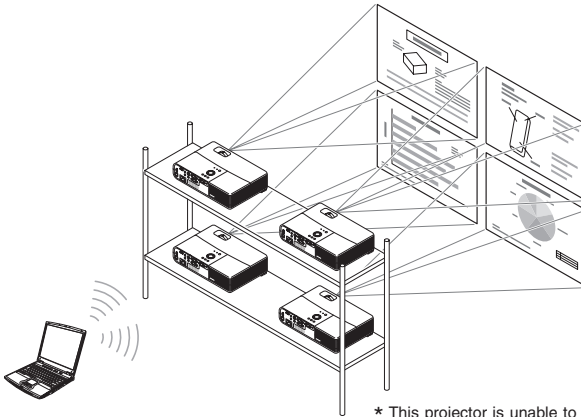
Example 2)

Using only a single computer, you can make an effective presentation by displaying different image data stored in the computer via multiple projectors (up to 4 projectors).

[When using 2 projectors]



[When using 4 projectors]



* This projector is unable to display a divided single image in large size by combining each display sent by multiple projectors.

Notes


- The figures shown here are illustrated as projectors are connected to a computer via wireless LAN, however, this also applies for the connection via wired LAN.
- Note the characteristics such as the brightness or the color tint of the projected image may vary depending on each projector. This is not a malfunction.

CAUTION

When you use multiple projectors with Multiscreen feature, make sure to leave sufficient space (more than 70 cm) between projectors. If you set the projector near the air exhaust of the other projector, it may cause damage to other units due to heat.


Using the Network Utility (Continued)

■ Notes

- It may not be possible to transmit the images from a movie player or other video applications.
- When using “**Update automatically**”, the transmitted image refresh rate depends on the performance of the computer you are using and the surrounding radio wave environment.
- The projector screen may have a few differences from the computer screen.
- The projector ID is the MAC address of the wired LAN inserted into the projector.
- Playing contents protected by copyright is not supported.
- To transmit sound, press the  button then launch the application that plays the contents including the sound. When you operate the projector using Windows Vista® or Windows® 7, “**Switching audio play device**” window may be displayed after pressing the start button of Network Utility. If this window is displayed, follow the instruction to switch the audio play device, and then launch the application that plays the contents including sounds.
- If no sound can be heard from the computer though the connection is stopped, re-launch the application that plays the contents including the sound.
- Transmission may not be conducted depending on the sound type.
- Sound cannot be transmitted if multiple projectors are selected.
- The audio signals transmitted by a computer become mono.
- **Network Mouse Controller** function may not work properly depending on the network condition.
- If you make any changes in the screen display settings of the window without launching **Network Utility**, the settings you made will be erased and not be reflected even if you check **Switch to the last screen settings when using next time** checkbox.
- For multiscreen function, the images on the computer’s desktop can only be selected to transmit for display. Note that the application software are not available to select as transmission images.


■ Easy Connect utility

This feature allows users to easily connect the projector to a computer over wireless networks, without making **Wireless LAN settings** using **Network Utility**.

Launch the **Network Utility** software application and click the Tool button  to bring up the **Wireless LAN Settings Utility** dialog box. Select a desired connection mode in this dialog box.

● How to set up with [Simple 1:1 connection]

• Setting on the projector

- 1 Turn the projector power on.
- 2 Switch the input to Network.
- 3 Press the  button on the projector control panel.

• Setting on the computer

4 Launch the Network Utility software application.

When the **Network Utility** launches, the **Screen Image** transmission mode window appears on the computer screen.

5 Click the Tool button .

The **Wireless LAN Settings Utility** dialog box appears.

6 Select [Simple 1:1 connection] then click OK.

The connection starts up.

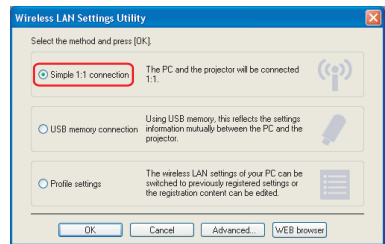
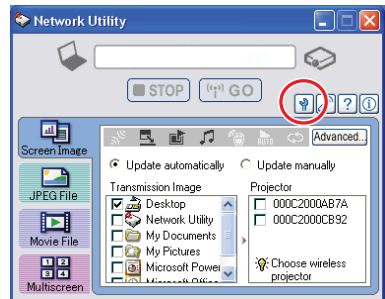
When a connection confirmation message appears, proceed as instructed in the message.

7 When the connection is complete, the computer screen image is transmitted.

If the transmission does not start, uncheck the **Confirm and immediately transmit screen image** checkbox.

■ Notes

- This operation is allowed only when the Transmission mode is set to **Ad hoc** in the projector's wireless LAN settings.
- The operation procedure of the projector setting and the computer setting can be altered without affecting the connection setup, assuming the operation on each side is complete within 60 seconds.
- Be sure to use Network Utility version 1.0 or later.



Using the Network Utility (Continued)


● How to set up with [USB memory connection]

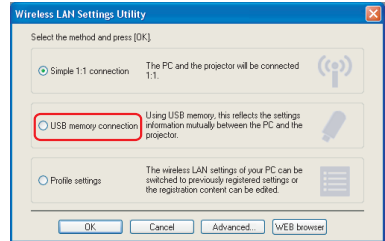
Set up wireless LAN using a commercial USB memory device. For USB devices whose operation has been verified, please contact your sales representative.

1) Copying the computer settings to the projector

• Setting on the computer

❶ Insert the USB memory device into the USB terminal slot on the computer.

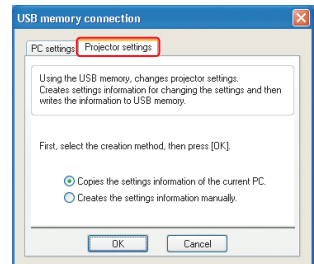
❷ Click the Tool button  of the Network Utility to bring up the Wireless LAN Settings Utility dialog box. Select [USB memory connection] and click OK.



The dialog box for [USB memory connection] appears.

❸ Select [Projector settings] and click OK, then enter the required setting items and click OK.

The setting information is saved to the USB memory device.



❹ Unplug the USB memory device from the computer.

To unplug the USB memory device, follow the instructions in the user's manual supplied with the USB memory device or the computer.

• Setting on the projector

❺ Turn the projector power on.

❻ Switch the input to Network.



❼ Insert the USB memory device into the projector.

A message appears, notifying that the projector settings have been changed.

❽ The projector name or the projector ID (MAC address of wired LAN) will be displayed in the projector's list in the Network Utility window.

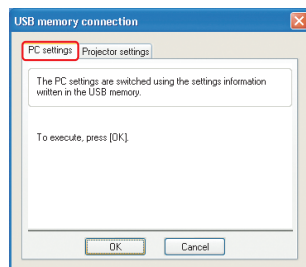
2) Modifying the computer settings using the projector settings

• Setting on the projector

- 1 Turn the projector power on.
- 2 Switch the input to Network.
- 3 Press the MENU button twice, then select Easy Connect (USB memory) in Network Utility settings from the Setting display (2) menu and press the  button.
- 4 When a confirmation window appears, insert the USB memory device into the projector.
- 5 Click Yes then press the  button.
The wireless LAN settings are saved to the USB memory device. When successfully saved, a message appears.
- 6 Unplug the USB memory device.

• Setting on the computer

- 7 Launch the Network Utility software application.
- 8 Insert the USB memory device into the computer.
- 9 After a confirmation message appears, make settings.



- 10 When the setting is complete, the projector name of the connected projector or the projector ID (MAC address of wired LAN) is displayed in projector's list in the Network utility window.

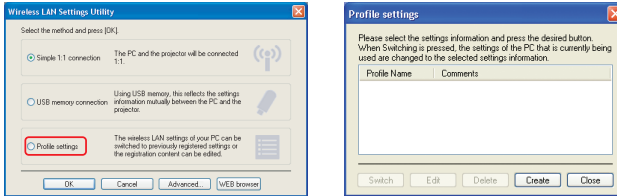
■ Note

- This operation is allowed only when the Transmission mode is set to **Ad hoc** in the projector's wireless LAN settings. Be sure to use Network Utility version 1.0 or later.

Using the Network Utility (Continued)

● How to use [Profile settings]

This feature allows the user to save the computer's wireless LAN settings. This feature is useful when you need to change wireless LAN settings according to where you use.



● Advanced setting

This feature allows the user to set details for Easy Connect settings. Make the following settings as required in this dialog.

● Registering profile automatically

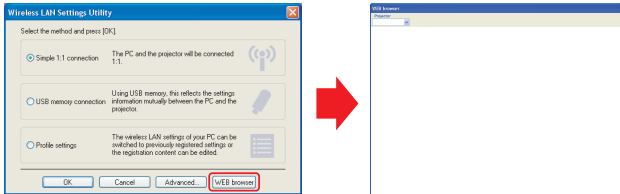
Check this checkbox to automatically register the settings of the Easy Connect as profile setting data.

● Switching settings automatically at start-up

Check this checkbox to automatically switch to the last used wireless LAN settings when launching the Network Utility.

● WEB browser

Where the computer and the projector are connected over the network, bring up the window of Projector Configuration Tool by pressing the **WEB browser** button.



■ Precautions

- If the page is not displayed correctly, re-select the projector.
- When the network settings are changed, the network connection is disconnected. If you wish to reconnect, set up the computer again.

■ Precaution

- The simple 1:1 connection, the USB memory connection and the profile setting may not work normally depending on the type of the wireless LAN adapter and the wireless LAN embedded computer. When such a case arises, use the Network Utility menu to make necessary wireless LAN settings manually.

■ Operating the projector

This function can be used with any projector input.

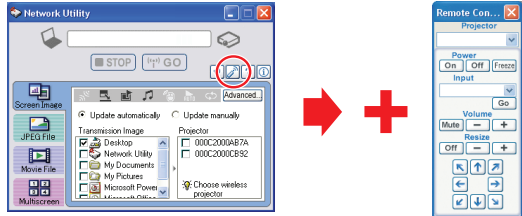
1 Launch the Network Utility software application.

The **Screen Image** transmission mode window appears on the computer's screen.

2 Click the Remote Control button.


The **Remote Control** window appears.

As the **Network Utility** window is still displayed, you can operate the projector via the **Remote Control** window, while using the Network Utility's functions.



While it is possible to use this function merely to operate the projector, closing the **Network Utility** also closes the **Remote Control** window.

3 Select the projector to be operated.

In the **Remote Control** window, click the  button, and select the desired projector from the pull-down list. When you make a selection, the **Remote Control** window displays as shown in the right figure.

Only one projector can be selected. (It is not possible to operate multiple projectors.)

4 Click the Remote Control window's buttons.

The function of each button and box is as follows:

Power On: Turns projector power on.

Power Off: Turns projector power off.

Freeze: The picture is paused.

Input (box): Click the  button, and select the desired input from the pull-down list.

Go: Switches to the input selected in the Input box.

Mute: Cuts off picture and sound. Click again to restore picture and sound.

Volume +/-: Adjust sound volume.

Resize Off Restores the picture to its original size.

Resize +/-: Adjusts the enlargement ratio.



: Move screen (up/down/left/right/diagonal)



5 To quit, click the button on the Remote Control window.

Performing this does not close the **Network Utility** window.

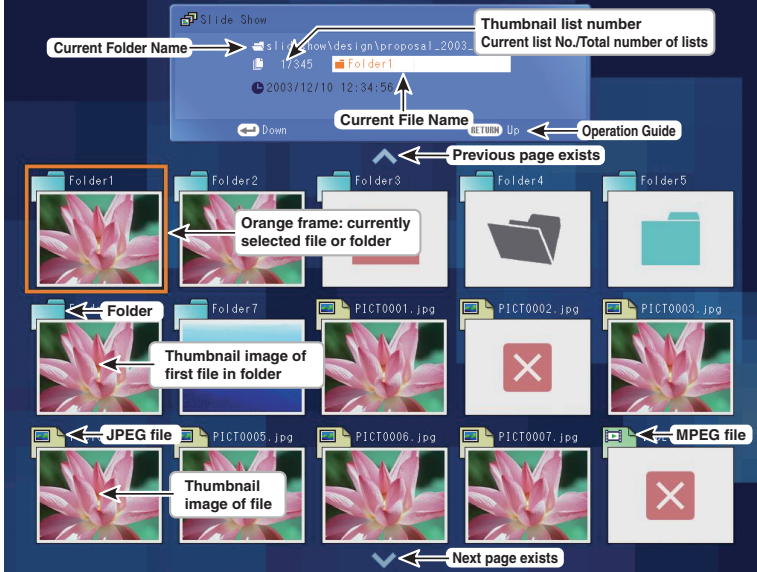
To exit both the **Network Utility** and the **Remote Control**, click the  button on the **Network Utility** window.

Projecting images stored in a USB memory device






■ Playing a slide show from a thumbnail list

With **Auto. demo** set to **Off** in “**Setting slideshow options**”, data readout begins when a USB memory device is inserted and the input switches to USB memory. A list of thumbnails will then appear on the screen.

The figure below is an example of this process:

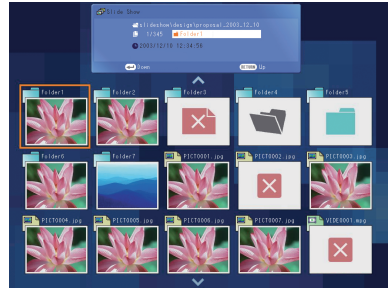


Symbols in the thumbnail list

-  Indicates that only folders are inside the folder.
-  Indicates that there is no data to be displayed in the folder.
-  Indicates that the first JPEG, MPEG or other file is not supported.
-  Indicates that an unsupported JPEG, MPEG or other file is present.
-  When the **Thumbnail display** is set to **Off**, the screen appears like this.

1 Plug a USB memory device.

Plug in a USB memory device according to the procedure in “Connecting USB device” p.150. The projector starts loading data from the USB memory device and displays a thumbnail list on the screen.



2 Searching for a target file

- Use the **▼** **▲** **◀** **▶** buttons to move the orange frame over the desired file or folder.
- If there are multiple pages of thumbnails, click the **▼** button on the bottom row to go to the next page, and the **▲** button on the top row to go to the previous page.
- To open a folder, move the orange frame to the desired folder and press the **▶** button. You can navigate down 5 levels using the same procedure. Pressing the **RETURN** button returns you to the next/other upper level folder.

3 For JPEG files

3 Displaying slides

- Pressing the **▶** button with a file selected displays the only images in that file in full-screen view on the screen as a slide. Pressing the **▶** button begins automatic play mode.
- To return to the thumbnail list display screen, press the **RETURN** button.

4 Changing slides

Pressing the **◀** **▶** buttons with a slide displayed changes slides.

(**◀** : previous slide; **▶** : next slide. These buttons are not available during an automatic play.)

5 Rotating a slide



Pressing the **▲** **▼** buttons with a slide displayed rotates the slide 90 degrees. The rotation information is preserved as long as you remain in the current folder.

(**▲** : Rotate left; **▼** : Rotate right. These buttons are not available during an automatic play.)



Projecting images stored in a USB memory device (Continued)

● For MPEG files

③ Displaying video

- Pressing the  button while a file is selected plays only the video image in full-screen view. Pressing the  button again pauses the video image.
- To return to the thumbnail list display screen, press the **RETURN** button.

④ Fast-forwarding and rewinding video images

Pressing the   buttons while a video image is displayed fast-forwards or rewinds the video image.

( : Fast-forward;  : Rewind)

■ Notes

- The thumbnail display and slide order are listed from the shortest file name to the longest. If two file names have the same number of characters, they are ordered numerically if numbers are used in the file name, and alphabetically otherwise.
- It is possible to give presentations without using a computer by converting presentations created with Microsoft® PowerPoint® into JPEG files using the **JPEG Conversion Tool**, and storing them on a USB memory device. [p.185](#)
Note, however, that functions such as animation effects and hyperlinks cannot be used, so the converted file should be tested before the actual presentation.
- Freeze function cannot be used during slide show or automatic play.
- A slide show is terminated when the input is switched to another.
- With some USB memory devices, the slideshow playback may stop midway. If you encounter this, use another USB memory device because the current one is not supported.
- Pressing the **GUIDE** button on the remote control with a slide or video image displayed displays the slideshow operation guide.
- When you operate the projector using the USB memory card reader/writer, up to 4 media types are supported.

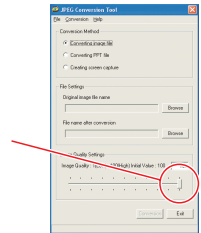
How to use the JPEG Conversion Tool

The **JPEG Conversion Tool** converts JPEG files not supported by the projector, image files in other formats, Microsoft® PowerPoint® files, and other similar files into JPEG files. The JPEG files converted with this tool can be displayed by sending them using the wireless LAN [p.168](#), or saving them on a USB memory device.

■ Launching the JPEG Conversion Tool

The window shown in the figure to the right appears on the computer screen.

Drag the **Image Quality Settings** slider to the left or right to set the image quality of the file after conversion. Lower values create smaller files, but will lower the image quality. (It is not possible to restore the quality of an image after it has been lowered.)



■ Converting an image file

This takes JPEG files created with compression formats not supported by the projector, for example, Windows® metafiles (wmf), and bitmapped files (bmp), and converts into JPEG files.

- (1) In the **Conversion Method** field, select **Converting image file**. (Status on launch)
- (2) In the **File settings** field, click the **Browse** button for **Original Image File Name**.

The **Open** dialog box appears.

- (3) In the **Open** dialog box:
 - (a) Specify the location of the file to be converted; and
 - (b) In the **Files of Type** field, click the **▼** button to select the file format. A list of files of that format appear in the **Open** dialog box.

- (4) In the **Open** dialog box, select the file to convert, then click the **Open** button.

- (5) In the **JPEG Conversion Tool** window, in the **File settings** field, select **Browse** for **File name after conversion**. The **Save As** dialog box appears.

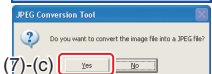
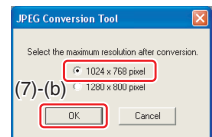
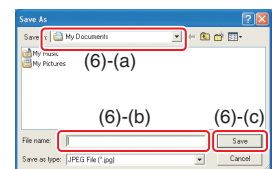
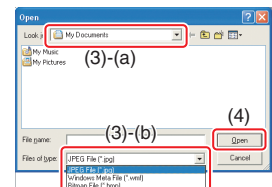
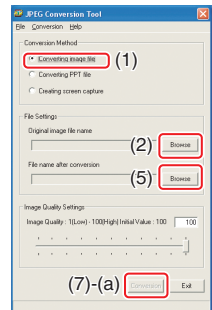
- (6) In the **Save As** dialog box:
 - (a) Specify the location in which to save the converted file;

- (b) Enter a file name of up to 8 characters in the **File Name** field; and
- (c) Click the **Save** button.

- (7) (a) In the **JPEG Conversion Tool**, click the **Conversion** button.

- (b) The resolution selection dialog box appears. Select a desired resolution and click the **OK** button.

- (c) A confirmation dialog box opens. Click **Yes**.
The computer converts the file. When it finishes a message appears informing you that “a JPEG file has been created”.



Network/
USB memory

How to use the JPEG Conversion Tool (Continued)

■ Converting files created with Microsoft® PowerPoint®

This process provides presentations without using a computer by converting presentation files created with Microsoft® PowerPoint® into JPEG files, storing them on a USB memory device, and displaying them in a slide show.

- To use this conversion mode, Microsoft® PowerPoint® must be installed on the computer.
- Only static images are supported by this process. Animation and audio are not supported.

Presentation files created with Microsoft® PowerPoint® usually consist of several slides. For this reason, the tool creates a folder with the name specified in step (5), below, and file for each slide is created in the folder (starting with slide001.jpg).

(1) In the **Conversion Method** field, select **Converting PPT file**.

(2) In the **File settings** field, click the **Browse** button for **PPT File Name**.

The **Open** dialog box appears.

(3) In the **Open** dialog box:

- (a) Specify the location of the file to be converted; and
- (b) Select the PowerPoint® presentation file to convert, then click the **Open** button.

(4) In the **JPEG Conversion Tool** window, in the **File settings** field, click the **Create** button for **New folder name**.

The **Folder create** dialog box appears.

(5) In the **Folder create** dialog box, in the **Folder Name of document** of document field, specify a folder name of 12 characters or less.

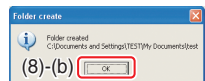
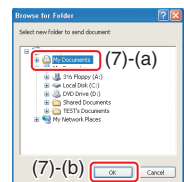
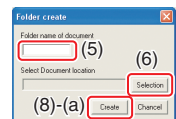
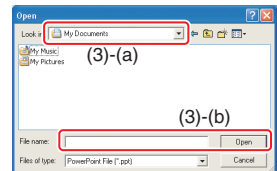
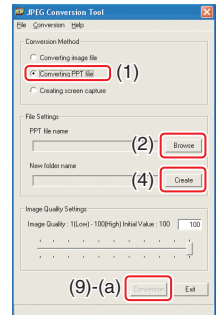
(6) In the **Folder create** dialog box, click the **Selection** button. The **Browse for Folder** dialog box appears.

(7) In the **Browse for Folder** dialog box:

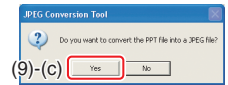
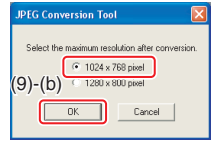
- (a) Specify the location in which to save the folder; and
- (b) Click the **OK** button.

(8) In the **Folder create** dialog box:




- (a) Click the **Create** button. A confirmation dialog box appears;
- (b) Click the **OK** button.



- (9) (a) In the **JPEG Conversion Tool** window, click the **Conversion** button.
- (b) The resolution selection dialog box appears. Select a desired resolution and click the **OK** button.
- (c) A confirmation dialog box opens. Click **Yes**.
The computer begins to convert the file. When it finishes, a message appears informing you that “a **JPEG file has been created**”.



■ Making a presentation with converted JPEG files

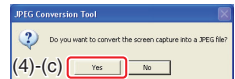
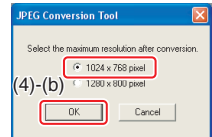
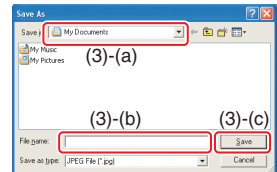
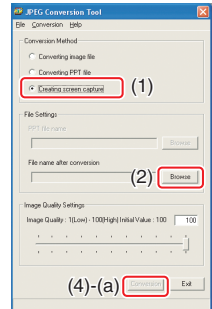
- (1) Copy the folder created by the **JPEG Conversion Tool**, and/or its contents, onto a USB memory device.
- (2) Use step ① in “**Playing a slide show from a thumbnail list**” [p.182](#) to display a list of thumbnails.
- (3) Follow the instructions in step ② in “**Playing a slide show from a thumbnail list**” [p.182](#) to find the thumbnail of the first slide, Slide001.jpg, and move the orange frame to it. (Select Slide001.jpg)
- (4) Press the  button on the remote control. An enlarged view of the first slide appears on the screen. This starts the presentation.
- (5) To continue to the next slide, click the remote control's  button. To go back to the previous slide, click the  button.

How to use the JPEG Conversion Tool (Continued)

■ Creating a screen capture and converting it into a JPEG file

This function saves the current computer screen as a JPEG file.

- (1) In the **Conversion Method** field, select **Creating screen capture**.
- (2) In the **File settings** field, click the **Browse** button for **File name after conversion**.
The **Save As** dialog box appears.
- (3) In the **Save As** dialog box:
 - (a) Specify the location in which to save the converted file;
 - (b) Enter a file name of up to 8 characters in the **File Name** field; and
 - (c) Click the **Save** button.
- (4) (a) In the **JPEG Conversion Tool** window, click the **Conversion** button.
 - (b) The resolution selection dialog box appears. Select a desired resolution and click the **OK** button.
 - (c) A confirmation message appears. Click **Yes**.
The computer creates a screen capture, and converts it into a JPEG file in the specified location. When it is finished, a message appears to tell you that “a JPEG file has been created”.



■ Note

- The selected resolution in the dialog box will be the maximum resolution of the converted image file. Specify the resolution in accordance with your projector's resolution.

Setting up the projector using a Web browser

■ How to use the “Projector Configuration Tool”

The “Projector Configuration Tool” uses the Web server features of the projector to set up the projector using the network.

When using the “Projector Configuration Tool”, set up the Network connecting the projector and the computer.

① See “Checking the projector status” [p.162](#) to display information on the screen and write down the IP address.

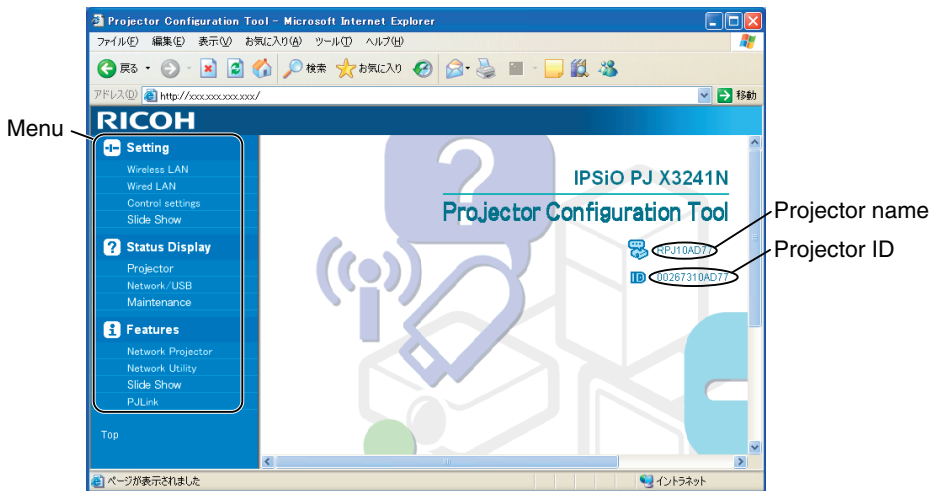
② Invoke Internet Explorer.

Internet Explorer Ver. 6.0, Ver. 7.0 or Ver. 8.0* is recommended. Enable the Javascript functions.

* Ricoh does not guarantee the operation for later versions.

③ In the address bar, enter the IP address “http://xxx.xxx.xxx.xxx/” recorded in step ① above.

The Web browser will then display the following page.



Note: If you use a proxy server, do not enable the proxy when accessing the above IP address.

When the wireless LAN is set to use Ad hoc mode, use the **WEB browser** function in the **Wireless LAN Settings Utility** dialog box of Network Utility.

■ Note

- This function can be enabled using the **WEB Browser** function in the **Wireless LAN Settings Utility** dialog box of Network Utility without specifying the URL into the browser's address bar.

Setting up the projector using a Web browser (Continued)

4 Select items from the menu on the left.

Settings:	Make settings for the Network or USB memory input menu.
Status Display:	Verify the projector state.
Features:	Shows the functions available with the Network or USB memory.
Top:	Returns you to the top page.

● Details on major items

● Settings

When **Browser authentication** has been set to **On**, access to the setup page requires the input of the password.

The following settings are available for [**Wireless LAN**], [**Wired LAN**], [**Control settings**] and [**Slideshow**].

- The items displayed on the screen can be set.
- Enter individual items and press the **Execute** button to update their setting.

● Status display

Displays some states of the projector.

Projector: Displays the contents of status display in the Setting display.

Network/USB: Displays the contents of status display of the Network or USB memory input in the Setting display (2).

Maintenance: Describes an error if it occurs, for example, when the lamp has blown.

■ Notes

- Clicking the ? button opens a popup help window.
- The security items such as “**Remote control**” and “**Browser authentication**” cannot be set.



Lamp replacement

A lamp is a consumable item. If used for extended periods, images will appear dark, and the lamp could burn out. This is characteristic of a lamp, and is not malfunction. (The lifetime of the lamp depends on condition of use.) If this happens, replace it with a new one.

WARNING

- **If the projector is mounted on the ceiling, it is strongly recommended that you contact your sales representative when the lamp has to be exchanged. Do not attempt to replace the lamp by yourself.**

If you uncover the lamp while the projector is mounted on a ceiling, there may be a danger of damage from falling pieces of glass if the lamp is broken, resulting in possible injury. In addition, working at high elevations can also be potentially hazardous. Do not attempt to replace the lamp by yourself.

- **Always use lamp “IPSiO PJ Replacement Lamp Type1” (sold separately) when replacing the lamp.**

Using a lamp other than the one specified may cause a malfunction or damage to the unit due to the difference in the connector shape or the lamp rate.

CAUTION

- **If you have been using the projector, the lamp will be very hot, and may cause burn injuries.**
Wait 1 hour or longer for the lamp to cool before replacing it.
- **If the lamp should break, please handle with care to avoid injury due to broken pieces and contact your sales representative for repair service.**

Lamp replacement (Continued)

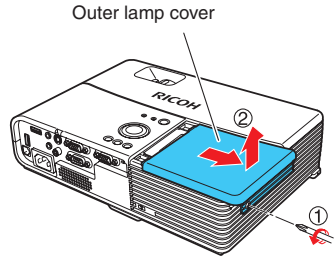
1 Unplug power cord.

2 Wait until lamp is sufficiently cooled.

Wait for at least 1 hour.

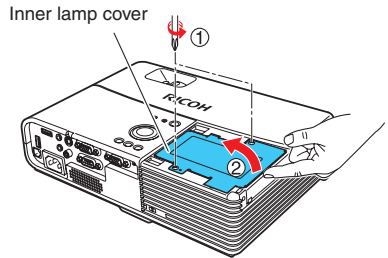
3 Remove the outer lamp cover.

To remove the outer lamp cover, loosen the screw on the side of the projector, and then slide the cover out and up (as shown in the illustration).



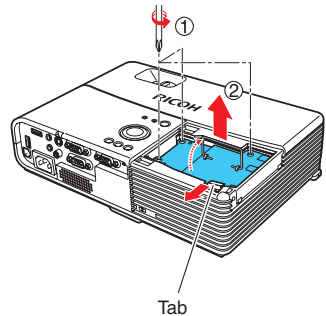
4 Remove the inner lamp cover.

To remove the inner lamp cover, fully remove both screws, and then lift the cover (as shown in the illustration). Be careful not to loose the screws.



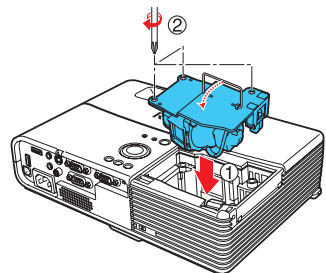
5 Pull out the lamp.

Loosen the 3 lamp locking screws, pull up the handle, and press the tab to remove the lamp.



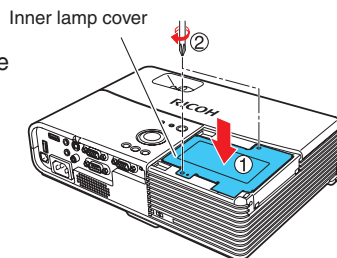
6 Mount the new lamp.

Align the orientation, press down the new lamp until the bottom is reached. Then lock it in place using the 3 lamp locking screws.



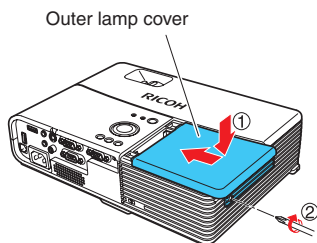
7 Replace the inner lamp cover.

Reattach both screws removed in step 4. Tighten the screws until the inner lamp cover is fully immobile.



8 Replace the outer lamp cover.

Reseat the outer lamp cover by sliding it in the direction of the arrows (as shown in the illustration), and then tighten the screw loosened in step 3. Tighten the screw until the outer lamp cover is fully immobile. (The outer lamp cover must be attached.)




9 Reset the lamp time.

See the lamp's manual for instructions on resetting the lamp time.

Notes and Precautions

- The [Lamp time] item in the **Status display** menu indicates the time of lamp use. (Use it as a rough estimate or guide for lamp life.) [p.147](#)
- Please replace the lamp after 2000 hours of use if [Lamp power] in the **Default setting 1** menu is set to [Standard], or after 3000 hours of use if [Lamp power] in the **Default setting 1** menu is set to [Low]. [p.144](#)
- There may be cases where the lamp stops working before the above mentioned period expires or before the replacement message is displayed.
- Attach the outer lamp cover correctly so that it is secure and not loose. If it is not attached correctly, the projector may fail to turn on or the lamp may fail to come on.
- Always replace the lamp with a new one.
- The lamp is made out of glass. Do not touch the glass surface with your bare hands, bang it, or scratch it. Since dirt, jolts, scratches and other similar particles may affect the lamp.

● About lamp replacement messages

- The lamp replacement message displays an appropriate period based on the use period selected in [Lamp power].
- When the replacement time approaches, “**The lamp life is ending. Please change the lamp.**” message is displayed each time the power is turned on. The display disappears when you press the  button.

Used Lamps

This projector's lamp contains trace amounts of environmentally harmful inorganic mercury. Be careful not to break used lamps, and dispose of them in accordance with local regulations or contact your sales representative.

Air filter cleaning

The air filter prevents dust and debris from getting inside the projector. Never run the projector with the filter removed. It is recommended that you clean the air filter regularly.

- The message “**Check the air filter for dirt.**” is displayed every 100 hours. (Once the usage time exceeds 100 hours, the message is displayed for about 30 seconds the first time the power is turned on and an image is displayed. The message will disappear with any operation.)
- Check the filter and if any debris is found, use the following cleaning procedure.

WARNING

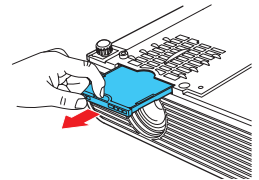
- **Request cleaning and maintenance of a ceiling-mounted unit from your sales representative.**

Attempting to clean or replace the filter in a high location by yourself may cause you to fall, resulting in injury.

1 Unplug power cord.

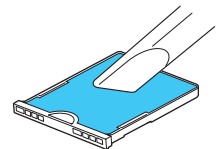
2 Remove the air filter.

Pull out the air filter by holding the release knob with your fingers as shown in the figure.



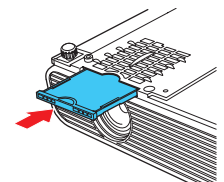
3 Clean the filter.

Carefully remove the dust and dirt from the air filter with a vacuum cleaner or the like.



4 Replace the air filter.

Insert the air filter firmly until you hear a click.



Notes

- When dirt and dust build up in the air filter, the air circulation inside the projector is affected and the internal temperature will rise, causing the projector to stop working or malfunction.
- Push the air filter fully in. If the projector is used with the air filter only partially inserted, dust and dirt will enter the interior and this could cause the projector to stop working or break down.
- If you wash the air filter with water, make sure you dry it thoroughly before replacing it.
- If the air filter becomes damaged, replace it. Contact your sales representative for a new filter. If you continue to use the projector when its filter is damaged, dust and dirt will enter the interior and this could cause the projector to stop working or break down.

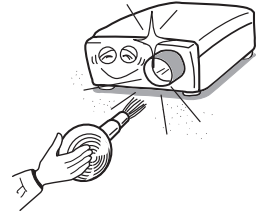
Lens and main unit cleaning

WARNING

- **Request cleaning and maintenance of a ceiling-mounted unit from your sales representative.** Attempting to clean the unit or replace the lamp in a high location by yourself may cause you to fall, possibly resulting in injury.

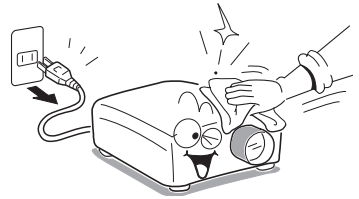
■ Lens cleaning

- Clean the lens with a commercially available blower and/or lens cleaner.
- The lens is easily scratched, so do not rub it with hard objects, or strike it.



















■ Main unit cleaning

- Always unplug the power cord before cleaning the main unit.
- Wipe dirt off the main unit gently using a soft cloth.
- Do not wipe the main unit with a damp cloth. Doing so may allow water to get inside, resulting in possible electric shock or unit failure.
- Do not use benzene, thinner or other similar chemical solutions as they may deform or discolor the unit or damage the paint surface.
- Do not use a chemically saturated cloth.



Trouble indications

The indicator illuminates and a beep sounds to inform you of internal abnormalities.

<p>ランプ 温度 電源</p> <p>○ ○ (OFF) </p>	<p>No power</p> <p>⇒ Problem with projector</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unplug the power cord, and contact your sales representative.
<p>ランプ 温度 電源</p> <p> ○  (Red flashing) (Red lit)</p> <p>or</p> <p>ランプ 温度 電源</p> <p> ○  (Red lit) (Red lit)</p>	<p>Lamp went out during use, or won't come on</p> <p>⇒ Lamp temperature is high so that it is difficult to turn on, the lifetime of the lamp has ended or the projector is malfunctioning.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unplug the power cord and wait for a short while, then turn the power back on. • If a lamp burns out, replace it with a new one.
<p>ランプ 温度 電源</p> <p>○   (Red flashing) (Red lit)</p>	<p>Power went out during use</p> <p>⇒ Internal overheating, or the outside temperature is too high.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Make sure the projector is placed so that the air intake and exhaust are not blocked. • Unplug the power cord and wait for a short while, then turn the power back on. <p>*The  icon will appear before the power goes out.</p>
<p>ランプ 温度 電源</p> <p>○   (Green flashing) (Red lit)</p>	<p>Power went out during use</p> <p>⇒ Problem with internal cooling fan.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unplug the power cord, and contact your sales representative. <p>*The  icon will appear before the power goes out.</p>
<p>ランプ 温度 電源</p> <p> ○  (Orange flashing) (Red lit)</p>	<p>Power went out during use, or power won't come on</p> <p>⇒ The lamp cover is not properly attached.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unplug the power cord, and reattach the lamp cover. p.194
<p>ランプ 温度 電源</p> <p>○   (Orange lit) (Red lit)</p>	<p>Power went out during use</p> <p>⇒ Problem inside the projector.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unplug the power cord and wait for a short while, then turn the power back on. • If the above action does not clear the problem, unplug the power cord, and contact your sales representative. <p>*The  icon will appear before the power goes out.</p>

Note

- After there is an abnormal indication, the abnormal status remains until the power cord is unplugged.

Troubleshooting

If you think something is wrong, check the followings before contacting customer service. Please see “**Trouble indications**” [p.198](#) as well.

If This Happens	Check
No power	<ul style="list-style-type: none"> Is the power cord plugged in? Is it connected to the projector? Is the outer lamp cover attached properly? p.194
Power goes out during use	<ul style="list-style-type: none"> Is the ambient temperature high? p.198 Is the air intake or air exhaust blocked? p.198
No picture	<ul style="list-style-type: none"> Is the input source selected correctly? (When [Auto input search] is [Off]) p.144 Did you press the input button? p.130 Is the mute function on? p.135 Is the brightness setting minimized? p.139 Are the connections set up correctly? p.126 Are all the connected devices functioning properly?
No audio	<ul style="list-style-type: none"> Did you press the input button? p.130 Is the mute function on? p.135 Is the volume setting minimized? p.131 Are the connections set up correctly? p.126 Are all the connected devices functioning properly?
Picture not displayed correctly	<ul style="list-style-type: none"> Is the input signal supported by the projector? p.202 p.203 Is there something generating an abnormal video signal, for instance the video tape?
Picture blurred Part of picture out of focus	<ul style="list-style-type: none"> Is the lens dirty? p.197 Is the lens focus adjusted optimally? p.131 Is the projection distance within the projector's supported range? p.124 p.125 Is the projector's screen placement angle tilted too far? p.131 Are the sharpness or sampling phase adjustments off? p.139 p.140
Image is dark	<ul style="list-style-type: none"> Are the brightness or contrast adjustments off? p.139 Is the lamp nearing the end of its service life? p.147 Is the RGB input range set properly? p.139
Colors too light Bad shading	<ul style="list-style-type: none"> Are the color, R-level, G-level, or B-level adjustments off? p.139 Is the screen dirty? Is the blackboard mode set properly? p.141 Is the lamp nearing the end of its service life? p.147
Control panel key doesn't work	<ul style="list-style-type: none"> Is the key lock function on? p.145

Troubleshooting (Continued)

If This Happens	Check
Remote control doesn't work	<ul style="list-style-type: none">• Is the remote control code identical with the projector's code? p.146• Are the remote control's batteries drained?• Are the batteries inserted into the remote control correctly? p.121• Is the remote control being used within the effective range? p.121• Are there any obstructions between the remote control and projector?• Are there any fluorescent or other bright lights directed at the projector's infrared remote sensor?
USB device images aren't projected	<ul style="list-style-type: none">• Is the USB memory device inserted correctly?• Is a USB memory device not supported by the projector inserted? p.151• Are there any JPEG or MPEG files saved on the USB memory device?• Are the files in an unsupported format or too large for the projector? For JPEG files, convert them with the supplied software application. p.185
The wireless LAN doesn't work	<ul style="list-style-type: none">• Are the transmission mode, SSID, etc. properly configured?• Are there any obstructions between the computer and the projector?• Do your computer and operating system support the supplied software application? p.164

Specifications

■ List of general specifications

Item		Specification
Consumption Power		270 W
Weight		X3241N: 2.0 kg WX3231N: 1.9 kg
External Dimensions (including protruding parts)		295 × 82 × 196 mm (W × H × D)
Cabinet material		PC+ABS resin and PC resin (contains Mg alloy in some parts)
Conditions for usage environment		Temp: 5°C to 35°C; relative humidity: 30% to 70%
LCD Panel	Display method	3-panel transmission
	Panel size	X3241N: 0.7 type
		WX3231N: 0.59 type
	Drive system	TFT active matrix
Picture elements	X3241N: 786,432 pixels (1024 H × 768 V)	
	WX3231N: 1,024,000 pixels (1280 H × 800 V)	
Lens		X3241N: F=1.60 – 1.76 f=21.5 – 25.8 mm WX3231N: F=1.70 – 1.87 f=19.2 – 23.0 mm
Lamp		High-pressure mercury lamp (180 W)
Projection screen size		30-300 inches
Projection distance		X3241N: 0.89 m – 10.94 m WX3231N: 0.94 m – 11.58 m
Speaker		1 W (Mono)
Connection terminal	COMPUTER 1 IN terminal	Mini D sub 15 pin RGB / Y/P _B / P _R (dual use)
	COMPUTER 2 IN terminal	Mini D sub 15 pin RGB / Y/P _B / P _R / MONITOR OUT (multiple use)
	HDMI terminal	HDMI
	S-VIDEO terminal	Mini DIN 4 pin
	VIDEO terminal	RCA Pin Jack, 1 V (p-p), 75 Ω
	AUDIO IN terminal	3.5 mm diameter stereo mini-jack: 1.5 V (rms), 22 kΩ or more COMPUTER 1 IN / 2 IN/VIDEO/S-VIDEO (multiple use)
	AUDIO OUT terminal	3.5 mm diameter stereo mini-jack
	CONTROL terminal	D sub 9 pin (RS-232C)
	USB terminal	USB 2.0 High-speed enabled Type A; Output voltage: +5 VDC; Supply current: 500 mA
	LAN terminal *	10BASE-T/100BASE-TX

* When connecting a network cable, use a shielded cable.

■ Notes

- This model complies with the above specifications.
- Designs and specifications are subject to change without notice.
- This model may not be compatible with features and/or specifications that may be added in the future.

■ Separately sold product

- IPSiO PJ Replacement Lamp Type1
- IPSiO PJ Replacement Air filter Type1

Specifications (Continued)

List of supported signals (Computer input)

This projector supports the following RGB signals. Note, however, that depending on the computer model, the screen may show flicker or streaking. Please adjust the projector if this happens.

Resolution	Mode	Refresh rate (Hz)	H-frequency (kHz)	Clock (MHz)
720 x 400	720x400_85	85.039	37.927	35.500
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
	VGA_85	85.008	43.269	36.000
800 x 600	SVGA_56	56.250	35.156	36.000
	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
832 x 624	MAC16"	74.550	49.725	57.283
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500
	MAC19"	74.700	60.134	79.857
1152 x 864	SXGA1_75	75.000	67.500	108.000
*1280 x 800	WXGA_60	59.880	49.580	83.300
1280 x 960	QuadVGA_60	60.000	60.000	108.000
	QuadVGA_85	85.002	85.938	148.500
1280 x 1024	SXGA3_60	60.020	63.981	108.000
	SXGA3_75	75.025	79.976	135.000
	SXGA3_85	85.024	91.146	157.500
1400 x 1050	SXGA+	59.978	65.317	121.750
1600 x 1200	UXGA_60	60.000	75.000	162.000
	UXGA_65	65.000	81.250	175.500
	UXGA_70	70.000	87.500	189.000
	UXGA_75	75.000	93.750	202.500
	UXGA_85	85.000	106.250	229.500

* : 1280 x 800 is only available for WX3231N

Note

- Signals whose resolution exceeds the native resolution mentioned below will be compressed. For this reason, some information may be lost and/or image quality may be affected.

X3241N : 1024 x 768 dots

WX3231N : 1280 x 800 dots

■ List of supported signals (Y/P_B/P_R input)

Signal format	fh(kHz)	fv(Hz)
480i(525i)@60Hz	15.73	59.94
480p(525p)@60Hz	31.47	59.94
576i(625i)@50Hz	15.63	50.00
576p(625p)@50Hz	31.25	50.00
720p(750p)@60Hz	45.00	60.00
720p(750p)@50Hz	37.50	50.00
1080i(1125i)@60Hz	33.75	60.00
1080i(1125i)@50Hz	28.13	50.00
1080p(1125p)@60Hz	67.50	60.00
1080p(1125p)@50Hz	56.25	50.00

■ List of supported signals (Video, S-Video input)

Video mode	fh(kHz)	fv(Hz)	fsc(MHz)
NTSC	15.73	60	3.58
PAL	15.63	50	4.43
SECAM	15.63	50	4.25 or 4.41
PAL-M	15.73	60	3.58
PAL-N	15.63	50	3.58
PAL-60	15.73	60	4.43
NTSC4.43	15.73	60	4.43

■ List of supported signals (HDMI input)

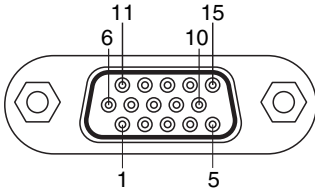
Since the resolutions or frequencies input from a computer or picture device vary and may be different from the signals listed below, the images may not appear correctly or some signal formats may not be detected properly and even it may fail to display the images. If that happens, set your computer or the device so that an input signal listed below can be received.

Resolution	Mode	Refresh rate or V-frequency (Hz)	H-frequency (kHz)	Clock (MHz)
720 x 480	480p(525p)	59.94	31.469	27.000
720 x 576	576p(625p)	50.00	31.250	27.000
1280 x 720	720p(750p)	60.00	45.000	74.250
	720p(750p)	50.00	37.500	74.250
1920 x 1080	1080i(1125i)	60.00	33.750	74.250
	1080i(1125i)	50.00	28.125	74.250
	1080p(1125p)	60.00	67.500	148.50
	1080p(1125p)	50.00	56.250	148.50
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
* 1280 x 800	WXGA_60	59.880	49.580	83.300
1280 x 1024	SXGA3_60	60.020	63.981	108.000
1400 x 1050	SXGA+	59.978	65.317	121.750

* : 1280 x 800 is only available for WX3231N

Specifications (Continued)

■ Pin assignment of COMPUTER 1 IN, COMPUTER 2 IN and MONITOR terminals



Mini D sub 15 Pin connector

Input Signal

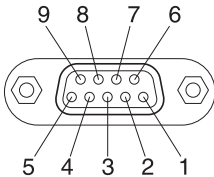
- RGB input
 RGB signals: 0.7 V (p-p) 75 Ω
 Horizontal sync signal: TTL level (Pos/neg polarity)
 Vertical sync signal: TTL level (Pos/neg polarity)
- Y/P_B/P_R input
 Y signal: 1.0 V (p-p) 75 Ω
 P_B/P_R signals: 0.7 V (p-p) 75 Ω

Pin No.	Pin description	
	During RGB input	During Y/P _B /P _R input
1	Video signal (R)	Color difference signal (P _R)
2	Video signal (G)	Luminance signal (Y)
3	Video signal (B)	Color difference signal (P _B)
4	GND	*
5	GND	*
6	GND(R)	GND(P _R)
7	GND(G)	GND(Y)
8	GND(B)	GND(P _B)
9	N.C	*
10	GND	*
11	GND	*
12	N.C	*
13	Horizontal sync signal	*
14	Vertical sync signal	*
15	N.C	*

* Do not connect anything.

■ CONTROL terminal

● Pin assignment



D sub 9 pin connector

Pin No.	Signal Name	Description
1	DCD	Data carrier detect
2	TXD	Sending data
3	RXD	Receiving data
4	DTR	Data terminal ready
5	GND	Signal ground
6	DSR	Data set ready
7	RTS	Request to send
8	CTS	Consent to send
9	RI	Ring indicator

● Interface format

1. Communication method RS-232C, 9600 bps, No Parity, Data Length: 8 bits;
Stop Bit Length: 1 bit
2. Communication format

STX (02 h)	Command (3 Byte)	ETX (03 h)
------------	------------------	------------

Only 1 command valid per communication.
3. Data format For input commands, only ASCII-compliant all-
uppercase alphanumeric characters supported.
4. Replies Acknowledge

ACK (06 h)	CR(0 Dh)	Data
------------	----------	------

 ... Normally ended

ACK (06 h)	ESC(1 Bh)
------------	-----------

 ... Aborted

 No acknowledge

NAK (15 h)

If commands are to be sent consecutively, wait for the response from the projector before sending the next command.

● Main Commands

Item	Command
Power on	PON
Power off	POF
Icon display on	MO0
Icon display off	MO1
Auto setting (RGB input)	PAT
Status display on	DON
Status display off	DOF

JA (JP)

EN (JP) 2011年7月 Y007-6121